

# 建築系混合廃棄物の原単位調査報告書

平成24年11月

社団法人 日本建設業連合会  
環境委員会 建築副産物専門部会

## はじめに

昨年の東日本大震災は、東北地方の広範囲にわたって甚大な被害をもたらした。復旧・復興工事が進むなか、大量の災害廃棄物を的確に処理することは我が国の喫緊の課題の一つであり、われわれ建設業もその一翼を担っている。

また、建設業界においては、建設現場から多量に発生する廃棄物を適正かつ効率的に処理することが使命であり、企業におけるコンプライアンスはもとよりCSR（企業の社会的責任）として環境経営に関わる要素となっている。

建設副産物対策では、「建設リサイクル推進計画 2008(国土交通省)」において品目毎の中期目標が設定されるとともに、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊のリサイクルが相当程度進んでいることを踏まえ、混合廃棄物、建設発生木材等のリサイクルに注力することとされている。

日本建設業連合会建築副産物専門部会（旧建築業協会副産物部会）では、発生抑制・再使用・分別活動を推進し、建設現場から排出される混合廃棄物を削減していくことが再資源化率の向上につながると考え、混合廃棄物の組成を知ることで一層の分別の可能性を目指し、平成2年から首都圏における新築工事の混合廃棄物の組成分析調査及び原単位調査を毎年実施し公開してきた。

平成23年度も「混合廃棄物の原単位調査」を引き続き行い、会員企業22社576件のサンプルから「建築系混合廃棄物の原単位調査報告書」を作成した。今回の調査対象年度(平成22年度)が、混合廃棄物原単位を削減するために掲げた目標値達成の最終年度となる。本報告書では、従来の原単位分析のほか、単年度ではサンプル数の少ない建物用途や規模別についても複数年のデータを取りまとめ経年変化や各種原単位を分析した。

企業の環境への配慮は社会的なニーズとして更に高まると考えられ、建設業界においても多量廃棄ではなく、資源の有効利用や廃棄物の最終処分量の削減に努める必要がある。本報告書を活用され、建設廃棄物・混合廃棄物の処理計画・削減計画の作成の一助となれば幸いである。

平成24年11月

社団法人 日本建設業連合会  
環境委員会  
建築副産物専門部会

## 目 次

<b>1. 調査概要</b>	
(1) 調査概要 .....	1
(2) 調査方法 .....	1
<b>2. 原単位調査</b>	
(1) サンプルの検証 .....	3
(2) 原単位の定義及び算出方法.....	5
(3) 分析結果その1(原単位) .....	6
(4) 原単位の削減実績値と目標値 .....	1 2
(5) 分析結果その2(その他の分析項目) .....	1 3
(6) 品目別原単位.....	1 5
<b>3. まとめ</b> .....	1 7
<b>附 参考資料</b>	

## 1. 調査概要

### (1) 調査概要

建築副産物専門部会(旧建築業協会副産物部会)では、建築系混合廃棄物の排出量の実態調査を、平成2年度より毎年実施してきた。その目的は、再資源化しにくい混合廃棄物の発生量及び排出量に注目し、原単位として数値化することで、建築工事の際に、作業所から排出される混合廃棄物の量を事前に推量し、その排出抑制の目標値を掲げるなど、取り組みの促進をすること、また、排出されたその他の廃棄物についてもその実態と原単位を検証するものである。

### (2) 調査方法

- ①対象地域：首都圏（1都3県：東京、埼玉、千葉、神奈川）
- ②対象工事：平成22年4月1日から平成23年3月31日までに完成した新築工事を対象とした。  
ただし、次のものは除外した。
  - ・解体・改修工事（既設の地下構造物解体を含む）
- ③対象項目：建設発生土、建設汚泥及び地下埋設物等の除去に伴う副産物を除く、  
新築工事の全ての副産物
- ④調査内容：物件（以下、サンプルという）の概要及び、実施施策別の排出量

#### 【工事概要の調査】

工事名称 建物の用途 構造 法定延床面積 都道府県名

#### 【実施施策別内容の調査】

全体発生量

排出抑制として

a. 現場内外利用 ※現場内減容(量)化については、参考値としてのみ収集

b. 専ら物等の売却

分別による単品排出として

c. 再資源化施設への排出

d. 中間処理施設への排出

e. 最終処分場への排出

混合廃棄物として排出

f. 中間処理施設への排出

g. 最終処分場への排出

以上の数量についてそれぞれ調査した。

表－1 建築系廃棄物排出分類表

発 生 の 抑 制	PC化 ・プレカット ・簡易(無)梱包 等が考えられる。
-----------	---------------------------------



発 生 量	排 出 抑 制	現場内での工夫	a. 現場内外利用	裏込材・埋戻材等で利用する場合
			b. 専ら物の売却等	専ら物, 有価物等を回収・再生業者へ直接引渡し ※紙くず、段ボール、金属くずほか
	排 出 量	分別による 単品排出	c. 再資源化施設への排出	個別指定制度、広域認定制度等 混合廃棄物の処理を行わない施設
			d. 中間処理施設への排出	分別・単品で委託処理する場合
			e. 最終処分場への排出	分別・単品で埋立処分
		混合廃棄物として 排出	f. 中間処理施設への排出	混合廃棄物として委託処理する場合
			g. 最終処分場への排出	混合廃棄物のまま埋立処分

調査結果としての原単位は重量で表現するために、容積から重量への換算は原則として、これまで旧建築業協会と全国産業廃棄物連合会とが共同で行ってきた混合廃棄物の組成分析調査の換算係数を用いるものとした。

表－2 建築系廃棄物の重量/容積換算表

(t/m<sup>3</sup>)

	平成2年度	平成5年度	平成8年度	平成10年度	平成13年度	今回使用 の換算値
ガラスくず及び陶磁器くず	0.77	0.78	0.58	0.59	0.69	0.64
廃プラスチック類	0.11	0.09	0.12	0.10	0.08	0.09
金属くず	0.27	0.25	0.38	0.19	0.27	0.28
繊維くず	-	-	-	0.20	0.21	0.20
木くず	0.21	0.16	0.18	0.14	0.17	0.15
紙くず	0.14	0.10	0.10	0.11	0.08	0.09
混合廃棄物	-	0.30	0.27	0.24	0.26	0.25

## 2. 原単位調査

### (1) サンプルの検証

調査対象の首都圏におけるサンプル 576 件のヒストグラムは図-1～図-3の通りである。  
なお、サンプルのデータを一覧にまとめた「実績データ」を巻末に添付した。

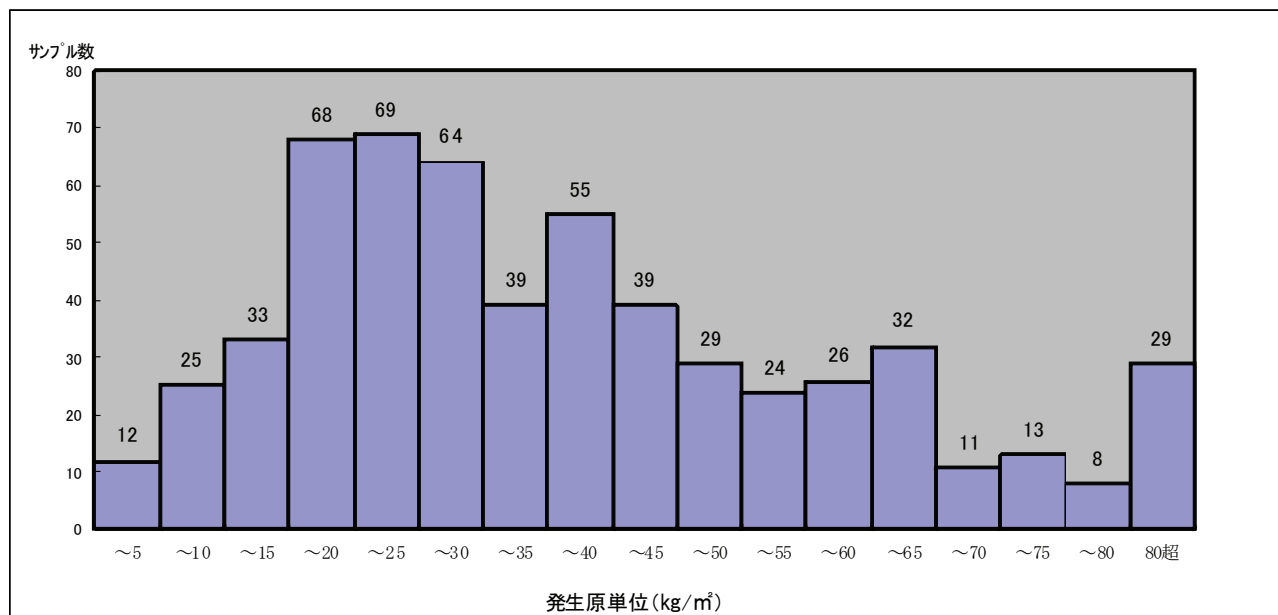


図-1 発生原単位のヒストグラム

○発生原単位は、例年の傾向と変わらず、全体の約 35%が 15kg/m³超～30kg/m³以下となっている。ただし、平成 21 年度（前年度）と比べ、15kg/m³以下の発生原単位を示すサンプルが減少し、40kg/m³以上が全体的にやや増加した。バラツキを見る指標の一つである標準偏差（平成 21 年度 25.1、平成 22 年度 19.7）からも全体に若干分散したことが分かる。（参考資料 1 参照）

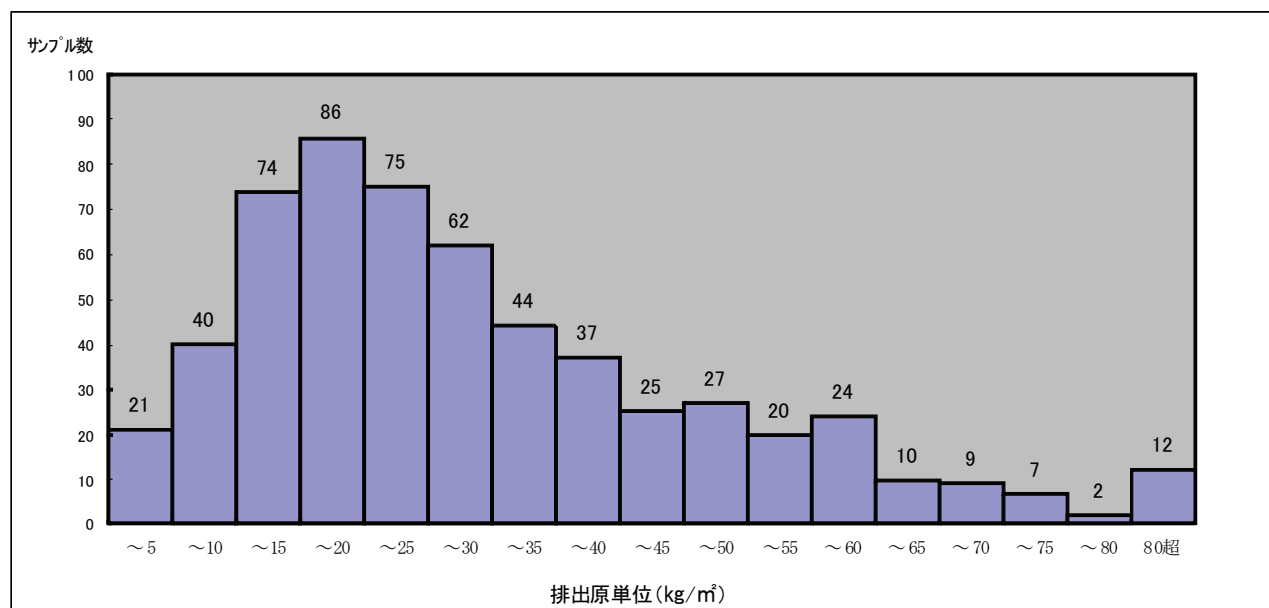


図-2 排出原単位のヒストグラム

○排出原単位は、全体の約 52%のサンプルが 10kg/m³超～30kg/m³以下の値を示している。サンプルの約 70%が、平成 21 年度の調査では 40kg/m³以下までに、平成 22 年度の調査では 35kg/m³以下までに含まれ、特に 15kg/m³未満の原単位を示すサンプルが増加した。（参考資料 2 参照）

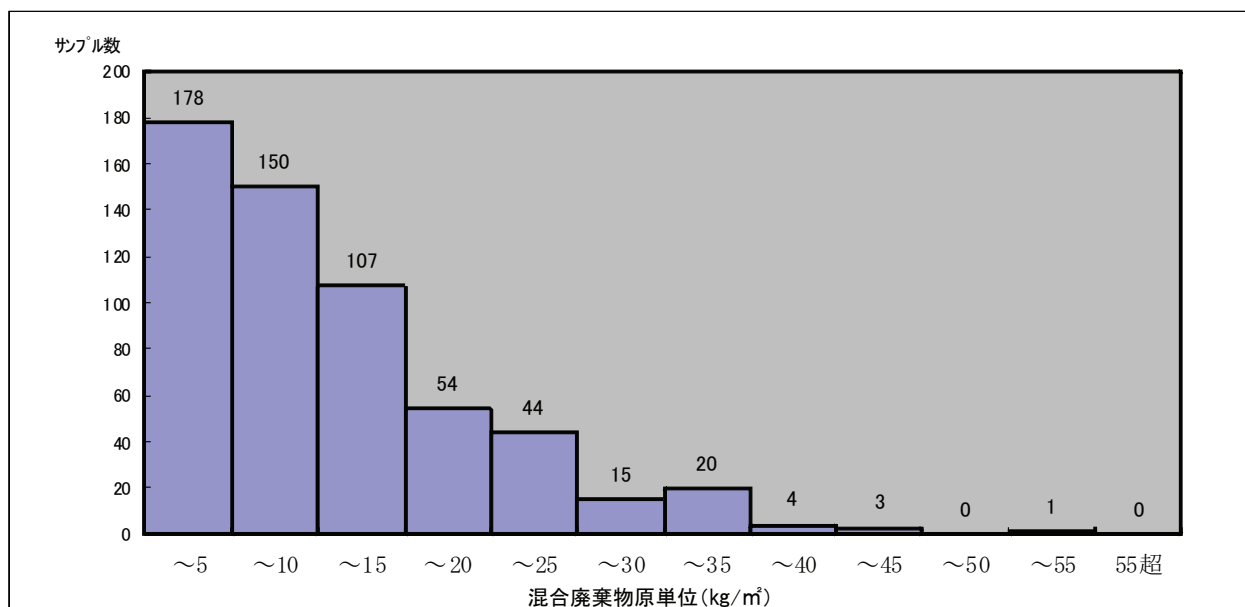


図-3 混合廃棄物原単位のヒストグラム

○混合廃棄物原単位（以下、混廃原単位という。）は、 $5\text{ kg/m}^2$ 以下が最も多く、 $10\text{ kg/m}^2$ 未満が全体の約57%を占めている。さらに、 $15\text{ kg/m}^2$ 未満が全体の76%（435件）を占め、平成22年度の目標値 $12\text{ kg/m}^2$ の達成に寄与している。（参考資料3参照）

## (2) 原単位の定義及び算出方法

○各表に示す原単位は、サンプルごとに算出した原単位を合計し、そのサンプル数の合計で除したものの(平均値)である。

$$\text{各表に示す原単位 (kg/m}^2\text{)} = \frac{\text{サンプルごとの原単位の合計 (kg/m}^2\text{)}}{\text{サンプル数の合計}}$$

○サンプルごとの各原単位の定義及び算出方法は、次のとおりとする。

【発生原単位】 作業所で発生した副産物の総量 (表-3の a ~ g)

$$\text{発生原単位 (kg/m}^2\text{)} = \frac{\text{作業所で発生した総量 (kg)}}{\text{延床面積 (m}^2\text{)}}$$

【総排出原単位】 作業所内で発生した副産物のうち、場内外利用及び専ら物の売却等を除いたもの (表-3の c ~ g)

$$\text{総排出原単位 (kg/m}^2\text{)} = \frac{\text{作業所で発生した総量 - 場内外利用・専ら物の売却量 (kg)}}{\text{延床面積 (m}^2\text{)}}$$

【排出原単位】 単品排出、混合排出に関わらず中間処理施設へ排出したもの (表-3の d + f)

$$\text{排出原単位 (kg/m}^2\text{)} = \frac{\text{中間処理施設への排出量 (単品・混合) (kg)}}{\text{延床面積 (m}^2\text{)}}$$

【混廃原単位】 混合廃棄物として中間処理施設・最終処分場へ排出したもの (表-3の f + g)

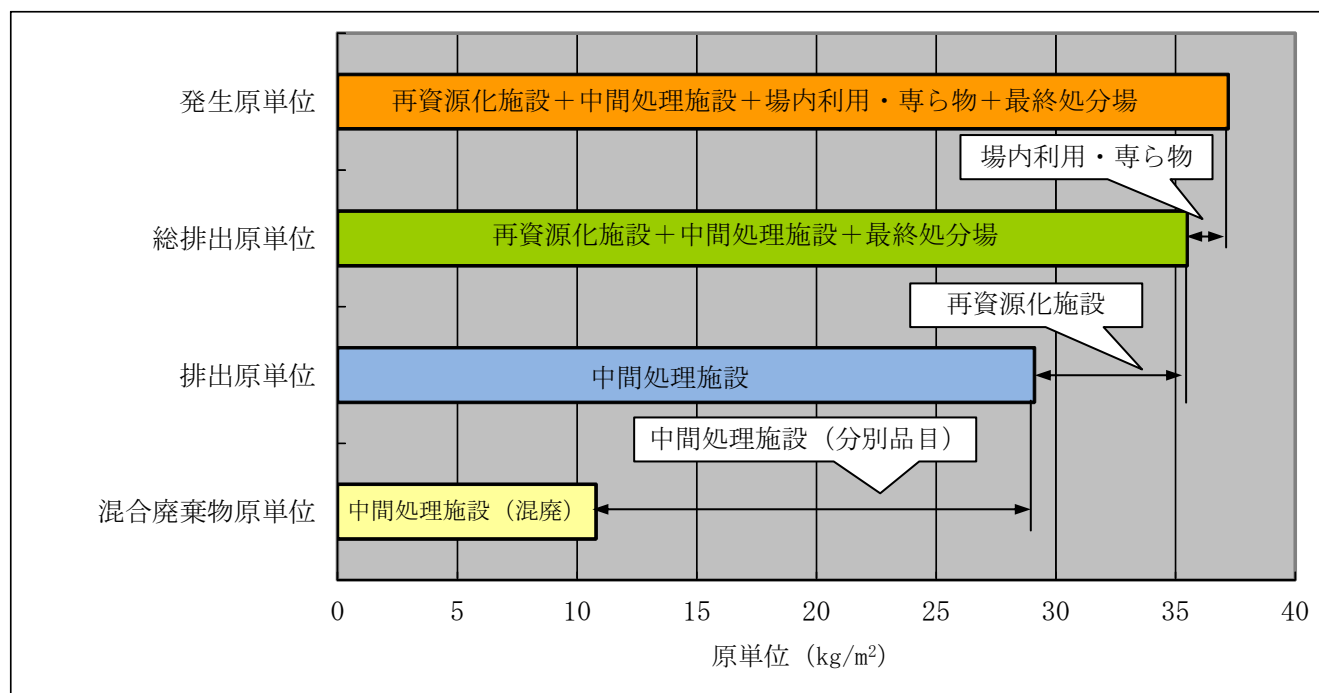
$$\text{混廃原単位 (kg/m}^2\text{)} = \frac{\text{混合で中間処理施設・最終処分場への排出量 (kg)}}{\text{延床面積 (m}^2\text{)}}$$

※ 今回調査の結果、混合廃棄物の最終処分場への直接排出は行われていなかった。



表－3 廃棄物排出分類と原単位

発生量	排出抑制	現場内での工夫	a.現場内外利用	発生原単位	総排出原単位	排出原単位	混廃原単位
			b.専ら物の売却等				
	排出量	分別による単品排出	c.再資源化施設への排出				
			d.中間処理施設への排出				
			e.最終処分場への排出				
		混合廃棄物として排出	f.中間処理施設への排出				
			g.最終処分場への排出				



図－4 各原単位の構成

- 場内利用・専ら物の売却はデータ上は少ない割合となっている。
- ・各社のデータの収集の仕方や集計方法が多少異なること等が考えられ、実態を十分に反映するのが難しい面がある。
- 分別品目は、再資源化施設へ排出しているサンプルは少なく、中間処理施設への排出が多い。
- ・中間処理施設の再資源化能力が高まっていることを受け、再資源化施設と同様、中間処理施設においても高いリサイクル率が期待できるため分別品目も含めて排出している作業所が多いのではないかと推察できる。

### (3) 分析結果その1 (原単位)

分析した結果の各原単位は、表－4～表－8、及び図－4に示す通りである。

表－6、表－7で、比較的サンプル数の多い事務所、集合住宅について分析を行った。(表－4用途・規模別原単位に『総排出原単位』を追加した。)

表－４ 用途・規模別原単位

用途	項目	1,000 m <sup>2</sup> 未満			3,000 m <sup>2</sup> 未満			6,000 m <sup>2</sup> 未満			10,000 m <sup>2</sup> 未満			10,000 m <sup>2</sup> 以上			総計		
		発生原単位	総排出原単位	混廃原単位	発生原単位	総排出原単位	混廃原単位	発生原単位	総排出原単位	混廃原単位	発生原単位	総排出原単位	混廃原単位	発生原単位	総排出原単位	混廃原単位	発生原単位	総排出原単位	混廃原単位
事務所	サンプル数(件)	18			26			18			12			31			105		
	原単位(kg/m <sup>2</sup> )	49	46	18	41	40	14	37	35	12	34	32	8	34	31	6	39	37	11
集合住宅	サンプル数(件)	9			40			47			28			73			197		
	原単位(kg/m <sup>2</sup> )	42	42	24	41	40	17	40	38	15	36	33	10	34	31	6	38	35	12
教育施設	サンプル数(件)	8			22			9			18			15			72		
	原単位(kg/m <sup>2</sup> )	55	53	20	42	41	12	39	37	12	28	27	6	27	26	6	36	35	10
店舗	サンプル数(件)	5			8			5			5			12			35		
	原単位(kg/m <sup>2</sup> )	60	56	16	49	48	16	43	42	12	29	26	7	26	24	4	39	37	10
病院	サンプル数(件)	1			4			1			3			9			18		
	原単位(kg/m <sup>2</sup> )	16	16	3	52	52	16	74	74	27	49	49	8	25	24	5	37	36	9
工場	サンプル数(件)	2			6			8			7			5			28		
	原単位(kg/m <sup>2</sup> )	15	15	6	44	44	12	17	17	6	23	22	6	18	18	2	24	24	7
福祉施設	サンプル数(件)	3			9			12			4			5			33		
	原単位(kg/m <sup>2</sup> )	51	49	14	37	36	11	36	9	34	51	47	18	28	28	9	38	36	11
ホテル	サンプル数(件)	1			4			1			3			4			13		
	原単位(kg/m <sup>2</sup> )	69	69	31	58	57	22	44	43	14	53	52	19	26	21	5	47	45	16
倉庫	サンプル数(件)	1			4			3			4			10			22		
	原単位(kg/m <sup>2</sup> )	56	56	19	17	17	7	42	41	4	29	29	7	18	18	4	25	25	6
その他	サンプル数(件)	5			18			12			6			12			53		
	原単位(kg/m <sup>2</sup> )	44	44	15	44	44	13	46	46	12	56	56	11	25	24	3	41	41	11
全用途	サンプル数(件)	53			141			116			90			176			576		
	原単位(kg/m <sup>2</sup> )	48	46	18	42	41	14	39	37	12	35	33	9	30	28	5	37	36	11

\*平成20年度～平成22年度の通算データを巻末の参考資料に添付した。(参考資料4参照)

○用途別のサンプル数を見ると全体の34%を集合住宅が、18%を事務所が占めており、両用途の建物だけで全サンプル数の52%となっている。

・今回の調査年度においても、集合住宅及び事務所が建築工事の主要部分を占めていると考えられる。

○用途別の混廃原単位を比較するとホテルの原単位が大きく、倉庫及び工場の原単位が小さい。

・ホテルでは一般的に内装仕上げが多種多様であり混合廃棄物として排出する割合が高く、逆に倉庫や工場では内装仕上げがそれほど多くないため、混合廃棄物が必然的に少なくなっていると考えられる。(参考資料5, 6, 7参照)

○規模別の原単位を比較すると、全体的な傾向として、延床面積が小さいものほど大きく、延床面積が大きいものほど小さい。特に混廃原単位はその傾向が鮮明である。(参考資料8, 9, 10参照)

・規模の大きな建築現場では、廃棄物を分別する集積ヤードが比較的確保しやすく、現場での分別率が上がることで混合廃棄物で排出する割合が小さくなっていると推察される。

○用途別の発生原単位は、ホテルが大きな数字となっており、事務所、集合住宅、教育施設、店舗、病院、福祉施設がほぼ同じ数値であり、工場、倉庫が小さな数値となっている。(参考資料5参照)

・ホテルの発生原単位や混廃原単位の値が大きいのは、特殊な形状をした内外装のデザインや多目的な空間による多種多様な仕上げ仕様になる可能性が高く、また多くの間仕切りで仕切られた部屋による個別の設備や仕上材等からの端材等の廃棄物が発生しやすいためであると考えられる。

また、その他の施設が比較的大きな原単位を示しているのは、おそらく特殊な建築物が多く、その形状や内装仕様の多様さにより発生原単位が比較的大きな値を示す傾向があると推測できる。

・建物の用途・規模によってはサンプル数が少なく、該当物件の特性が原単位の平均に影響を与えるため、統計上その用途の標準的な数字であることの判断は難しく、参考値と考えてほしい。

(参考資料11「集合住宅：SRC造」「店舗：RC造」「ホテル」「病院」参照)

表－５ 構造・規模別単位

構造	延床面積	1,000 m <sup>2</sup> 未満		3,000 m <sup>2</sup> 未満		6,000 m <sup>2</sup> 未満		10,000 m <sup>2</sup> 未満		10,000 m <sup>2</sup> 以上		総計	
	項目	発生 原単位	混廃 原単位	発生 原単位	混廃 原単位	発生 原単位	混廃 原単位	発生 原単位	混廃 原単位	発生 原単位	混廃 原単位	発生 原単位	混廃 原単位
S造	サンプル数(件)	24		45		32		28		58		187	
	原単位(kg/m <sup>2</sup> )	44	16	41	13	36	10	35	7	29	5	36	9
RC造	サンプル数(件)	28		93		78		54		102		355	
	原単位(kg/m <sup>2</sup> )	53	21	43	15	39	13	36	10	33	6	39	12
SRC造	サンプル数(件)	1		3		6		8		16		34	
	原単位(kg/m <sup>2</sup> )	14	7	26	12	51	14	34	9	19	6	28	8
全構造	サンプル数(件)	53		141		116		90		176		576	
	原単位(kg/m <sup>2</sup> )	48	18	42	14	39	12	35	9	30	5	37	11

○構造別のサンプル数を比較すると、RC造が全体の62%を、S造が32%を占めており、SRC造は6%と少ない。

- ・RC造あるいはS造が近年の建築物の一般的な構造形式であり、SRC造は、大型の複合施設建築等に採用される可能性の高い構造形式であることを考えるとサンプル数からもわかるようにSRC造の物件がそもそも少ない上に該当する工事自体もこの3年間で見ると減少してきている。

○構造別に全体の比較をすると、前年度同様RC造はS造及びSRC造より発生原単位及び混廃原単位とも大きい。

- ・RC造は、S造及びSRC造と比較して、型枠等の材料加工が多く廃棄物が比較的多く発生するため発生原単位が大きくなり、コンクリート等が付着した残材等を混廃で排出せざるをえない状況が一因となり大きくなるのではないかと推察される。ただし、用途別に同じ規模、同じサンプル数で比較するには至っていないので、相当のサンプル数が蓄積された段階でのさらなる分析を待ちたい。

表－6 事務所・集合住宅における構造・規模別原単位

構造	延床面積(m <sup>2</sup> )	事務所			集合住宅		
		サンプル数 (件)	発生原単位 (kg/m <sup>2</sup> )	混廃原単位 (kg/m <sup>2</sup> )	サンプル数 (件)	発生原単位 (kg/m <sup>2</sup> )	混廃原単位 (kg/m <sup>2</sup> )
S造	1,000 m <sup>2</sup> 未満	12	51	17	1	48	42
	3,000 m <sup>2</sup> 未満	12	33	10	－	－	－
	6,000 m <sup>2</sup> 未満	10	38	13	1	18	5
	10,000 m <sup>2</sup> 未満	8	41	8	－	－	－
	10,000 m <sup>2</sup> 以上	26	30	6	1	35	6
	計	68	37	10	3	34	18
RC造	1,000 m <sup>2</sup> 未満	6	45	20	7	45	24
	3,000 m <sup>2</sup> 未満	12	52	18	40	41	17
	6,000 m <sup>2</sup> 未満	8	35	10	44	41	15
	10,000 m <sup>2</sup> 未満	4	22	7	26	37	10
	10,000 m <sup>2</sup> 以上	3	74	5	70	35	6
	計	33	45	14	187	38	12
SRC造	1,000 m <sup>2</sup> 未満	－	－	－	1	14	7
	3,000 m <sup>2</sup> 未満	2	23	17	－	－	－
	6,000 m <sup>2</sup> 未満	－	－	－	2	40	13
	10,000 m <sup>2</sup> 未満	－	－	－	2	26	13
	10,000 m <sup>2</sup> 以上	2	14	8	2	25	10
	計	4	18	12	7	28	11
全構造	1,000 m <sup>2</sup> 未満	18	49	18	9	42	24
	3,000 m <sup>2</sup> 未満	26	41	14	40	41	17
	6,000 m <sup>2</sup> 未満	18	37	12	47	40	15
	10,000 m <sup>2</sup> 未満	12	34	8	28	36	10
	10,000 m <sup>2</sup> 以上	31	34	6	73	34	6
	計	105	39	11	197	38	12

○全構造では、発生原単位は事務所の方が若干大きな値を示し、混廃原単位は逆に集合住宅の方が若干大きな値となっている。

- ・両用途とも調査年度の該当工事により発生原単位・混廃原単位とも僅かながら増減する傾向にある。発生原単位は、バラエティーに富んだデザインによる様々な外装や内装の仕様の影響を受けやすい事務所で変動が大きくなりやすく、混廃原単位は発生原単位の変動とは別に現場での分別活動が普及・浸透した結果、減少傾向にあり、比較的安定しているといえる。(参考資料 12 参照)

表－7 事務所・集合住宅にみる混合廃棄物原単位の推移 (単位：kg/m<sup>2</sup>)

用途	構造	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度
事務所	S造	17	15	15	15	11	13	11	9	11
	RC造	17	14	15	15	12	14	13	14	14
	SRC造	15	5	13	14	13	14	13	8	12
	全構造	17	12	15	15	11	13	12	10	11
集合 住宅	S造	16	21	13	39	15	22	10	6	18
	RC造	21	17	18	18	16	16	14	13	12
	SRC造	20	17	16	14	14	15	7	14	11
	全構造	20	17	18	18	16	16	13	12	11

○混廃原単位をサンプル数の多い事務所と集合住宅で比較すると、両用途とも経年で減少傾向にある。また、一部の例外を除いて、総じて、集合住宅の方が大きな数値となる傾向であったが、平成21年度、平成22年度の調査では構造形式にもよるが、逆転現象が見られる。

(参考資料13参照)

- ・集合住宅は、各住戸間の間仕切りが多く、細かな仕上げ仕様による多様な複合材等により混合廃棄物として排出する割合が高くなると考えられるが、集合住宅で発生する廃棄物の種類はほぼ同じような品目であることが推定され、混合廃棄物を削減する取り組みでは比較的ターゲットを絞った活動ができやすく現場の努力が成果につながっていると考えられる。一方、事務所の廃棄物は、調査年度のサンプルの形状や仕様に影響を受けやすく、作業所の取り組みだけで混合廃棄物の排出量を減少させるのが難しい一面があると考えられる。

表－8 発生原単位・排出原単位及び混合廃棄物原単位

構造	延床面積(m <sup>2</sup> )	件数	発生原単位(kg/m <sup>2</sup> )	総排出原単位(kg/m <sup>2</sup> )	排出原単位(kg/m <sup>2</sup> )	混廃原単位(kg/m <sup>2</sup> )
S造	1,000m <sup>2</sup> 未満	24	44	44	39	16
	3,000m <sup>2</sup> 未満	45	41	40	35	13
	6,000m <sup>2</sup> 未満	32	36	35	28	10
	10,000m <sup>2</sup> 未満	28	35	34	25	7
	10,000m <sup>2</sup> 以上	58	29	27	20	5
	計	187	36	35	28	9
RC造	1,000m <sup>2</sup> 未満	28	53	50	46	21
	3,000m <sup>2</sup> 未満	93	43	42	36	15
	6,000m <sup>2</sup> 未満	78	39	37	32	13
	10,000m <sup>2</sup> 未満	54	36	33	28	10
	10,000m <sup>2</sup> 以上	102	33	30	19	6
	計	355	39	37	30	12
SRC造	1,000m <sup>2</sup> 未満	1	14	14	14	7
	3,000m <sup>2</sup> 未満	3	26	26	24	12
	6,000m <sup>2</sup> 未満	6	51	49	48	14
	10,000m <sup>2</sup> 未満	8	34	33	30	9
	10,000m <sup>2</sup> 以上	16	19	17	15	6
	計	34	28	27	25	8
全構造	1,000m <sup>2</sup> 未満	53	48	46	42	18
	3,000m <sup>2</sup> 未満	141	42	41	35	14
	6,000m <sup>2</sup> 未満	116	39	37	32	12
	10,000m <sup>2</sup> 未満	90	35	33	27	9
	10,000m <sup>2</sup> 以上	176	30	28	19	5
	計	576	37	36	29	11

\*平成20年度～平成22年度の通算データを巻末の参考資料に添付した。(参考資料14参照)

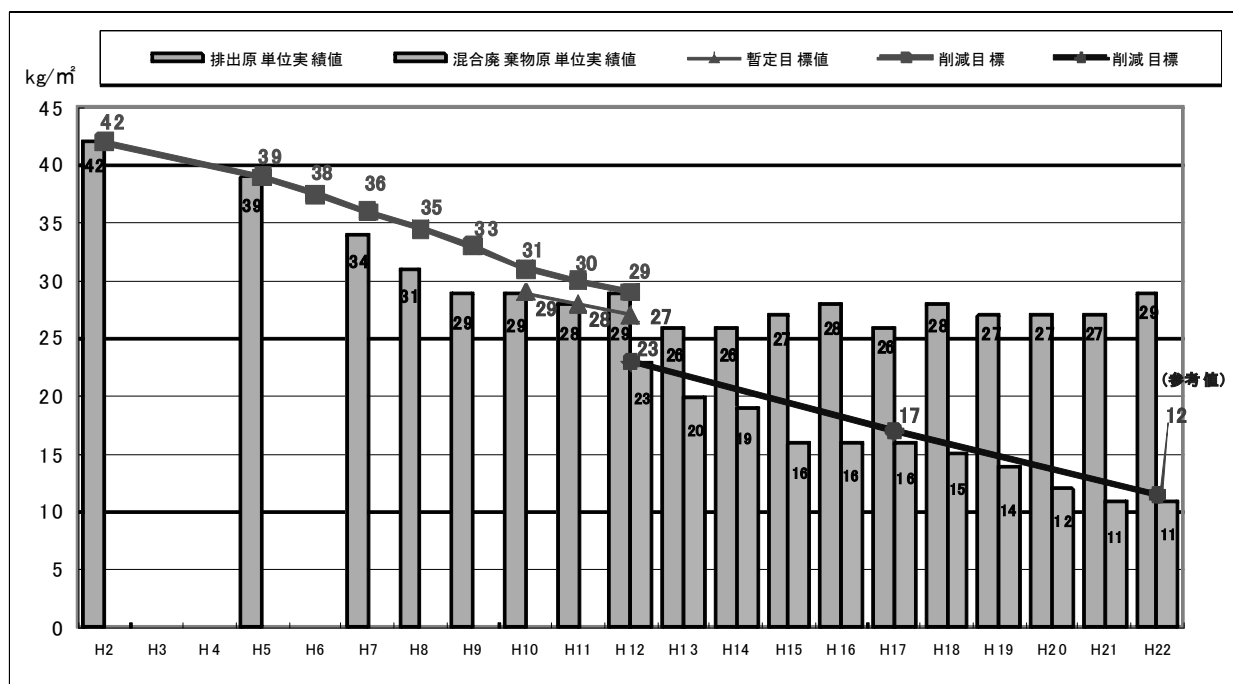
○前年度と比較すると、RC造を除き、サンプル数は減少したが、発生原単位及び排出原単位とも、SRC造を除き増加した。しかしながら、混廃原単位は前年度とほとんど同じ数値となっている。

・3,000 m<sup>2</sup>未満の比較的小型の工事における発生原単位及び排出原単位が高い数値となり、全体を押し上げる要因の一つとなっていると推察できる。ただ、混廃原単位は小型工事においても減少しており、目標達成に寄与している。また、排出原単位の増加は、中間処理施設への排出が増えていることを意味しているが、混廃原単位の数値が変わらないことから分別による単品排出が増えていると言える。

#### (4) 原単位の削減実績値と目標値

図－５にこれまでの削減実績値と目標値を示す。

表－９に各原単位の推移を示す。



図－５ 削減実績・削減目標

表－９ 各原単位の推移

(単位：kg/m²)

	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
発生原単位	33	34	33	33	34	37
排出原単位	26	28	27	27	27	29
混合廃棄物原単位	16	15	14	12	11	11

○平成 22 年度は、平成 21 年度と比較すると、発生原単位及び排出原単位は増えたが、混廃原単位は前年度同様 11kg/m²となり 3 年連続目標値を達成した。(参考資料 15 参照)

- 発生原単位の増加は、年度のサンプルの特性に影響を受けたものと考えられる。また、中間処理施設へ排出する割合が増えたのは、表－10 に示すように当該調査年度では、コンガラ及び廃プラスチックの単品での排出量が増加し、混合廃棄物による排出量が抑制できたためと考えられる。

(5) 分析結果その2 (その他の分析項目)

表-10 品目別排出施設・排出量

(単位:トン)

	場内外利用			専ら物売却			再資源化施設			中間処理施設					
	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度			
コンガラ	80	5	0				8,838	27,386	24,485	48,489	33,007	39,808			
アスコン							4,545	7,538	8,603	7,048	4,129	5,649			
廃プラスチック										2,303	2,179	2,858	8,106	7,923	14,048
木くず										14,014	12,114	15,172	9,803	8,604	10,903
石膏ボード										13,523	12,095	12,359	4,746	4,359	5,185
金属くず							8,879	10,281	12,694	110	53	63	1,380	1,418	1,118
紙くず							3,356	3,408	4,427	121	225	173	4,868	4,310	4,539
合計				80	5	0	12,234	13,689	17,122	43,455	61,590	63,712	84,441	63,750	81,250

サンプル数 平成20年度：613 平成21年度：619 平成22年度：576

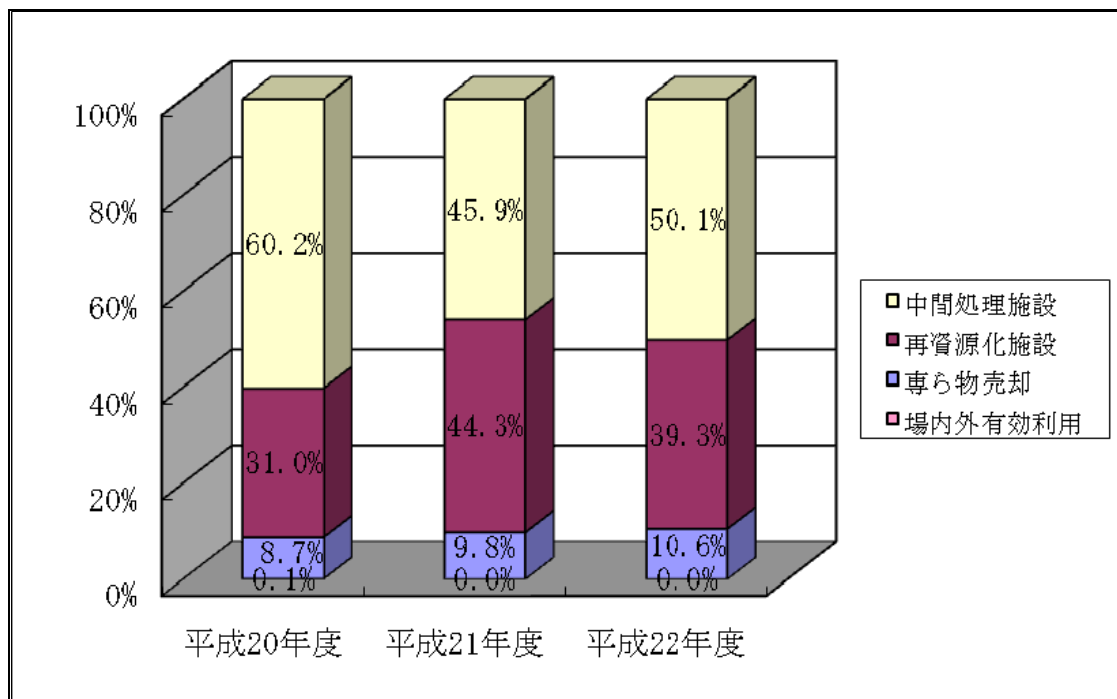
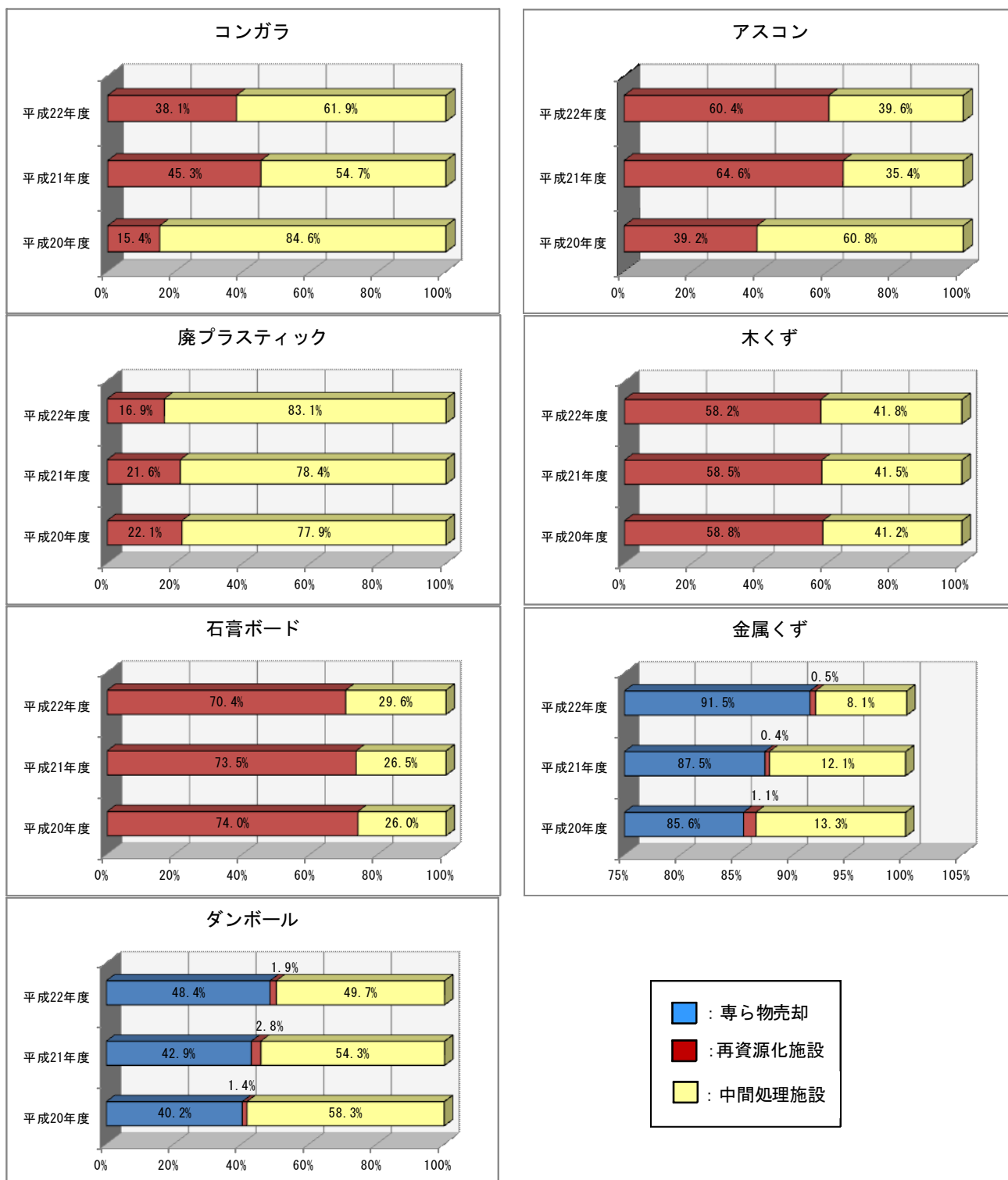


図-6 排出施設の割合

- 中間処理施設への排出量は3年とも50%近い割合を占めている。平成22年度は、前年度と比べて中間処理施設への排出量、排出割合とも増加した。
- 再資源化施設への排出量は3年連続で増加しているが、排出割合は減少した。
- 専ら物売却の排出割合が3年とも10%前後であるが、平成22年度の排出量は前年度と比較して25%増加した。
- 平成22年度のコンガラ及びアスコンの中間処理施設への排出割合としてはほぼ同じ比率ではあるが、排出量はそれぞれ20%、37%程度増加した。
- 平成22年度の廃プラスチックの排出量は前年度と比べて8割程度増加した。





図一 7 品目別排出施設の割合

- 廃プラスチックの中間処理施設への排出は8割前後とかなり大きな割合となっている。
- 石膏ボード、木くずの施設別の排出割合は3年間ではほとんど変化がない。
  - ・石膏ボードは再資源化施設への排出（広域認定制度によるリサイクルを含む）が定着しているためと考えられる。また、木くずは、チップ化を目的とした専門の再資源化施設に6割弱が排出されていると推察できる。
- ダンボール、金属くずについては、専ら物売却の割合が3年連続で増加した。
- コンガラ、アスコンは平成20年度に比べてこの2年間は再資源化施設へ排出される割合が増えた。

## (6) 品目別原単位

品目別の原単位を表-11及び図-8に示す。また、品目別原単位の構成割合を図-9に示す。

なお、平成20年度から平成22年度までのデータを建物用途別にまとめたものを巻末の参考資料に添付した。(参考資料16参照)

表-11 品目別原単位

単位：(kg/m<sup>2</sup>)

構造	延床面積	発生原単位	発生原単位(アスコン除く)	コンガラ	アスコン	ガラス陶磁器	廃プラ	金属くず	木くず	紙くず	石膏ボード	その他	混合廃棄物
S造	1,000 m <sup>2</sup> 未満	43.7	40.9	5.5	2.8	2.0	1.5	1.7	2.6	0.8	4.2	6.6	16.0
	3,000 m <sup>2</sup> 未満	41.0	38.0	9.5	3.0	2.1	2.7	1.5	3.2	1.2	3.2	1.7	12.9
	6,000 m <sup>2</sup> 未満	35.8	33.8	7.9	2.1	1.9	2.9	0.8	4.2	1.1	2.2	2.5	10.2
	10,000 m <sup>2</sup> 未満	34.7	31.0	10.2	3.8	2.6	2.0	1.3	2.8	0.9	1.5	2.6	7.0
	10,000 m <sup>2</sup> 以上	29.1	27.2	8.0	1.9	2.8	1.9	1.8	2.4	0.8	1.8	2.9	4.8
	全体	35.8	33.2	8.4	2.6	2.3	2.2	1.5	3.0	1.0	2.5	3.0	9.5
RC造	1,000 m <sup>2</sup> 未満	52.9	51.7	8.5	1.2	1.1	2.8	4.2	6.4	2.7	4.0	1.7	20.5
	3,000 m <sup>2</sup> 未満	43.0	40.8	9.6	2.2	0.9	2.2	1.3	4.2	2.7	3.5	1.4	15.1
	6,000 m <sup>2</sup> 未満	38.8	36.7	10.7	2.1	0.7	1.7	1.5	3.2	1.5	2.6	1.6	13.1
	10,000 m <sup>2</sup> 未満	35.9	33.7	7.6	2.2	1.2	2.4	1.3	3.8	2.1	2.0	3.0	10.2
	10,000 m <sup>2</sup> 以上	32.5	30.3	8.5	2.2	1.2	2.1	2.0	4.6	1.5	2.6	2.1	5.8
	全体	38.7	36.7	9.1	2.1	1.0	2.1	1.8	4.2	2.0	2.9	1.9	11.7
SRC造	1,000 m <sup>2</sup> 未満	14.1	14.1	0.0	0.0	0.0	1.0	0.6	1.6	1.2	2.4	0.0	7.1
	3,000 m <sup>2</sup> 未満	26.4	26.4	8.6	0.0	0.9	0.9	0.3	0.8	0.6	1.6	0.3	12.4
	6,000 m <sup>2</sup> 未満	50.9	50.9	16.0	0.0	4.7	2.2	2.2	2.7	1.9	3.9	3.2	14.0
	10,000 m <sup>2</sup> 未満	33.8	32.5	10.2	1.3	1.8	2.0	0.6	2.7	0.6	2.4	3.4	8.8
	10,000 m <sup>2</sup> 以上	18.7	18.5	3.8	0.2	1.6	1.1	1.3	1.4	0.7	1.5	1.6	5.6
	全体	28.5	28.1	7.8	0.4	2.1	1.5	1.2	1.9	0.9	2.2	2.1	8.5
全構造	1,000 m <sup>2</sup> 未満	48.0	46.1	7.0	1.9	1.5	2.2	3.0	4.6	1.8	4.0	3.8	18.2
	3,000 m <sup>2</sup> 未満	42.0	39.6	9.6	2.4	1.3	2.3	1.3	3.8	2.2	3.4	1.5	14.3
	6,000 m <sup>2</sup> 未満	38.6	36.6	10.2	2.0	1.3	2.0	1.3	3.5	1.4	2.6	1.9	12.4
	10,000 m <sup>2</sup> 未満	35.3	32.8	8.7	2.6	1.7	2.3	1.3	3.4	1.6	1.9	2.9	9.1
	10,000 m <sup>2</sup> 以上	30.1	28.2	7.9	1.9	1.8	1.9	1.8	3.6	1.2	2.2	2.3	5.4
全体(A)	37.2	35.0	8.8	2.2	1.5	2.1	1.6	3.7	1.6	2.7	2.3	10.8	
前回集計データ(B)	34.1	32.7	7.4	1.4	1.3	1.4	1.6	2.7	1.3	2.8	3.8	10.5	
差異(A-B)	3.1	2.3	1.4	0.8	0.2	0.7	0.0	1.0	0.3	-0.1	-1.5	0.3	

○それぞれの原単位は、前年度と比較すると、ほとんどの品目で増加している。特にコンガラの前年度が1.4kg/m<sup>2</sup>増加した。

○SRC造は、前年度より減少している品目が多くなっている。

・サンプル数が少ないため、原単位が対象物件の特性に影響を受けている可能性がある。

○RC造は、他構造に比べると混合廃棄物が多い。

・これは、RC造は集合住宅の構造体として採用されることが多く、間仕切りや仕上げ材が多く、現場での加工が多くなることが影響していると思われる。

○規模が大きくなると混合廃棄物は減少する傾向にある。(参考資料8、9、10、11参照)

○前年度と比較すると全体的に各品目で発生原単位が増加傾向にあり、混廃原単位も微増した。

・S造の1,000~6,000m<sup>2</sup>の混廃原単位の増加が全体の混廃原単位の微増につながっている。

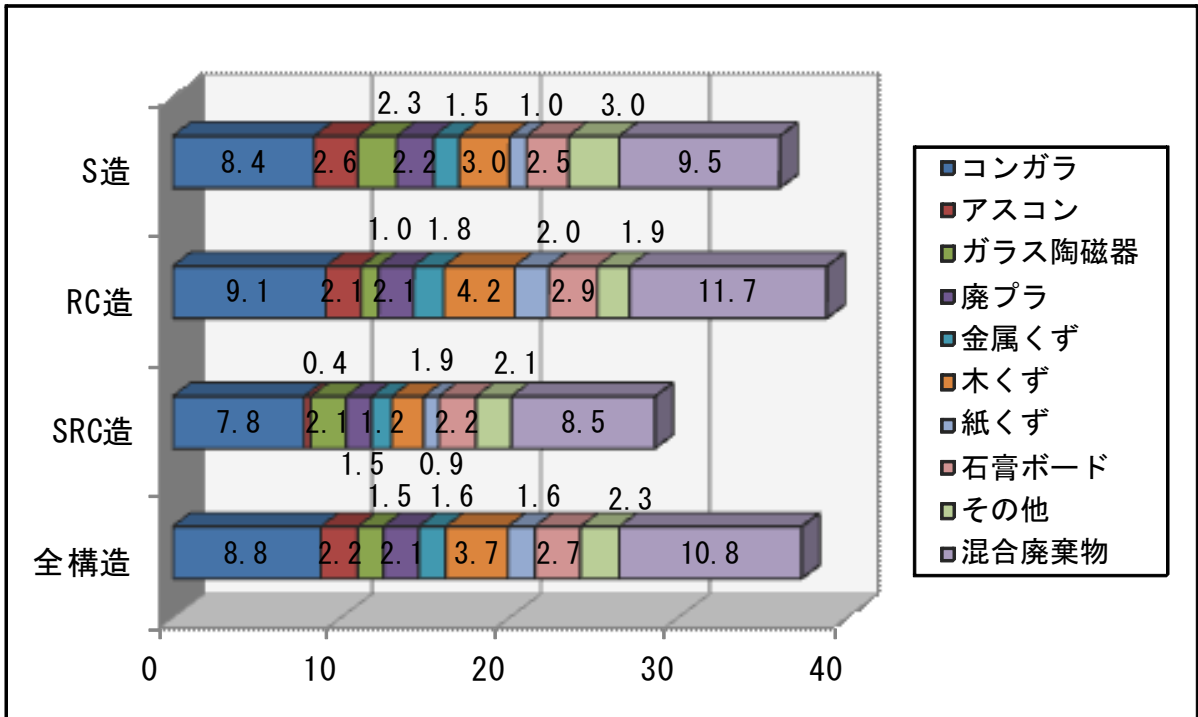


図-8 構造別の品目別原単位

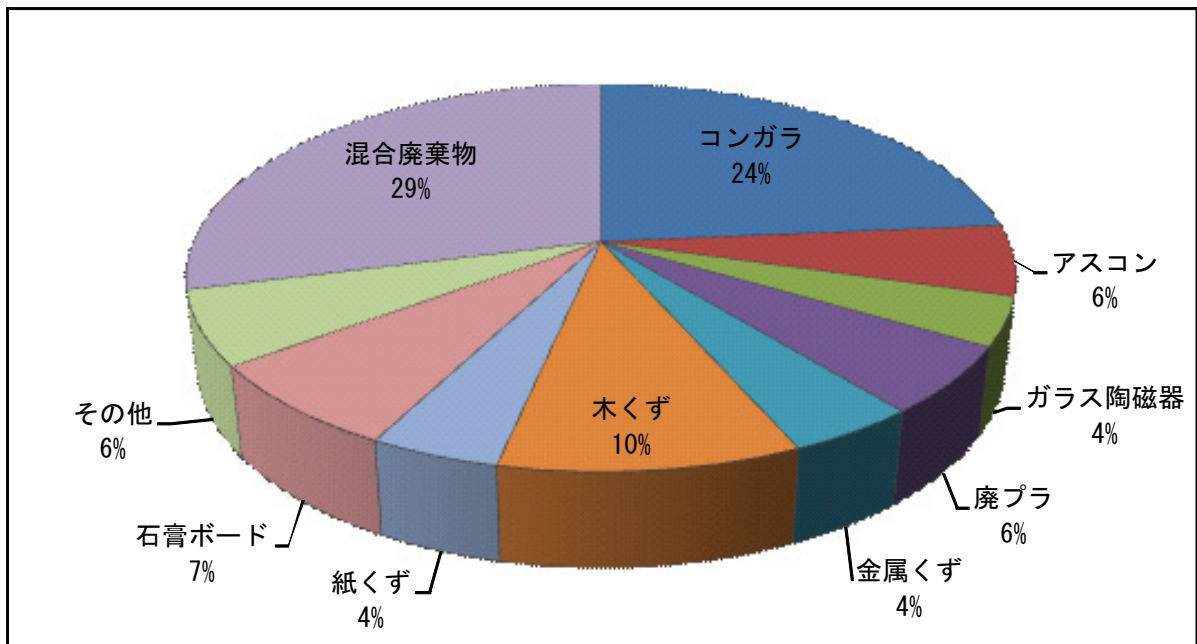


図-9 品目別原単位の構成割合

○発生原単位のうち混合廃棄物の割合は全体の 29%となっており、残り 71%が建設現場での分別により排出されていることがわかる。

○混合廃棄物の割合はまだ高いが、前年度と比較すると 1%減少した。

表-12 品目別原単位 (混合廃棄物組成割合調整)

(単位: kg/m<sup>2</sup>)

種類	コンガラ	アスコン	ガラス 陶磁器	廃プラ	金属く ず	木 くず	紙 くず	石膏 ボード	その他	混合 廃棄物
原単位	8.8	2.2	1.5	2.1	1.6	3.7	1.6	2.7	2.3	10.8
混廃組成割合 (※)	4.5%	0.0%	4.0%	8.7%	6.6%	9.3%	8.7%	3.0%	55.2%	
混廃内原単位 (kg/m <sup>2</sup> )	0.5	0.0	0.4	0.9	0.7	1.0	0.9	0.3	5.8	
	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	
<b>合計</b>	<b>9.3</b>	<b>2.2</b>	<b>1.9</b>	<b>3.1</b>	<b>2.3</b>	<b>4.7</b>	<b>2.5</b>	<b>3.0</b>	<b>8.2</b>	

※混廃組成割合は平成18年度「建築系混合廃棄物の組成及び原単位調査報告書(平成19年3月発行)」  
P.13「表2 建築系混合廃棄物の組成内容(全品目)」による

### 3. まとめ

本報告書の作成は、平成2年度から旧建築業協会廃棄物対策部会の取り組みとして始まった。その後、同部会は副産物部会と改称、建設3団体の合併により平成23年度からは、(社)日本建設業連合会の建設副産物部会建築副産物専門部会として活動し、今回は最終報告書となる。

活動開始当初は、「リサイクルプラン21(旧建設省)」の実現を目指し、首都圏の新築混合廃棄物の排出原単位を10年間で30%削減(平成2年度の42kg/m<sup>2</sup>を29kg/m<sup>2</sup>に)するという目標で取り組み、同9年度に達成した。その後、中間処理施設の再資源化能力向上を受けて、作業所での分別努力が明確になるよう原単位の考え方を見直し、当初の「中間処理施設へ排出した原単位」から、「混合廃棄物として排出した原単位」に変更するとともに、「建設リサイクル推進計画2002(国土交通省)」に基く「建設業の環境自主行動計画」により、10年間で混合廃棄物を50%削減(平成12年度の23kg/m<sup>2</sup>を12kg/m<sup>2</sup>に)するとの目標で活動し同20年度に達成、今回最終的には11kg/m<sup>2</sup>に到達した。

また、平成21年度報告書からは、全国産業廃棄物連合会、建設廃棄物協同組合(旧関東建設廃棄物協同組合)と協働で行った「建築系混合廃棄物の組成調査報告書」に基づき、品目別の原単位を提供している。さらに、今回は最終年度の報告書発行に当たり、従来の当該年度実績の報告を中心とした内容に加えて、過去3年度分のデータを併せて原単位のバラつきを抑えた資料や経年変化も詳しく報告し、業界の決定版とすべく充実を図った。

これまで、20年を超える調査に協力いただいた会員会社、各作業所で削減に努力された方々、削減計画や分別指導等でご協力いただいた廃棄物処理会社各社に改めて感謝申し上げるとともに、歴代の当分科会委員、中でも収集データの取り纏めを中心となって担当された皆さまには、改めて敬意を表したい。

今回で報告書の作成は一旦終了するが、数年後に取り組みレベルの向上度把握のため、新たな報告を行う予定である。それにはデータ蓄積のためにも、毎年度、会員会社から或る程度のサンプルを提供いただく必要があるため、今後ともご協力をお願いしたい。

最後に、建設廃棄物の排出量・最終処分量削減に向けた3R・ゼロエミッション活動の一層の推進に是非とも本報告書が活用されることを願って、報告を終える。



# 参考資料

1. 参考資料
2. 調査データ



# 1. 参考資料

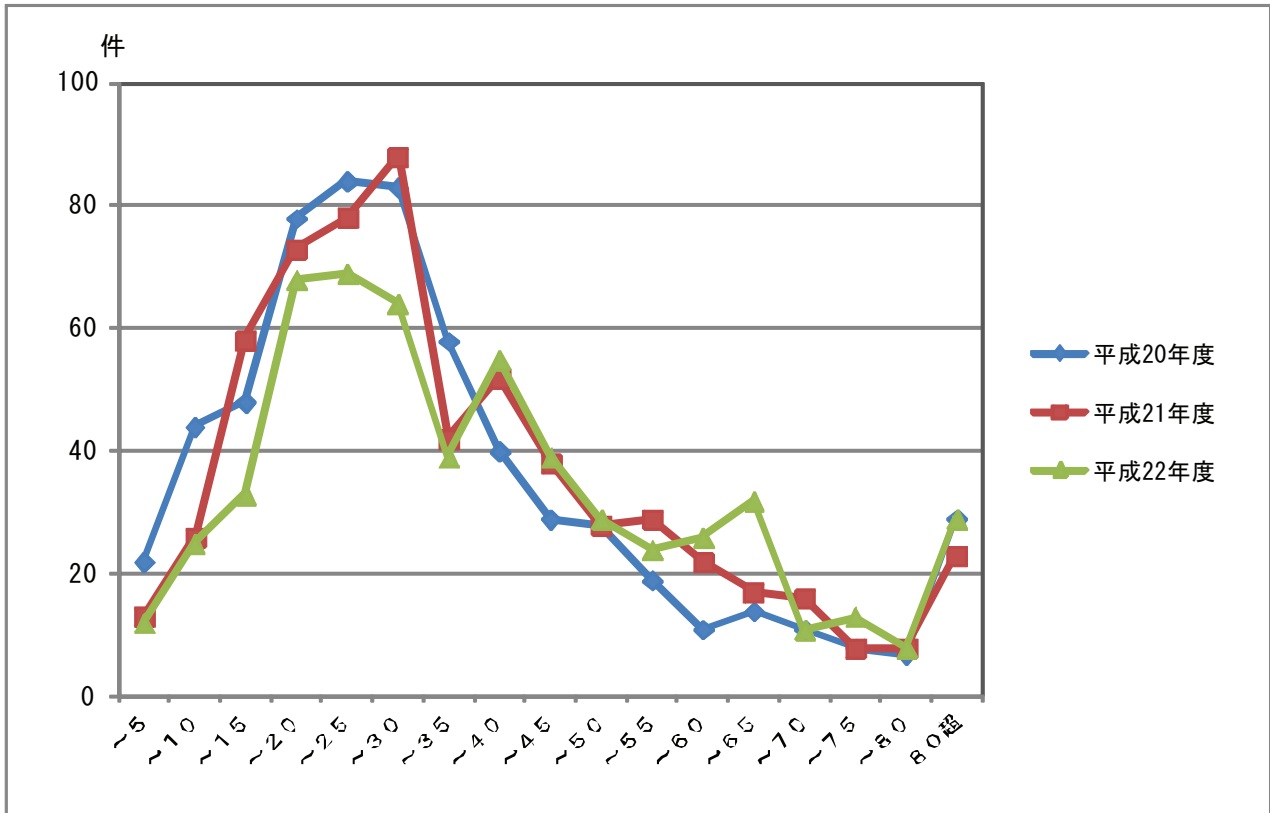
- 【参考資料 1】 発生原単位年度比較(平成 20 年度～平成 22 年度)
- 【参考資料 2】 排出原単位年度比較 (平成 20 年度～平成 22 年度)
- 【参考資料 3】 混廃原単位年度比較(平成 20 年度～平成 22 年度)
- 【参考資料 4】 用途・規模別原単位(平成 20 年度～平成 22 年度通算)
- 【参考資料 5】 用途別発生原単位及び混廃原単位(平成 22 年度)
- 【参考資料 6】 用途別品目別発生原単位(平成 20 年度～平成 22 年度通算)
- 【参考資料 7】 用途別品目原単位の比較(平成 20 年度～平成 22 年度通算)
- 【参考資料 8】 用途別発生原単位
- 【参考資料 9】 用途別排出原単位
- 【参考資料 10】 用途別混廃原単位
- 【参考資料 11】 用途別構造別品目別発生原単位(平成 20 年度～平成 22 年度通算)
- 【参考資料 12】 事務所及び集合住宅の発生原単位・混廃原単位年度比較
- 【参考資料 13】 混廃原単位の推移
- 【参考資料 14】 発生原単位・排出原単位及び混合廃棄物原単位  
(平成 20 年度～平成 22 年度通算)
- 【参考資料 15】 各原単位年度推移
- 【参考資料 16】 用途別構造別規模別品目別一覧表(平成 20 年度～平成 22 年度通算)
- 【参考資料 17】 品目別年度推移(平成 20 年度～平成 22 年度通算)
- 【参考資料 18】 品目別原単位(混合廃棄物組成割合調整)



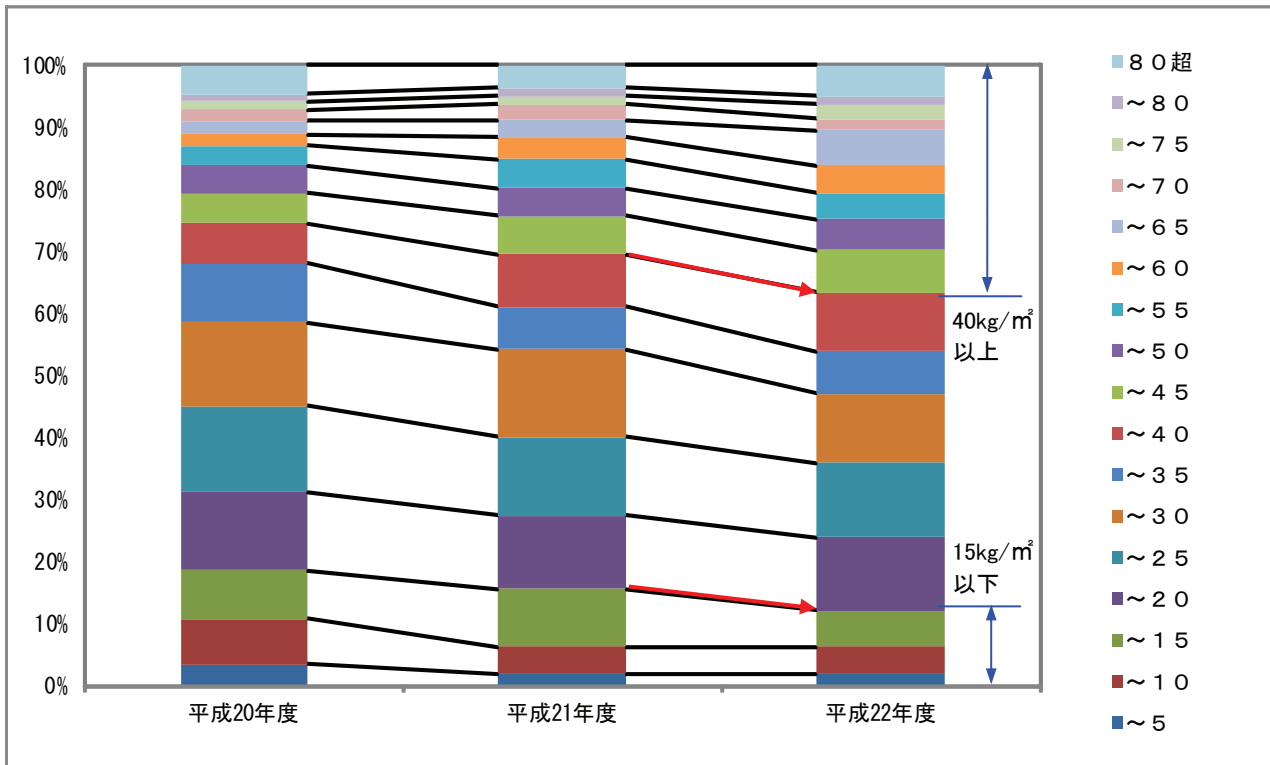


【参考資料 1】 発生原単位年度比較(平成 20 年度～平成 22 年度)

年度別発生原単位の傾向 (単位: kg/m<sup>2</sup>)

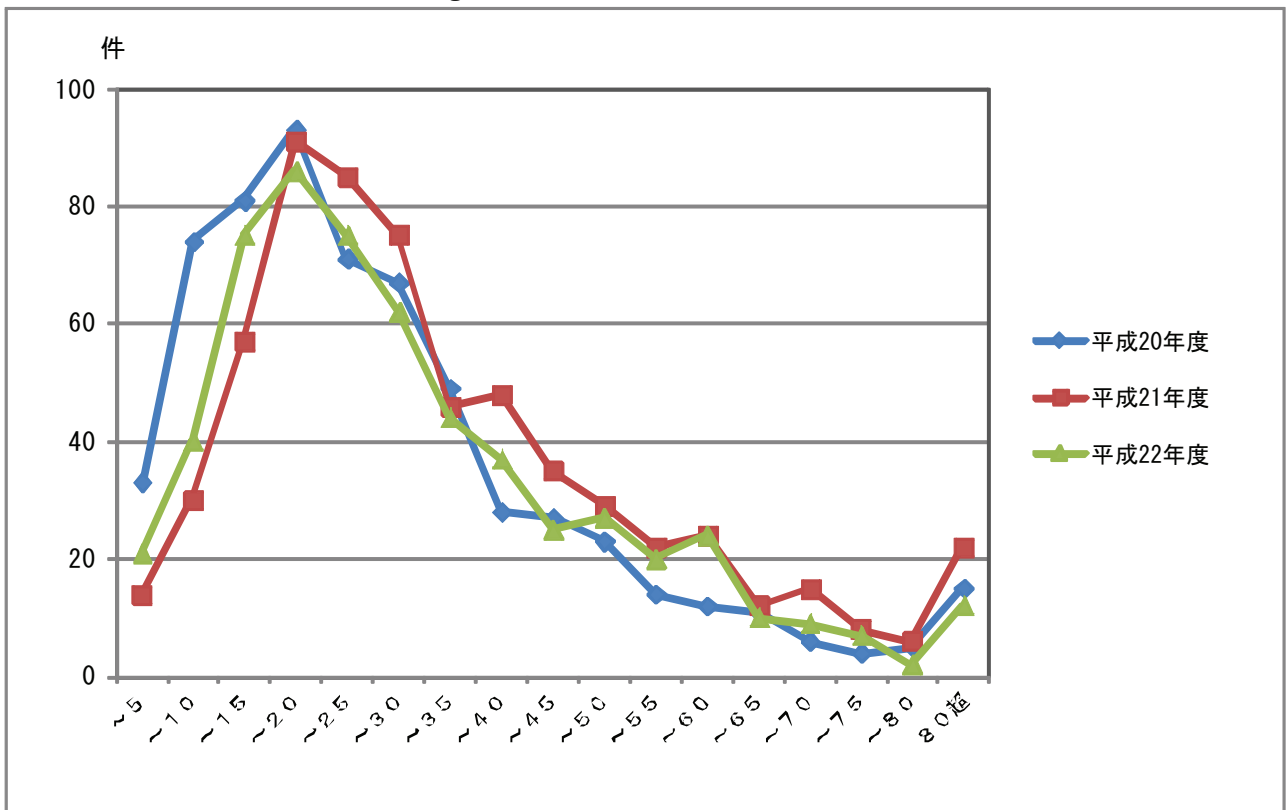


年度別発生原単位の割合 (単位: kg/m<sup>2</sup>)

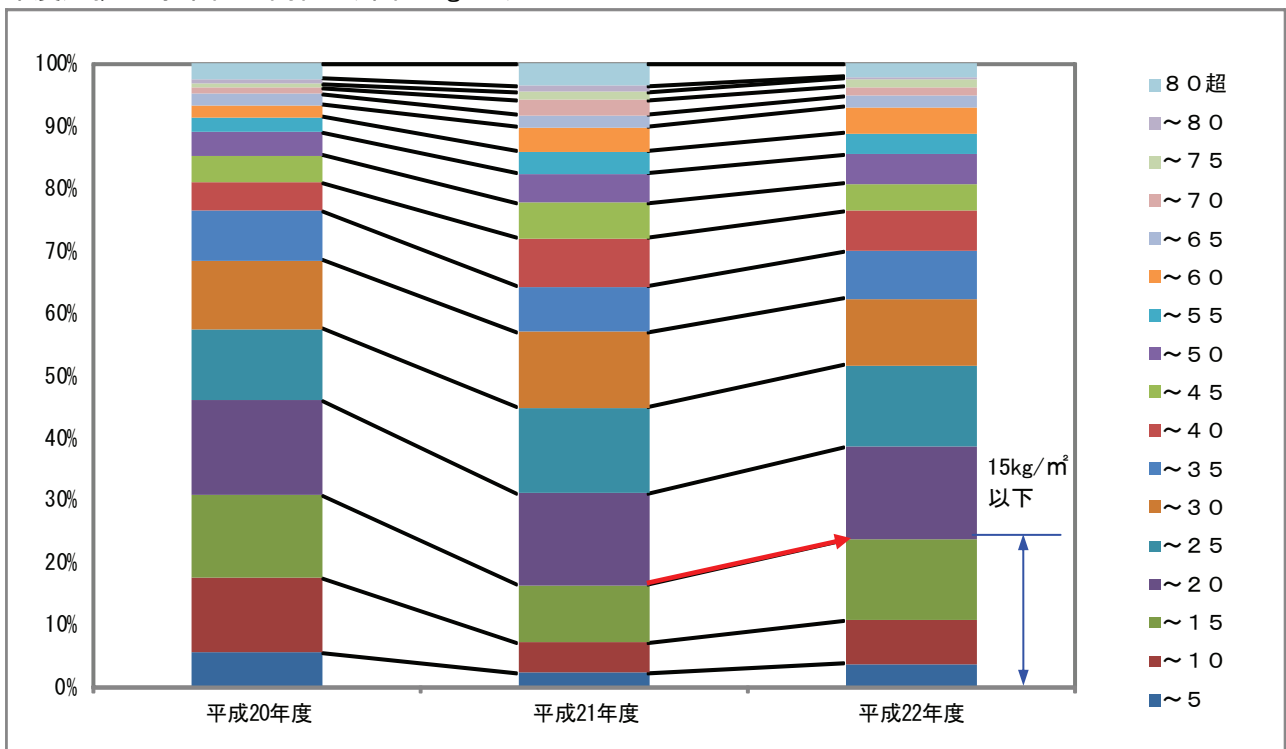


【参考資料 2】 排出原単位年度比較（平成 20 年度～平成 22 年度）

年度別排出原単位の傾向（単位：kg/m<sup>2</sup>）

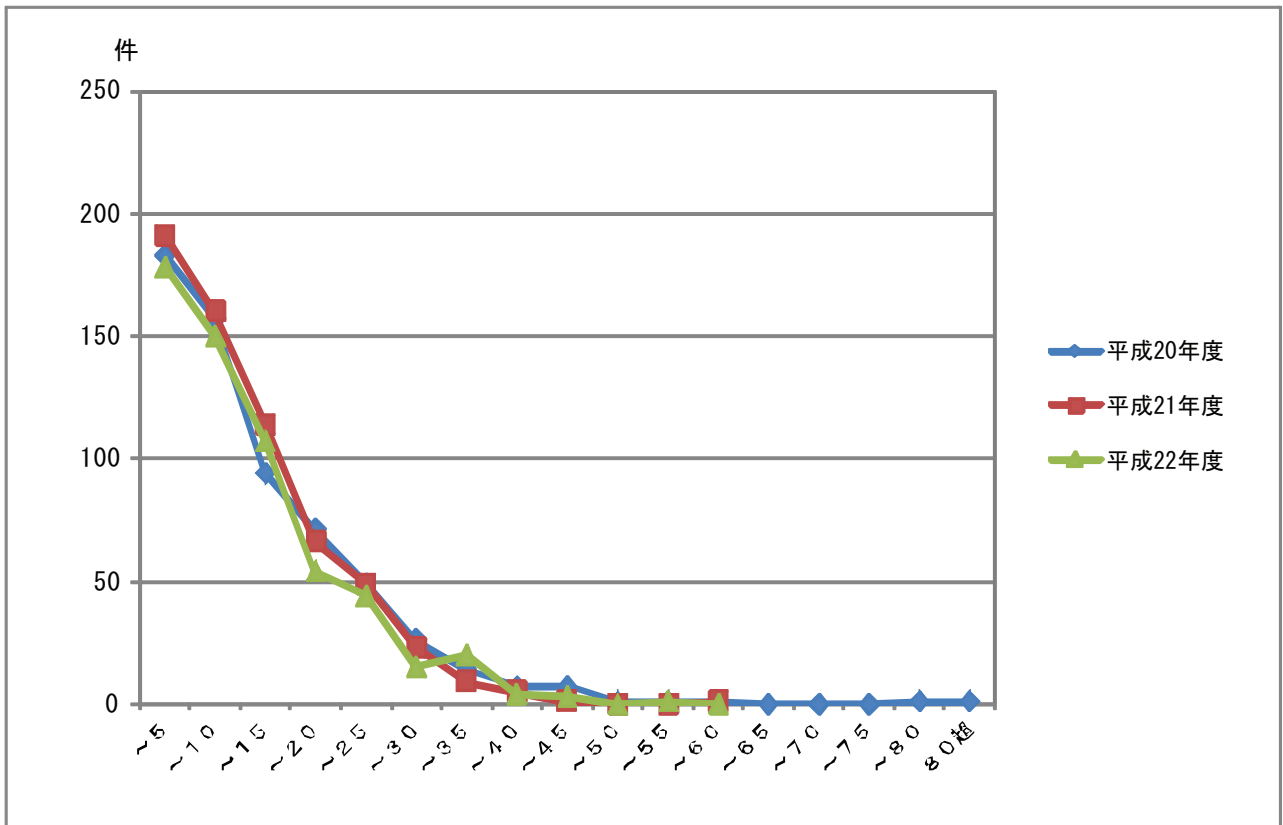


年度別排出原単位の割合（単位：kg/m<sup>2</sup>）

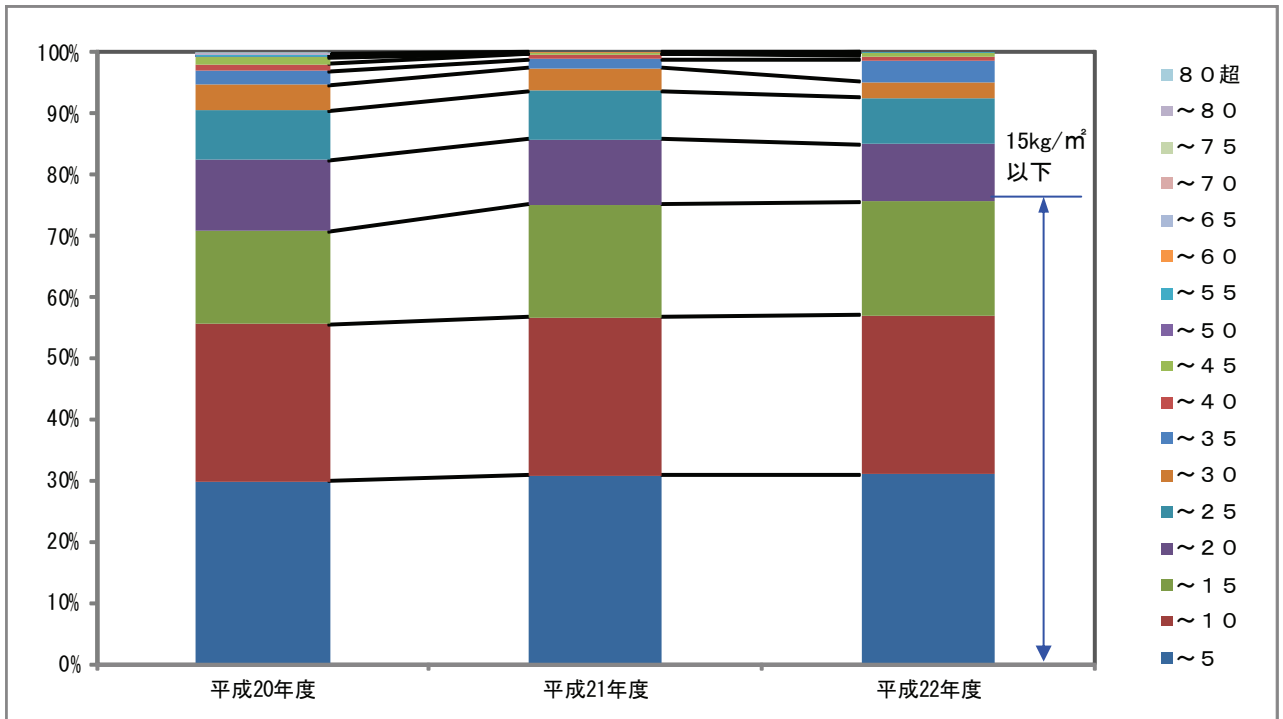


【参考資料 3】 混廃原単位年度比較(平成 20 年度～平成 22 年度)

年度別混廃原単位の傾向 (単位:kg/m<sup>2</sup>)



年度別混廃原単位の傾向 (単位:kg/m<sup>2</sup>)

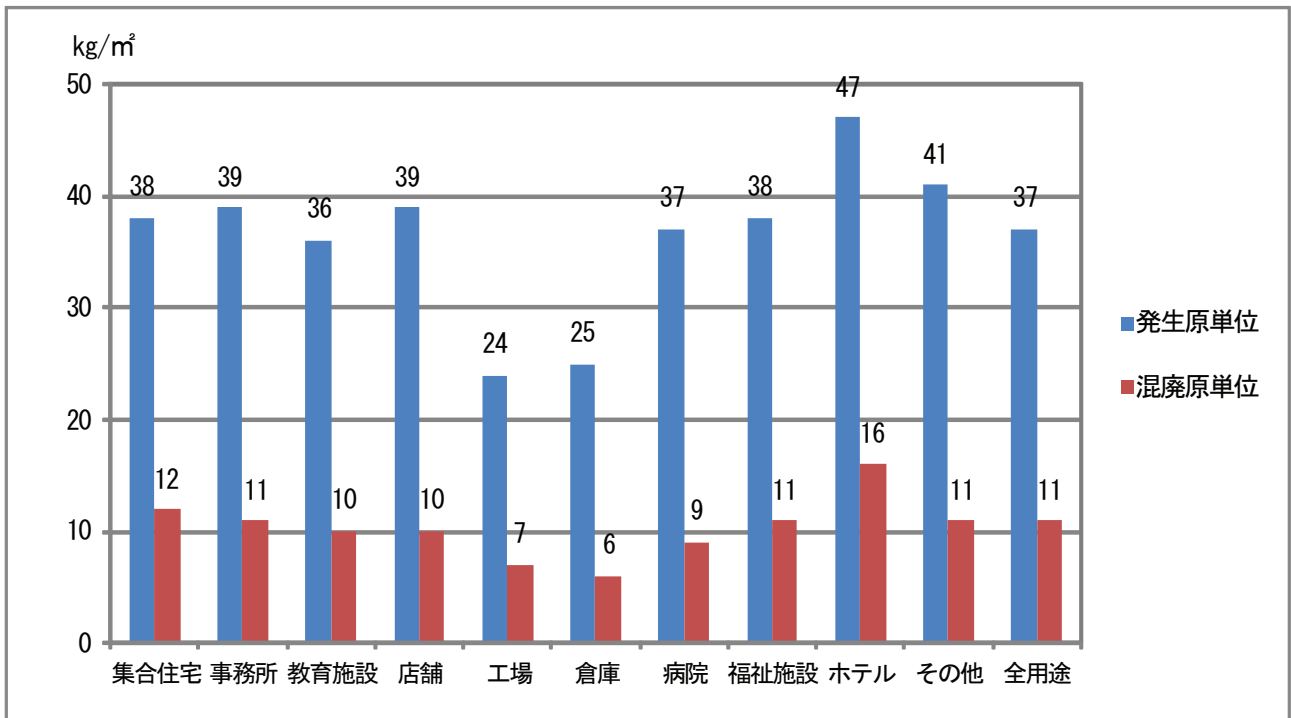


【参考資料 4】用途・規模別原単位(平成20年度～平成22年度通算)

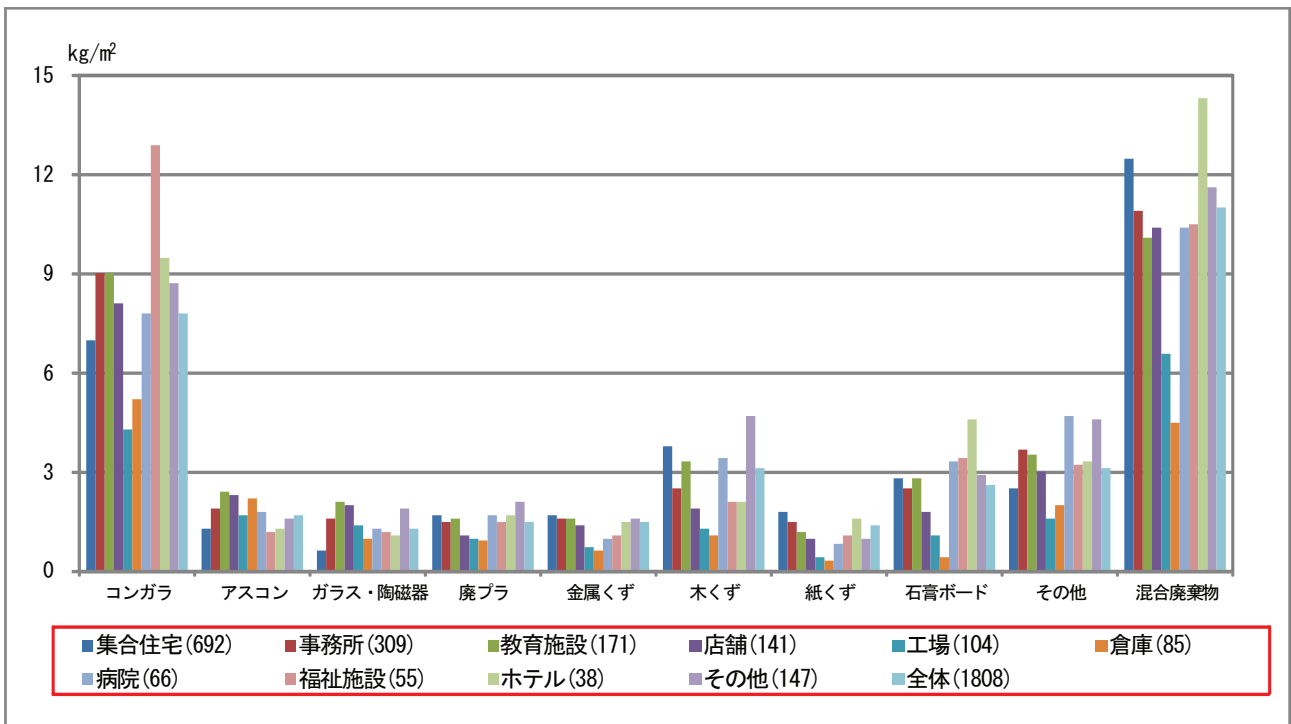
用途・規模別原単位一覧表

用途	延床面積	1,000 m <sup>2</sup> 未満			3,000 m <sup>2</sup> 未満			6,000 m <sup>2</sup> 未満			10,000 m <sup>2</sup> 未満			10,000 m <sup>2</sup> 以上			総計		
	項目	発生 原単位	総排出 原単位	混廃 原単位	発生 原単位	総排出 原単位	混廃 原単位	発生 原単位	総排出 原単位	混廃 原単位	発生 原単位	総排出 原単位	混廃 原単位	発生 原単位	総排出 原単位	混廃 原単位	発生 原単位	総排出 原単位	混廃 原単位
事務所	サンプル数(件)	39			81			57			45			87			309		
	原単位(kg/m <sup>2</sup> )	42.5	41.1	18.1	36.4	35.3	14.5	41.3	40.2	11.1	34.8	33.0	7.5	32.7	30.9	6.0	36.8	35.4	10.9
集合住宅	サンプル数(件)	34			149			169			87			253			692		
	原単位(kg/m <sup>2</sup> )	38.4	38.1	22.3	39.0	38.5	17.2	40.1	38.4	15.1	34.4	31.9	11.6	31.1	28.1	7.1	35.8	33.8	12.5
教育施設	サンプル数(件)	14			42			31			36			48			171		
	原単位(kg/m <sup>2</sup> )	53.3	52.3	21.6	43.4	41.8	12.3	34.6	33.8	10.2	37.0	35.3	7.6	29.8	28.8	6.6	37.5	36.2	10.1
店舗	サンプル数(件)	20			40			16			19			46			141		
	原単位(kg/m <sup>2</sup> )	38.2	37.2	15.2	38.9	38.3	15.1	37.5	34.9	13.5	28.9	27.7	9.4	26.3	24.8	3.4	33.2	31.9	10.4
病院	サンプル数(件)	3			20			14			11			18			66		
	原単位(kg/m <sup>2</sup> )	44.9	44.9	15.1	39.1	37.8	16.5	45.4	45.0	9.4	41.2	41.1	6.9	21.4	19.8	5.8	36.2	35.3	10.4
工場	サンプル数(件)	3			27			16			27			31			104		
	原単位(kg/m <sup>2</sup> )	27.8	27.7	18.7	27.3	26.7	9.9	20.0	19.7	7.1	17.6	17.2	5.6	14.7	14.3	3.2	19.9	19.5	6.6
福祉施設	サンプル数(件)	3			16			23			5			8			55		
	原単位(kg/m <sup>2</sup> )	51.3	49.2	14.2	36.4	35.6	9.7	39.4	38.3	9.9	47.8	44.2	15.5	27.2	26.3	9.3	38.2	36.9	10.5
ホテル	サンプル数(件)	2			9			9			8			10			38		
	原単位(kg/m <sup>2</sup> )	51.7	51.7	32.7	48.8	47.6	20.9	32.6	32.3	11.4	48.0	46.0	14.2	33.4	30.2	7.3	40.9	39.2	14.3
倉庫	サンプル数(件)	6			12			8			10			49			85		
	原単位(kg/m <sup>2</sup> )	22.5	22.1	11.8	18.4	17.8	5.8	35.4	35.3	3.2	22.7	22.1	5.6	13.9	13.6	3.3	18.2	17.9	4.5
その他	サンプル数(件)	24			45			24			18			36			147		
	原単位(kg/m <sup>2</sup> )	48.5	47.9	18.9	50.0	49.5	14.0	41.5	38.7	11.2	41.2	40.7	8.8	22.5	22.0	5.3	40.6	39.7	11.6
全用途	サンプル数(件)	148			441			367			266			586			1,808		
	原単位(kg/m <sup>2</sup> )	42.2	41.4	18.9	38.9	38.1	14.7	38.8	37.4	12.5	33.7	32.0	9.1	27.7	25.7	6.0	34.8	33.3	11.0

【参考資料 5】用途別発生原単位及び混廃原単位(平成 22 年度)



【参考資料 6】用途別品目別発生原単位(平成 20 年度～平成 22 年度通算)

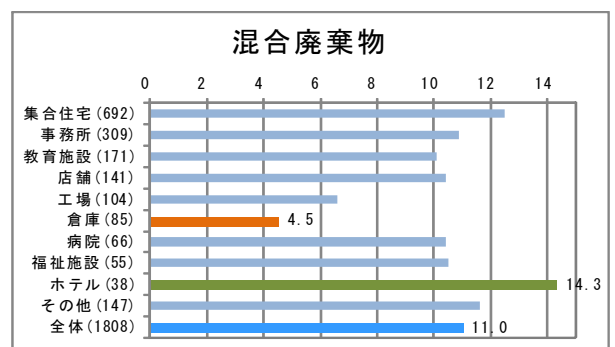
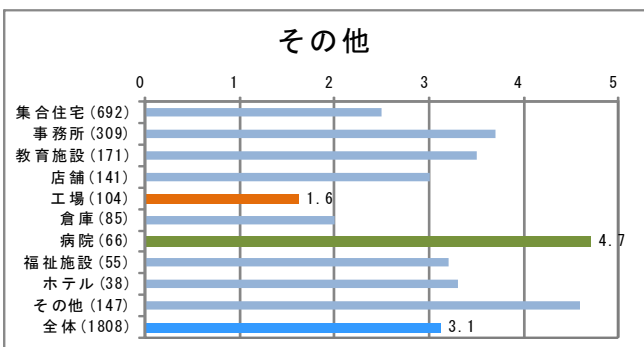
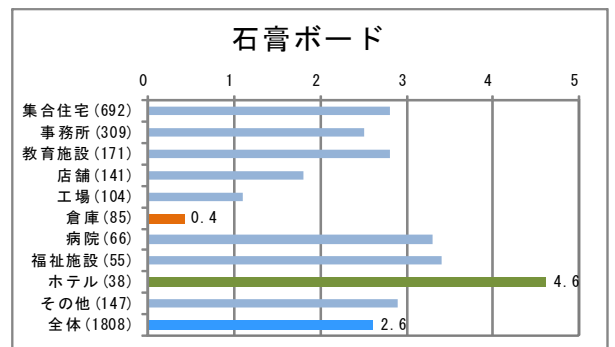
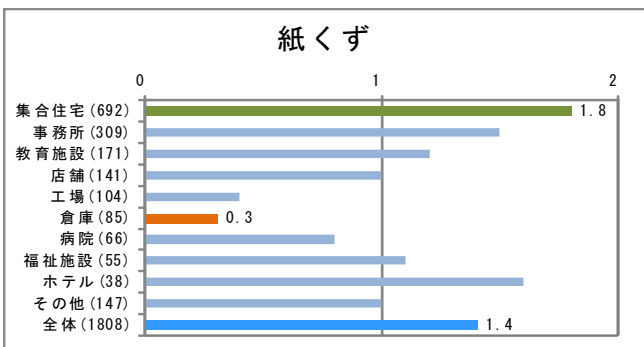
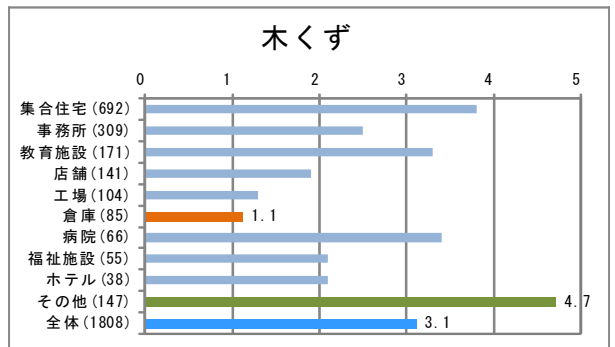
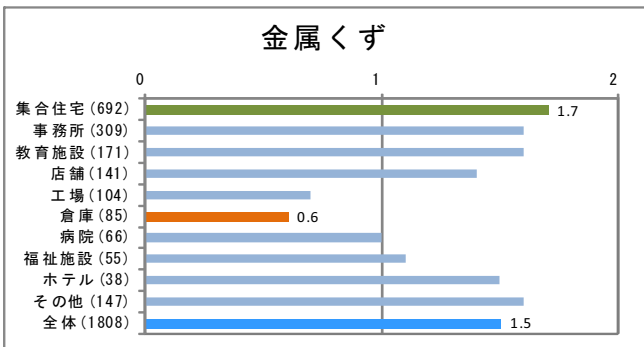
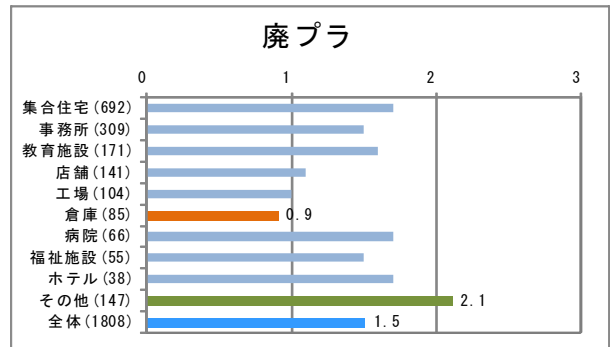
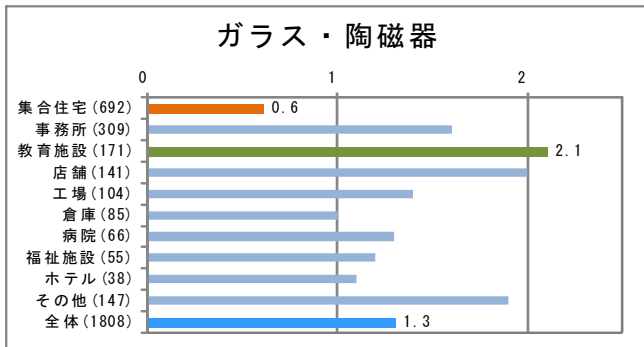
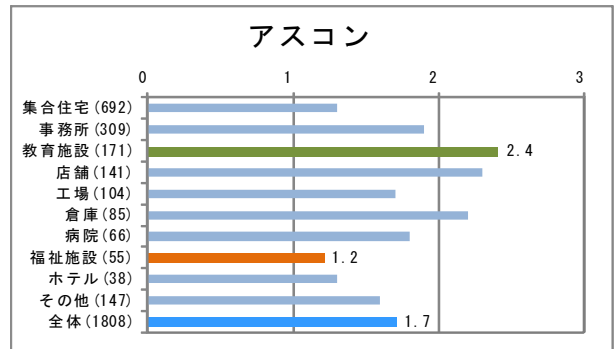
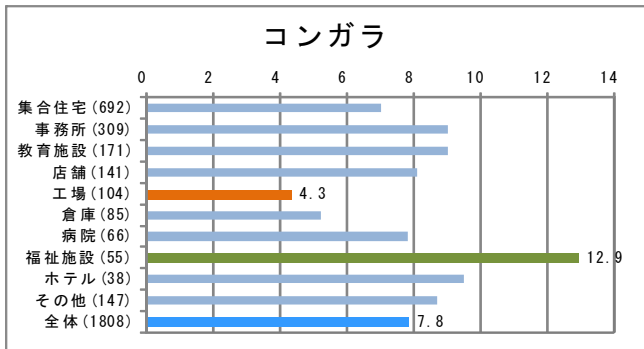


( ) の数字はサンプル数

【参考資料 7】用途別品目原単位の比較(平成 20 年度～平成 22 年度通算)

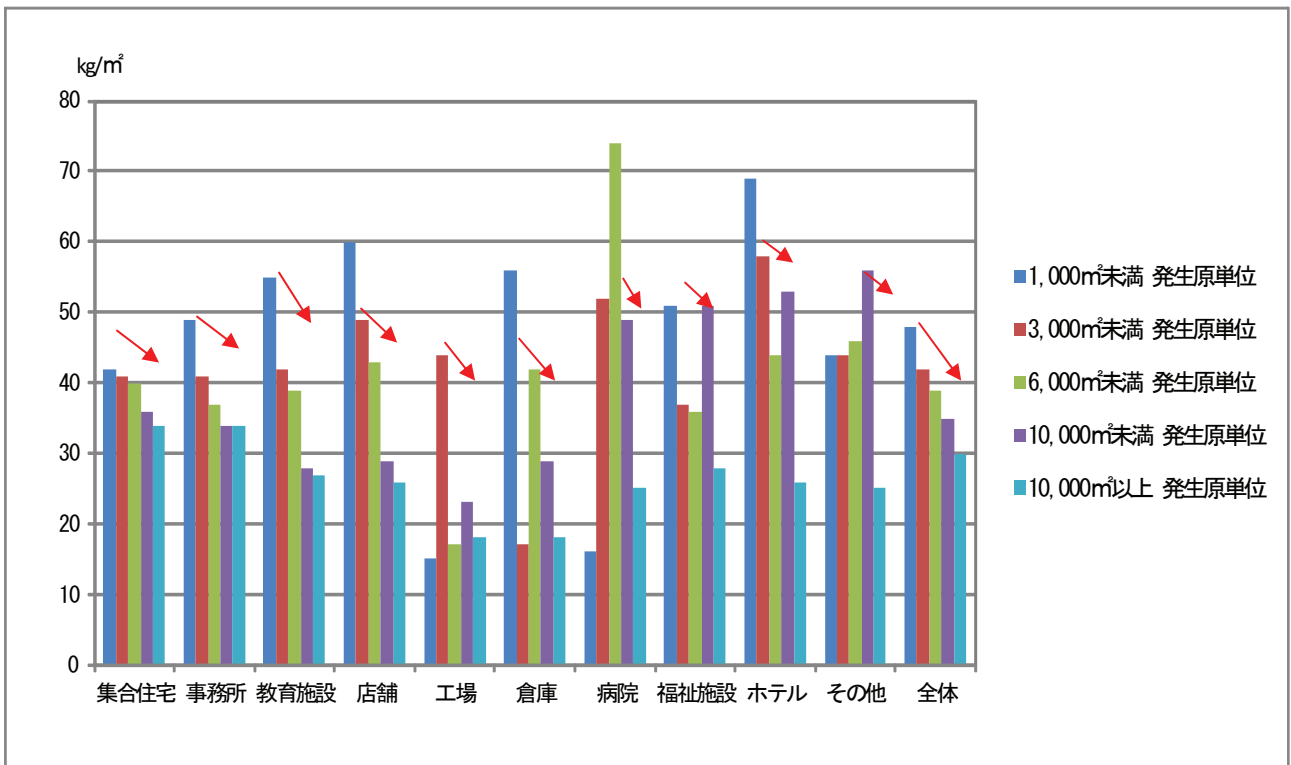
※橙色:最小値 緑色:最高値

(単位:kg/m<sup>2</sup>)

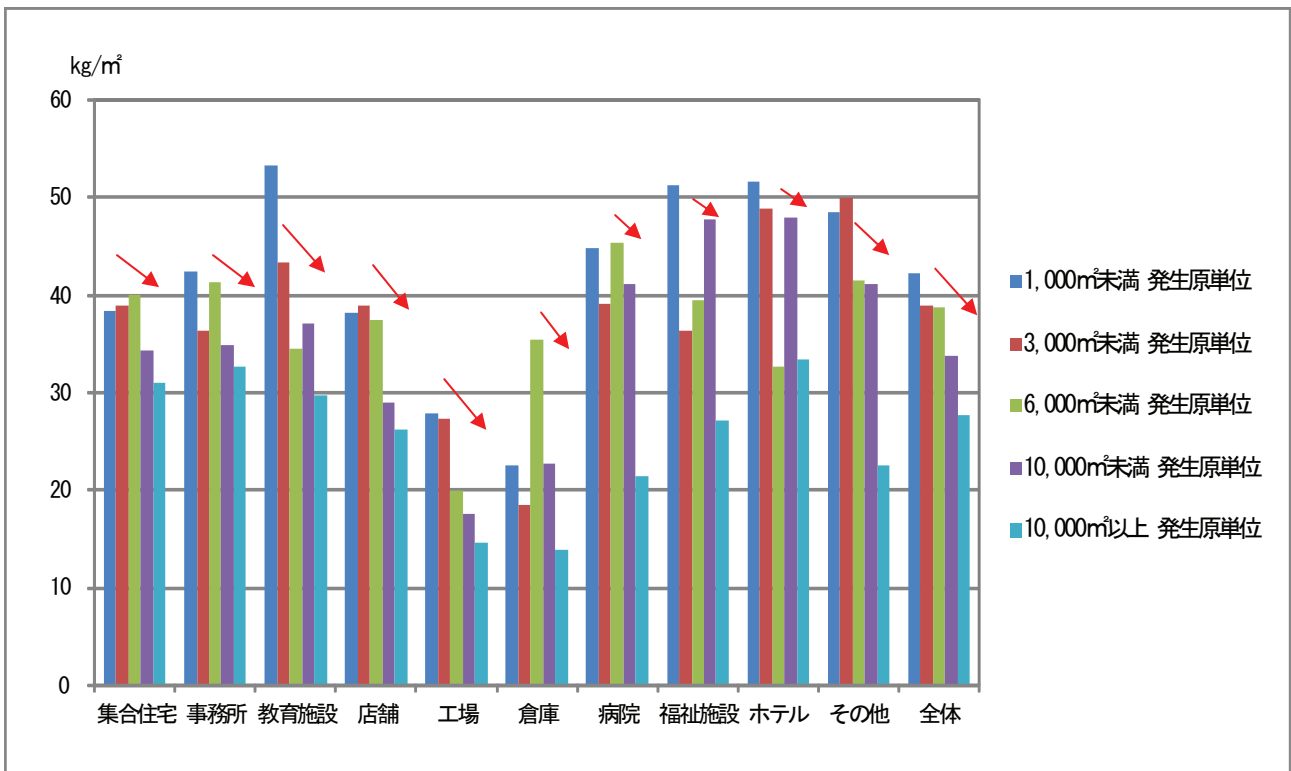


【参考資料 8】用途別発生原単位

平成 22 年度



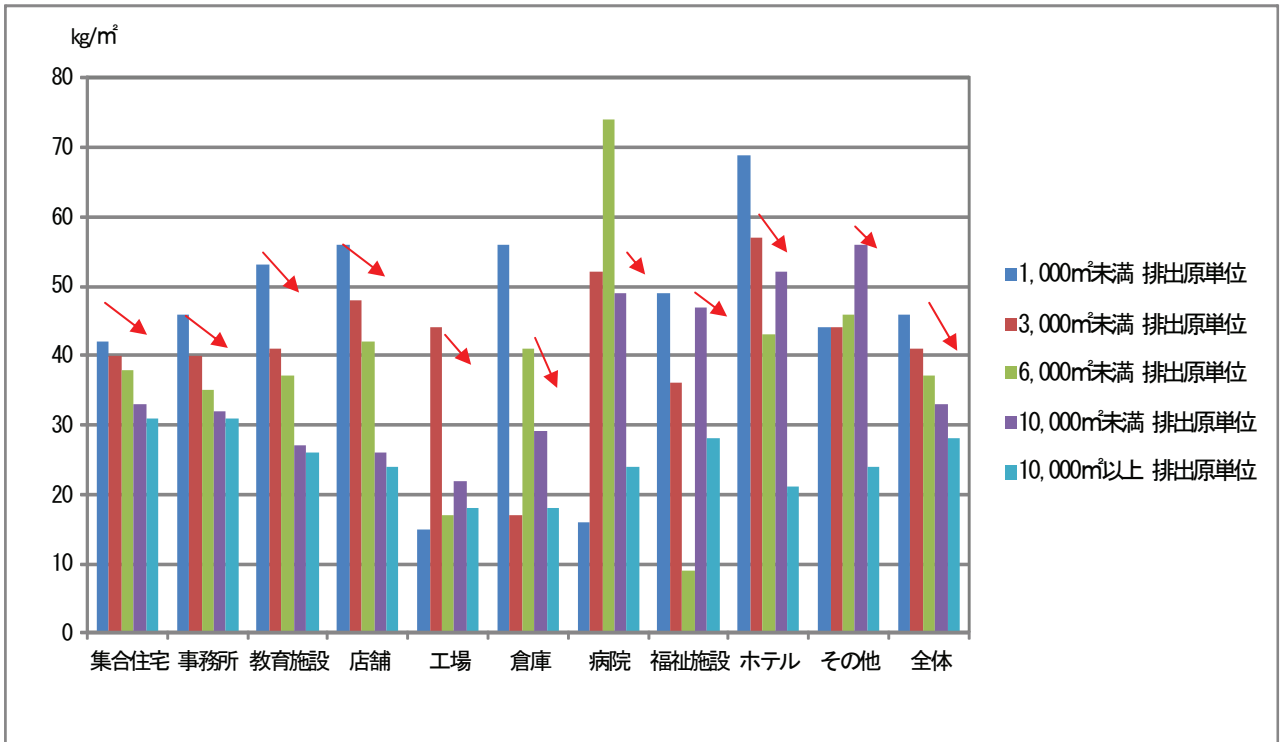
平成 20 年度～平成 22 年度通算



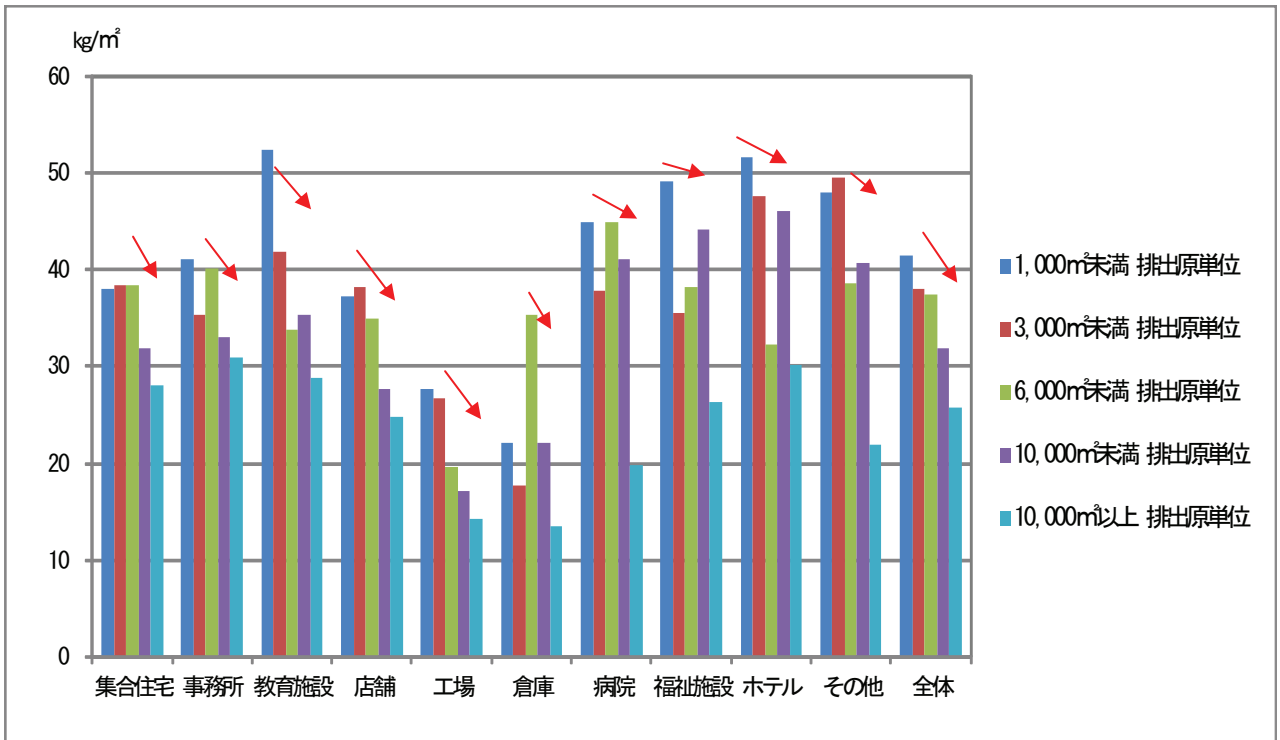


【参考資料 9】用途別排出原単位

平成 22 年度

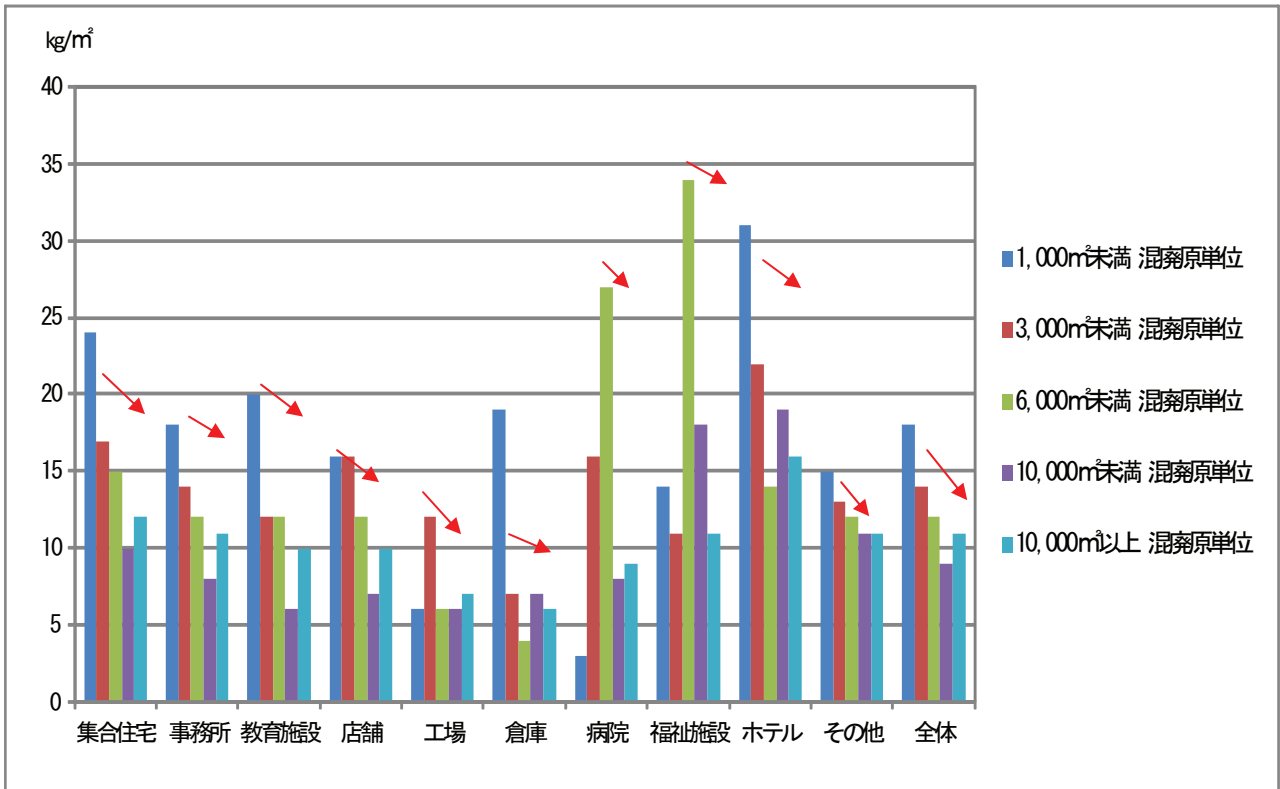


平成 20 年度～平成 22 年度通算

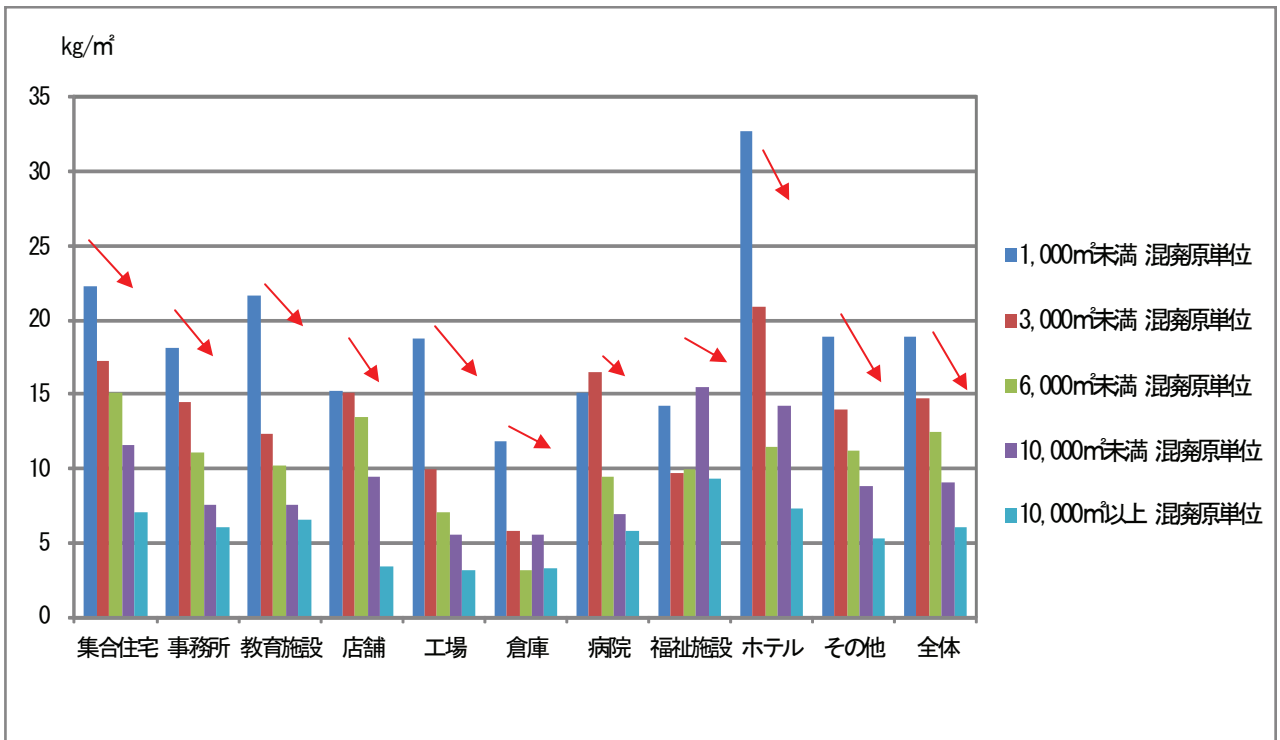


【参考資料 10】用途別混廃原単位

平成 22 年度



平成 20 年度～平成 22 年度通算

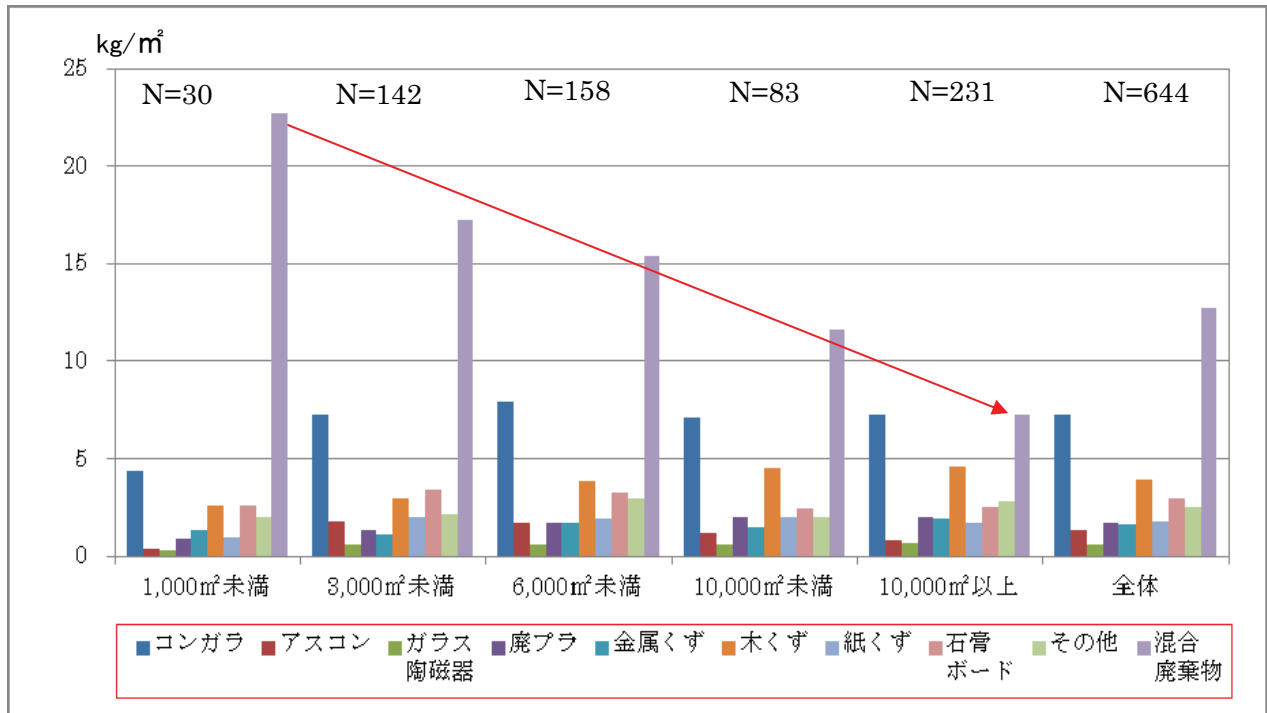


【参考資料 11】用途別構造別品目別発生原単位(平成 20 年度～平成 22 年度通算)

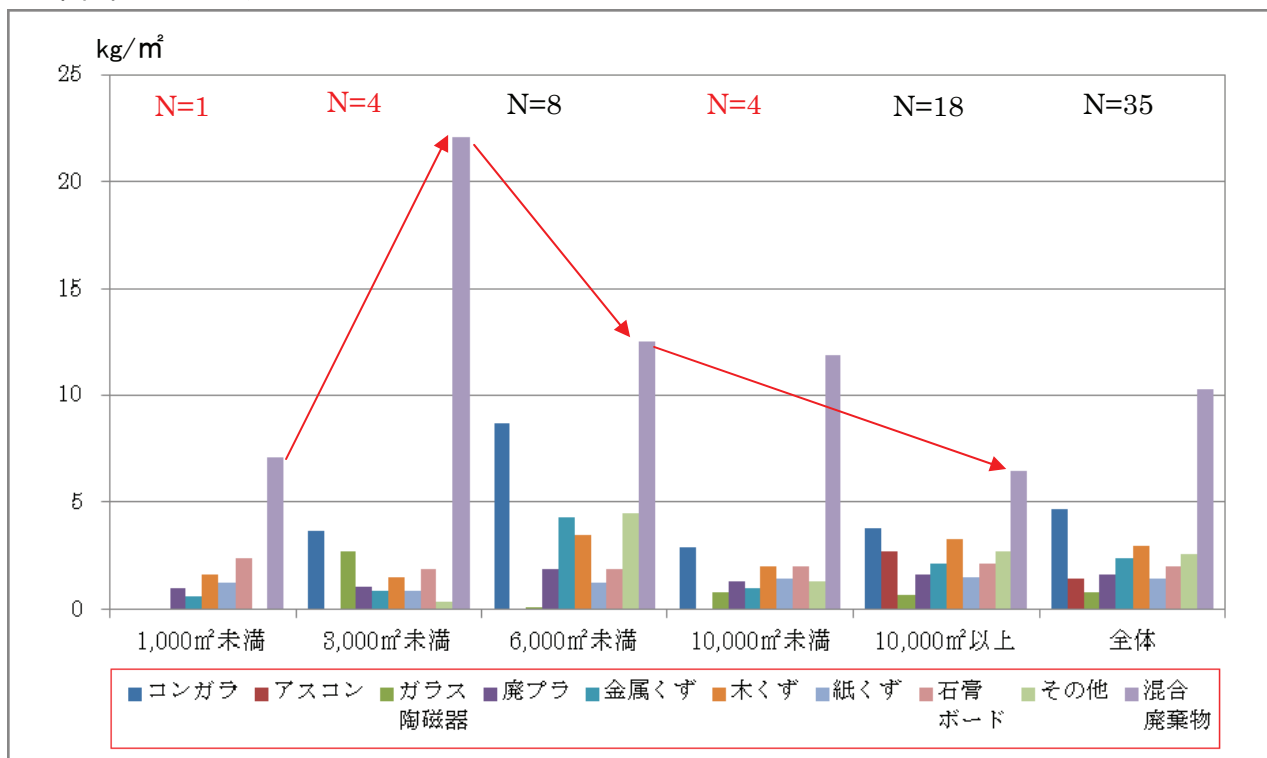
※ 図中の N の値は、サンプル数を示す。(赤字は、サンプル数が5物件未満)

※ 規模が大きくなるにつれて、混合廃棄物の排出原単位は小さくなる傾向にあるが、サンプル数(N値)が小さいとサンプルの特性に影響を受けるため、統計的な平均値としての信頼性に欠ける可能性がある。

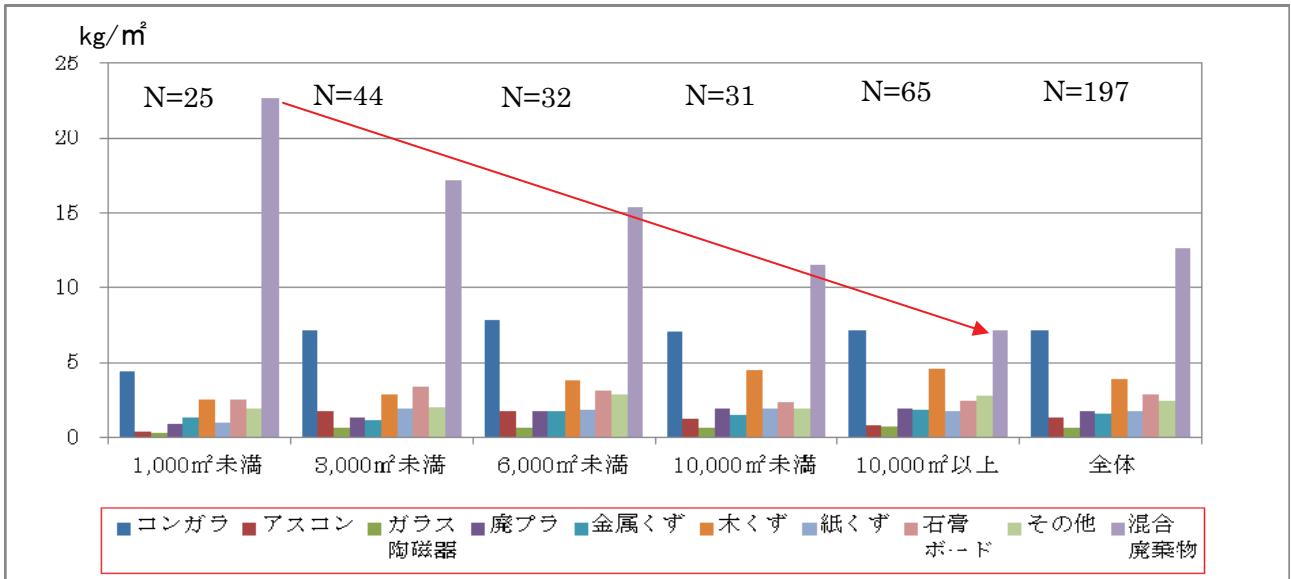
集合住宅:RC造



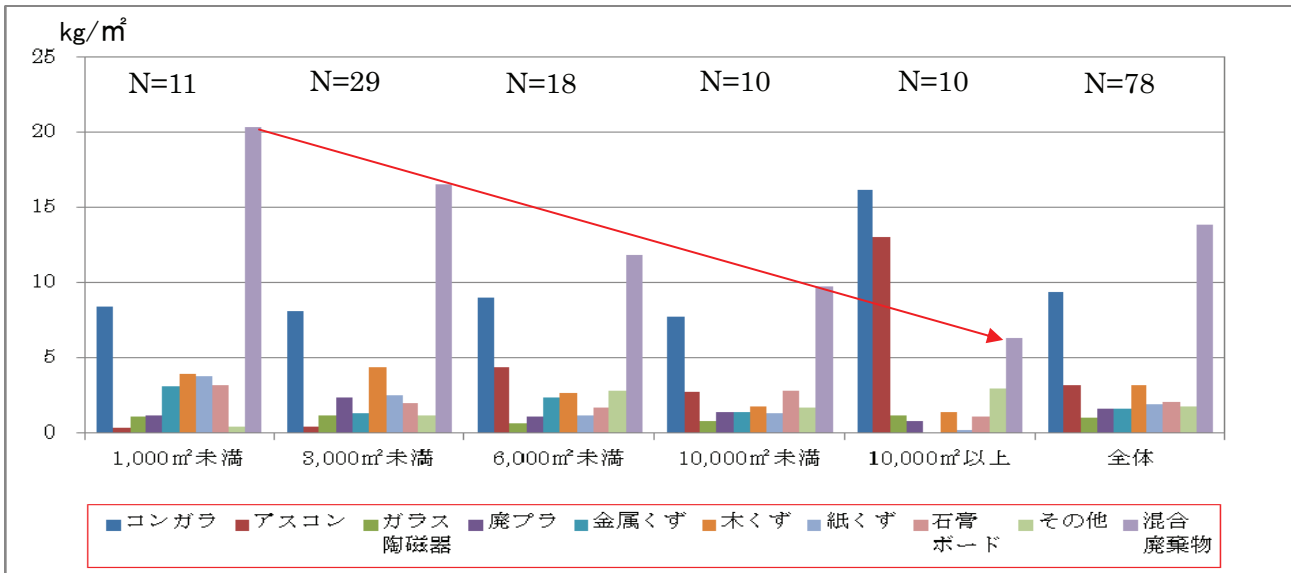
集合住宅:SRC造



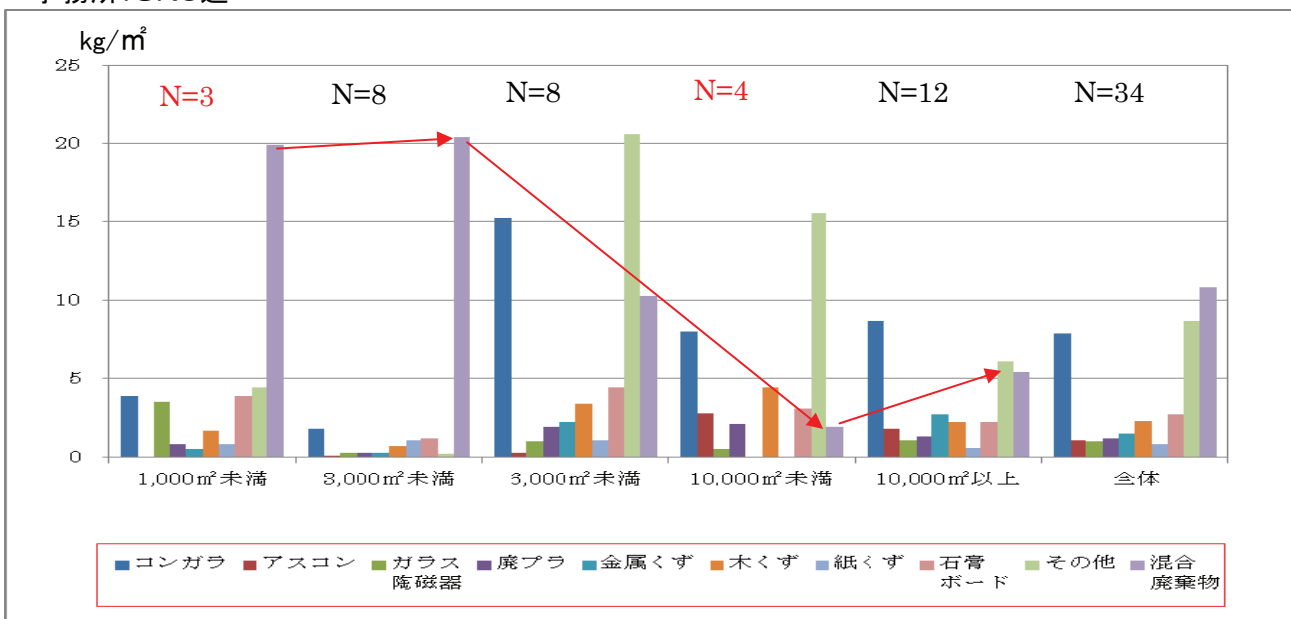
事務所:S造



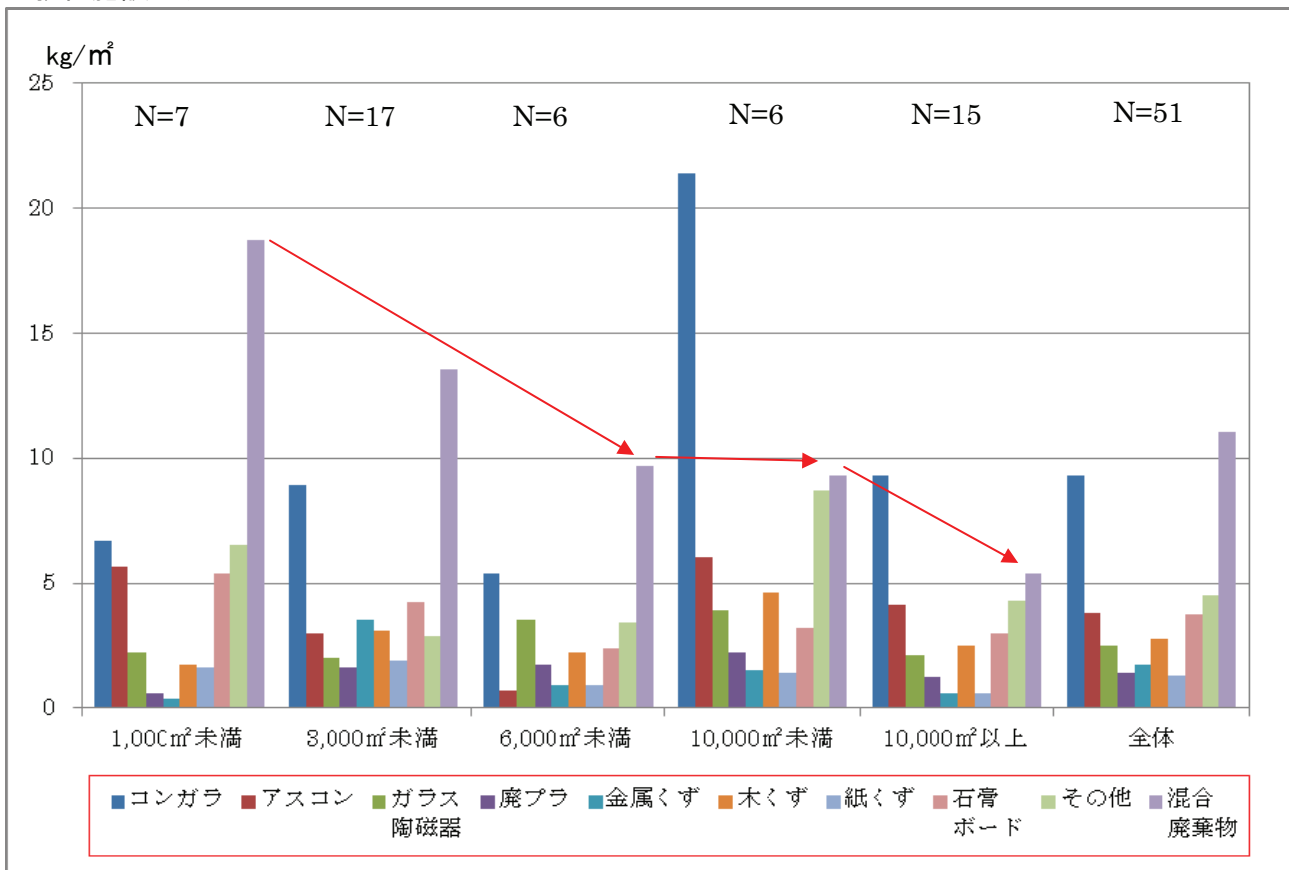
事務所:RC造



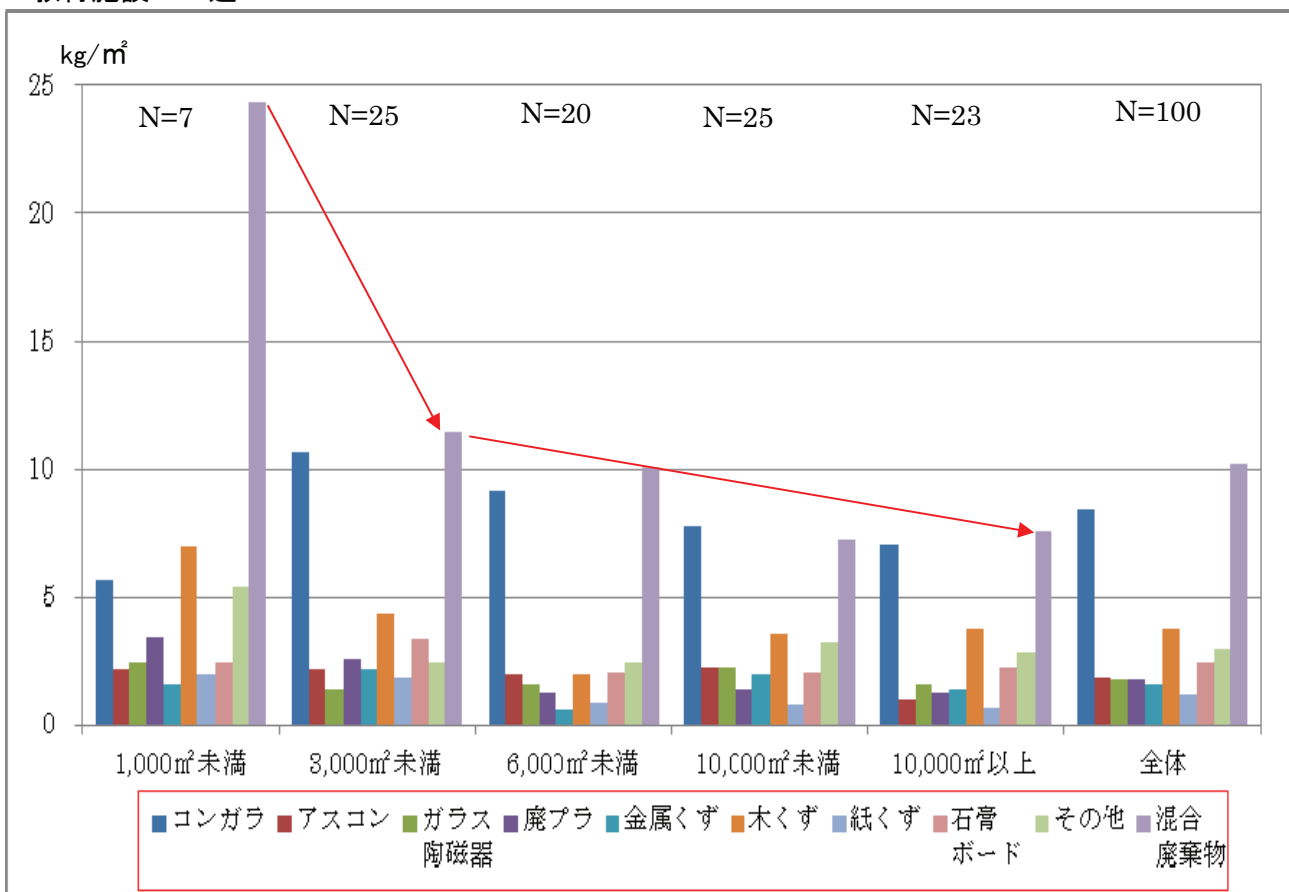
事務所:SRC造



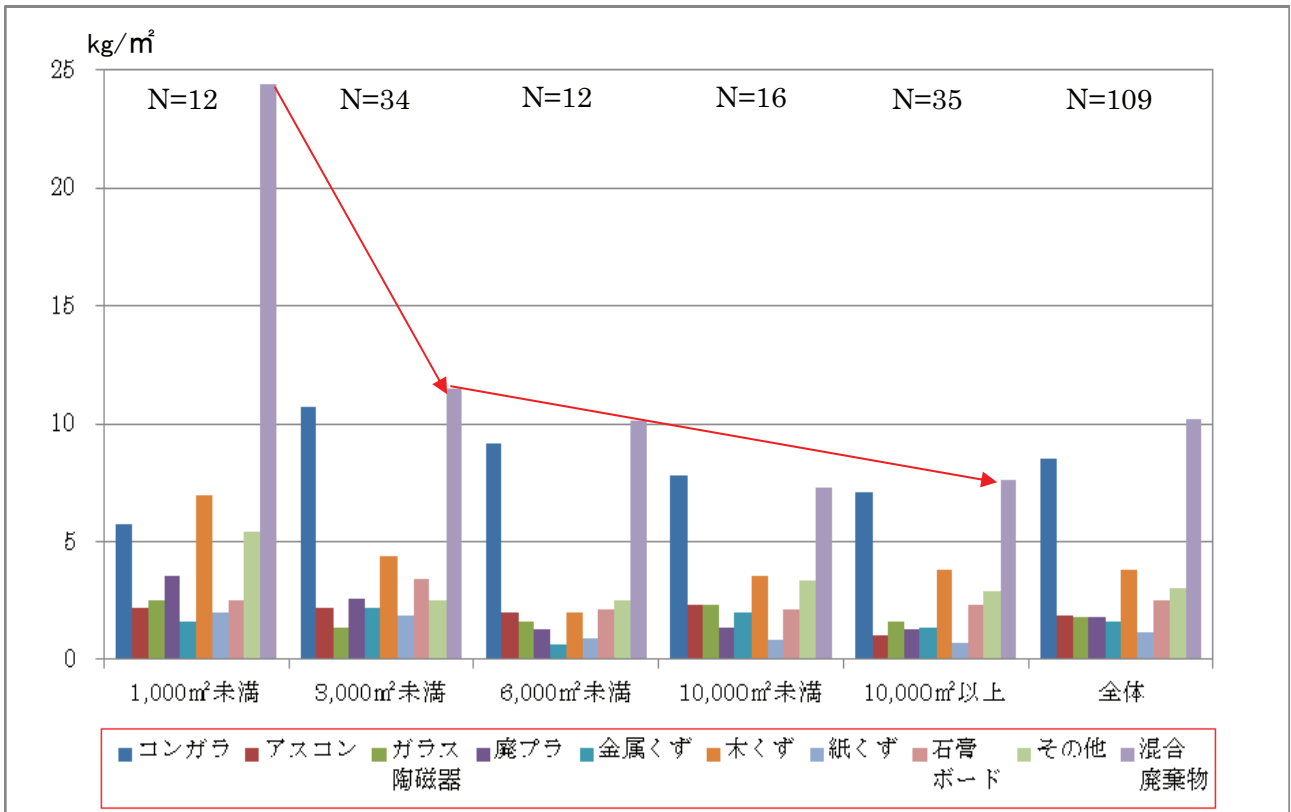
教育施設:S造



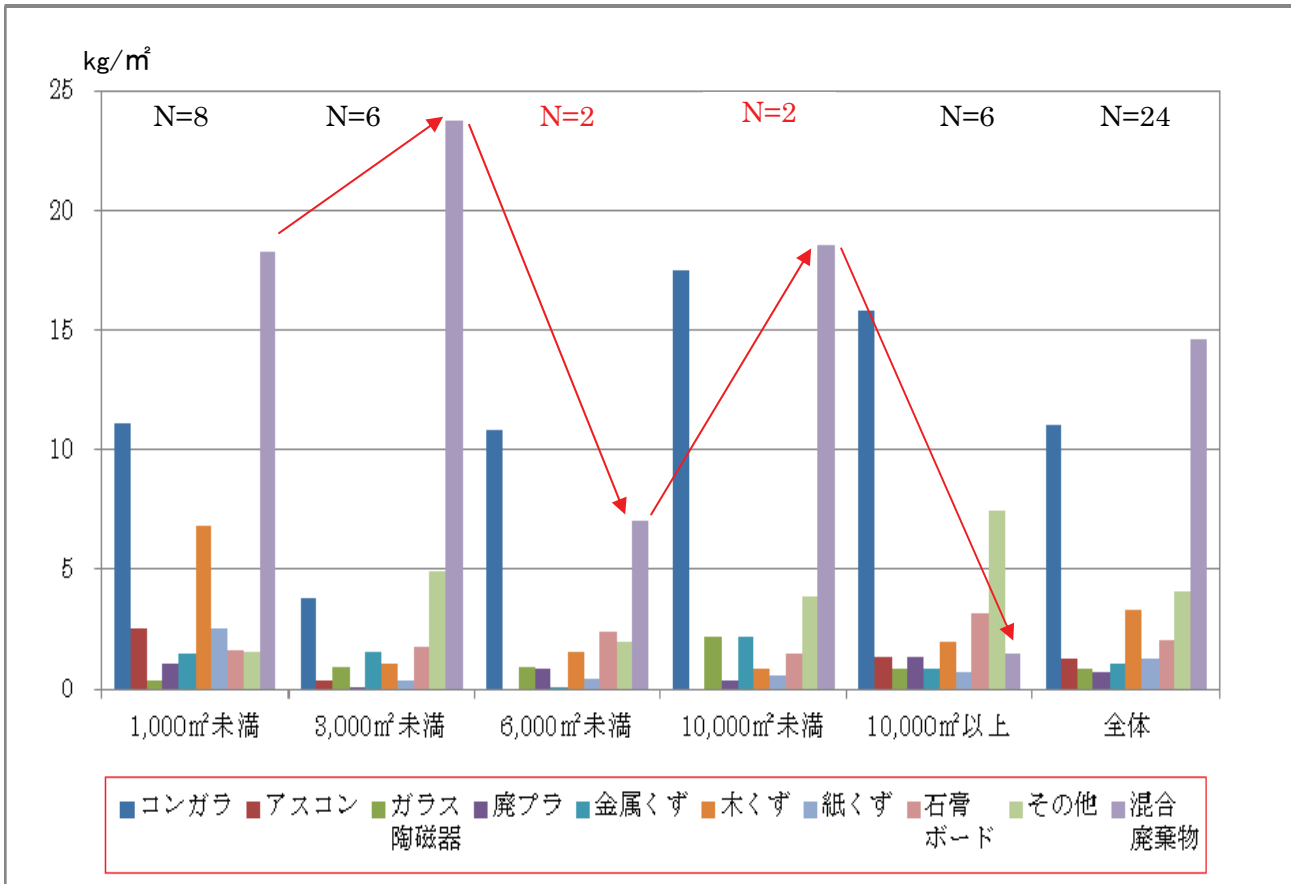
教育施設:RC造



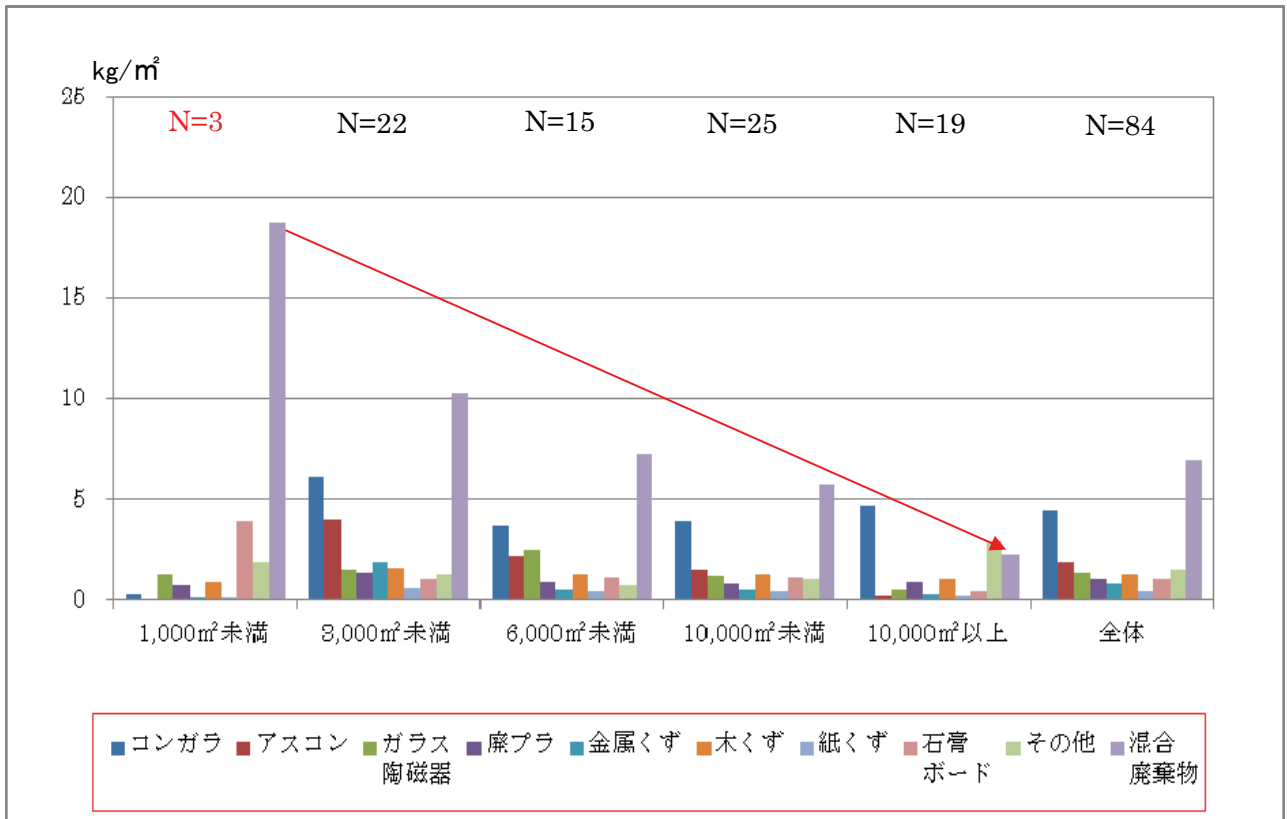
店舗:S造



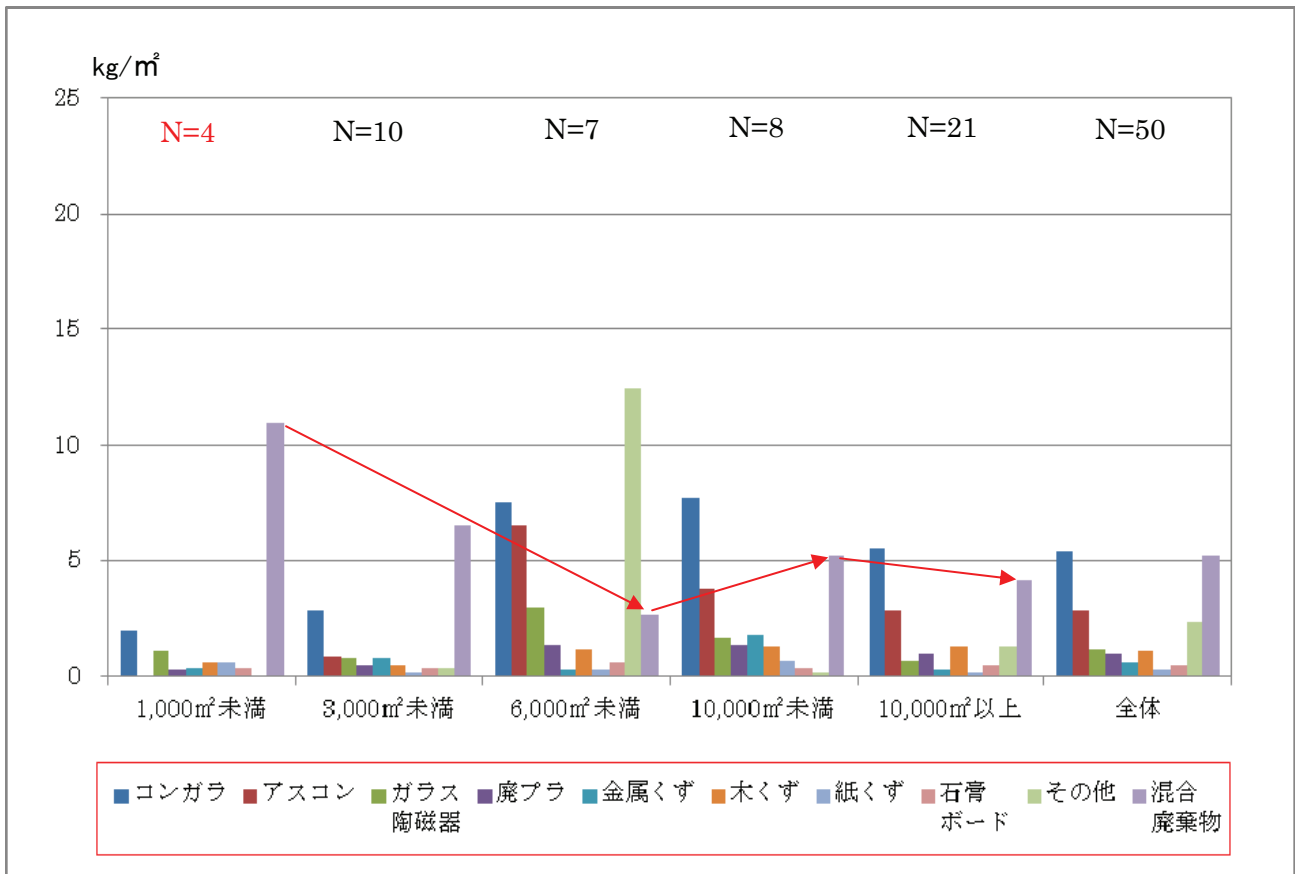
店舗:RC造



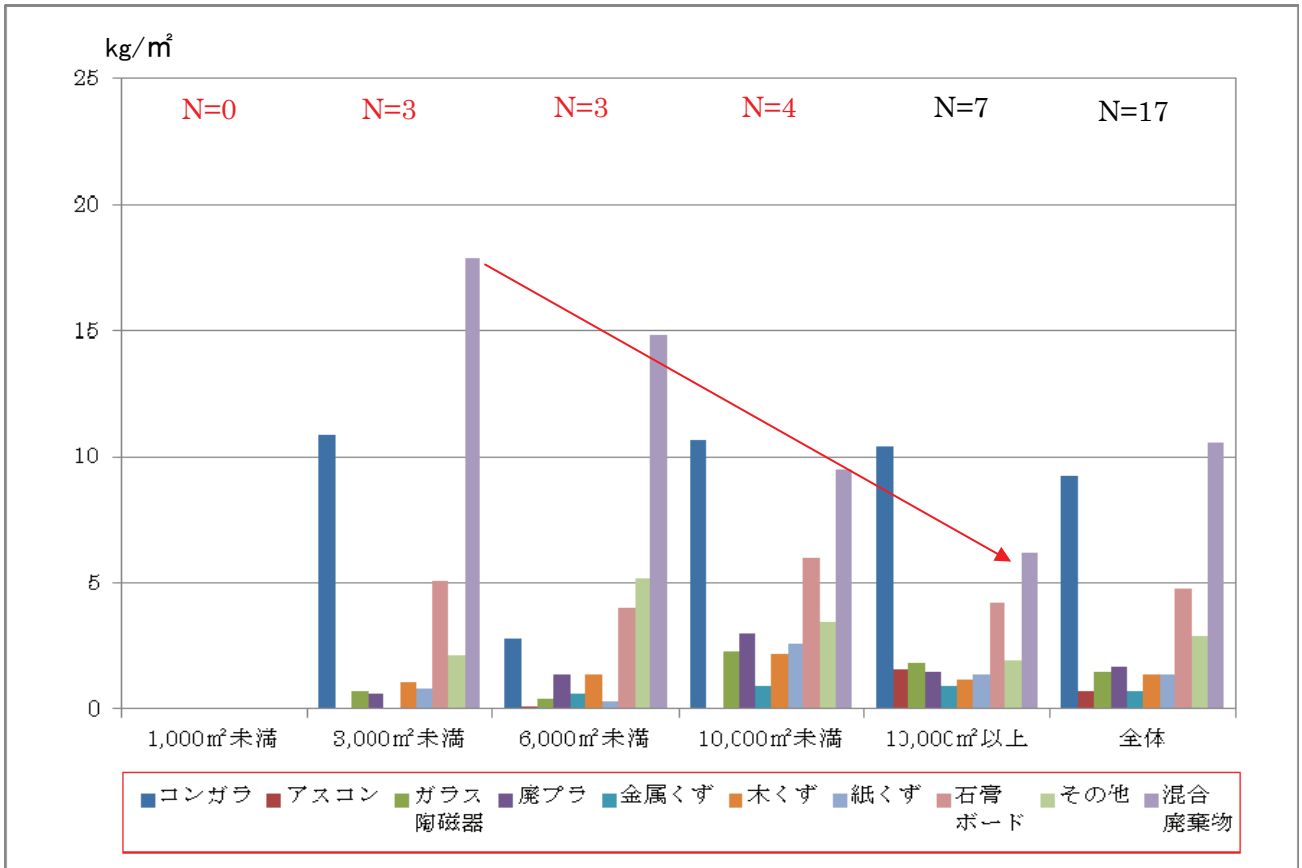
工場:S造



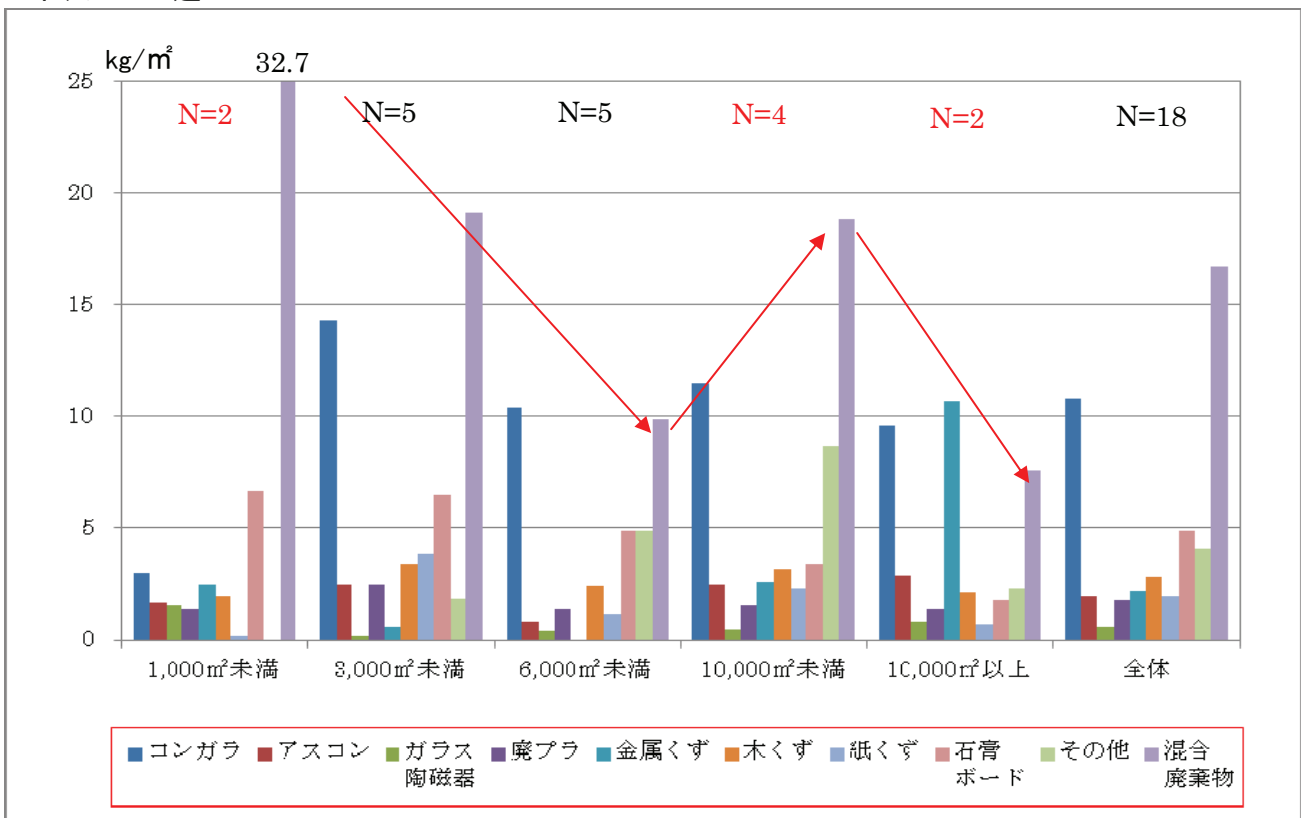
倉庫:S造



ホテル:S造

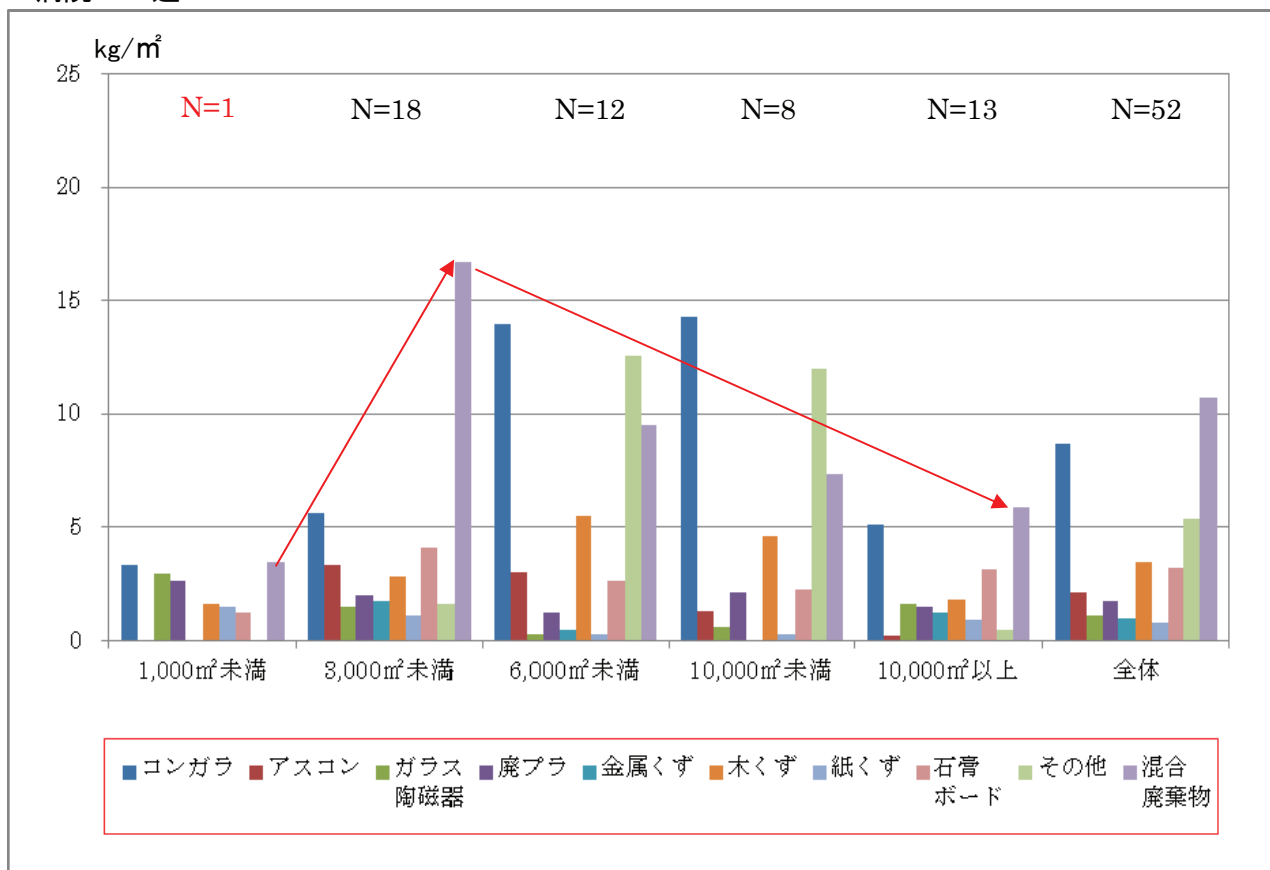


ホテル:RC造

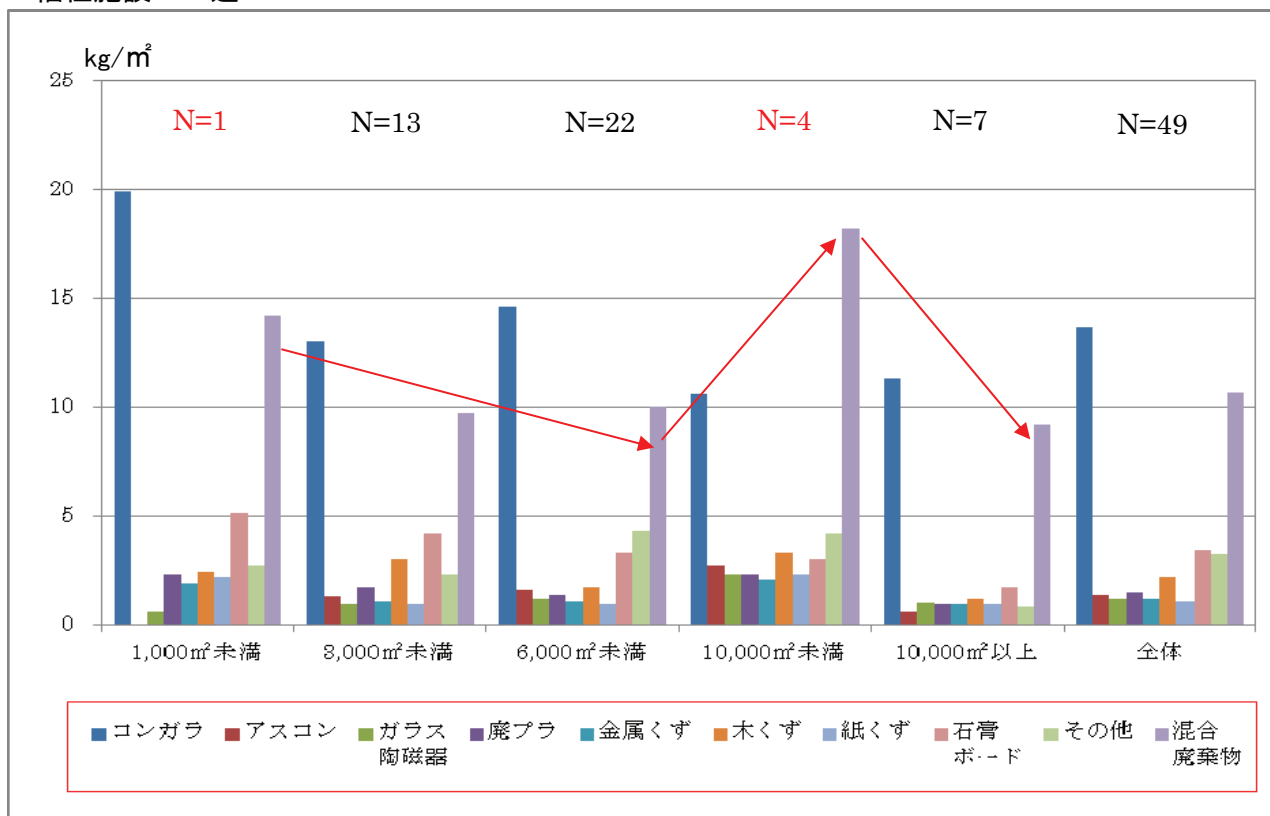




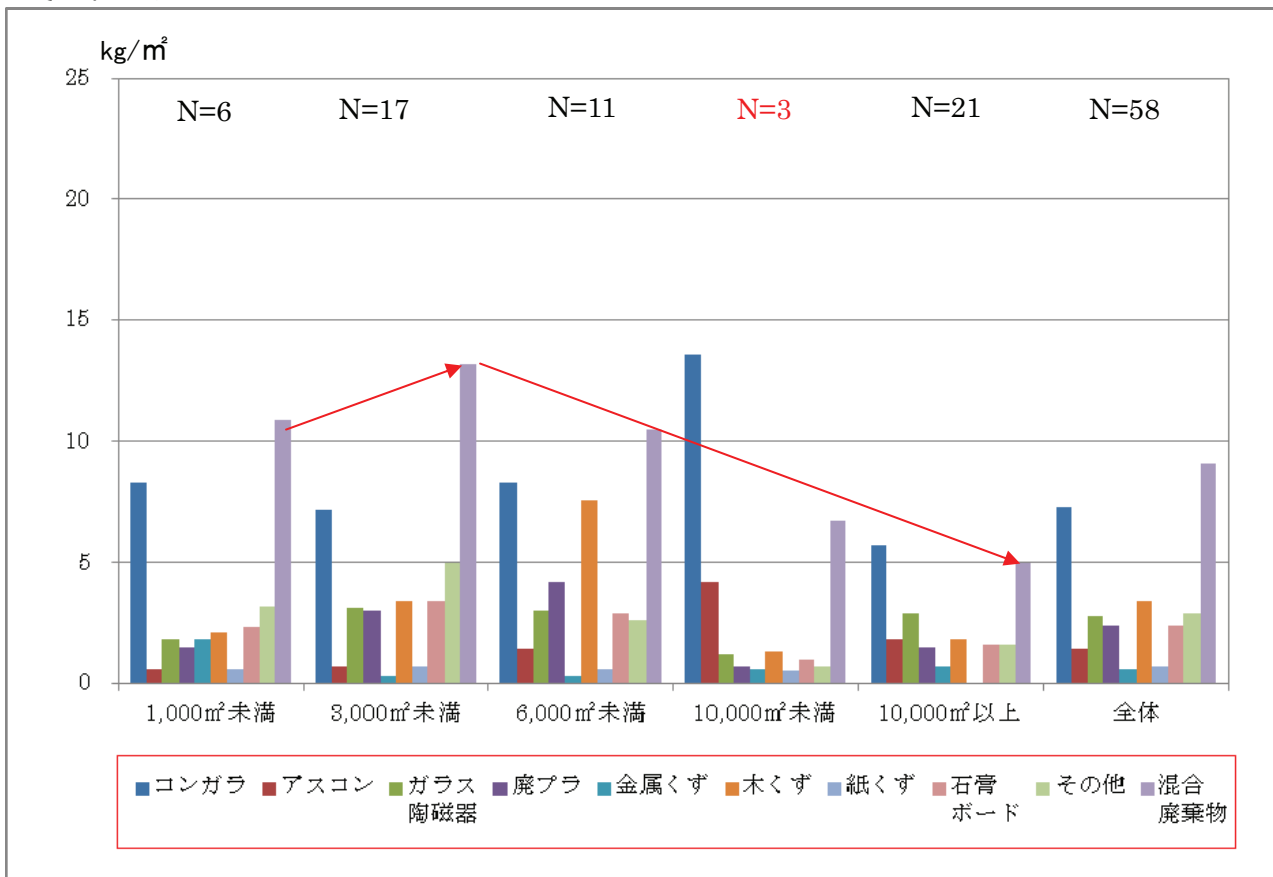
病院:RC造



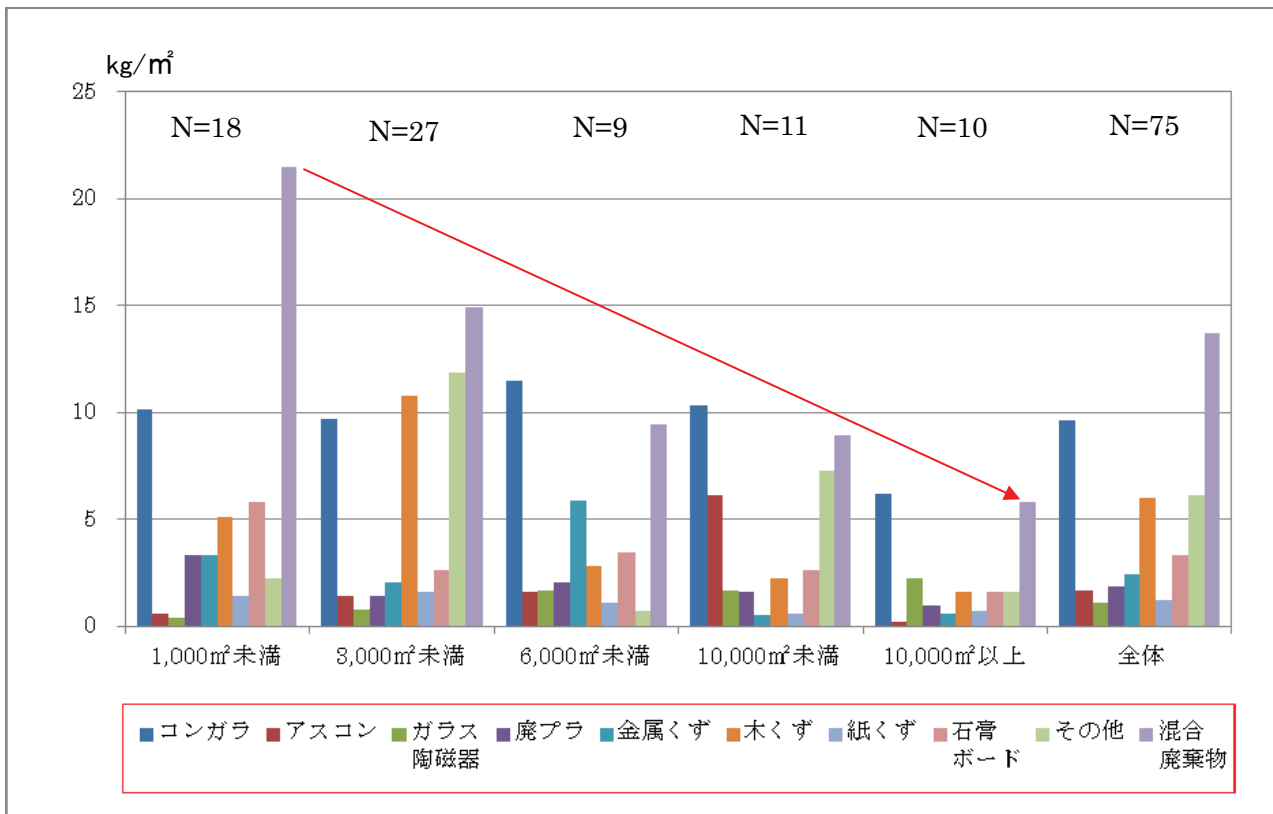
福祉施設:RC造



その他:S造

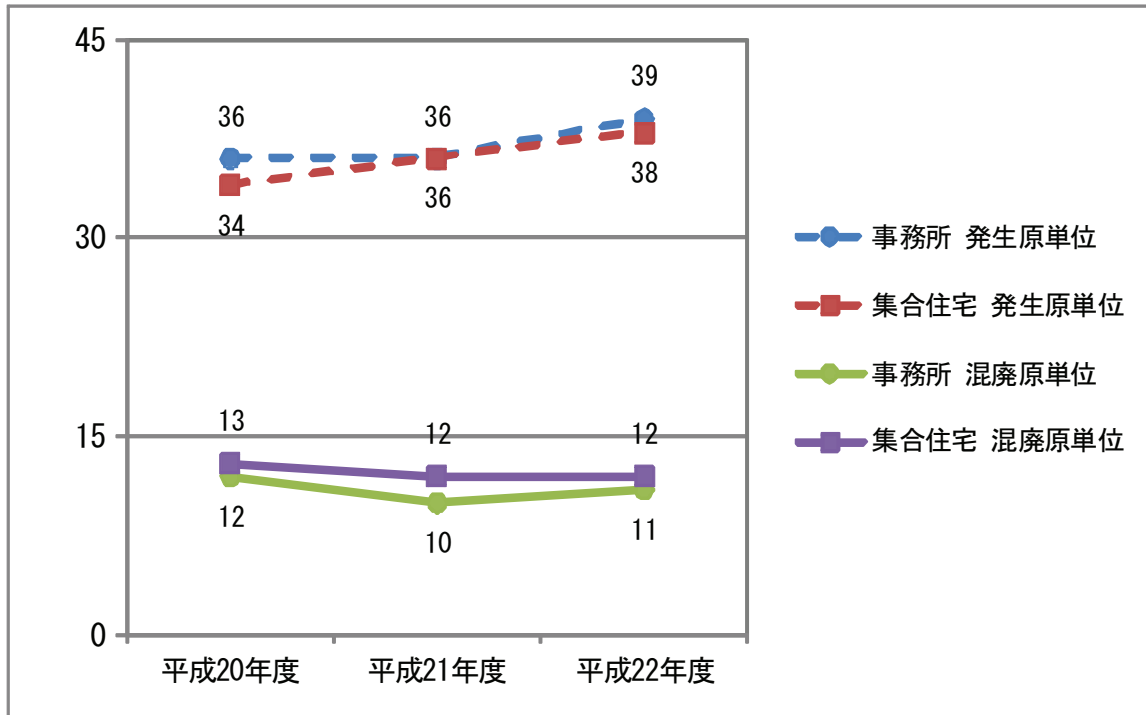


その他:RC造



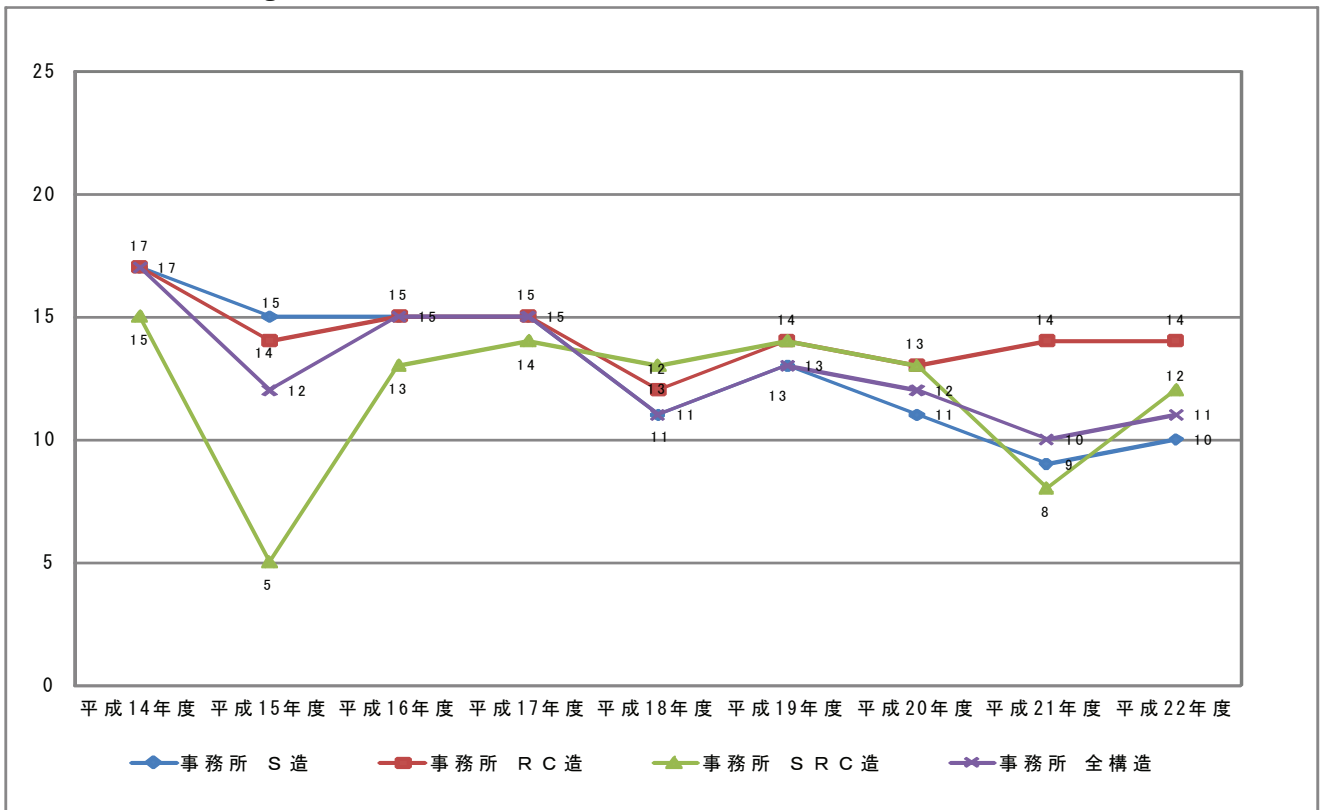
【参考資料 12】 事務所及び集合住宅の発生原単位・混廃原単位年度比較

(単位:kg/m<sup>2</sup>)

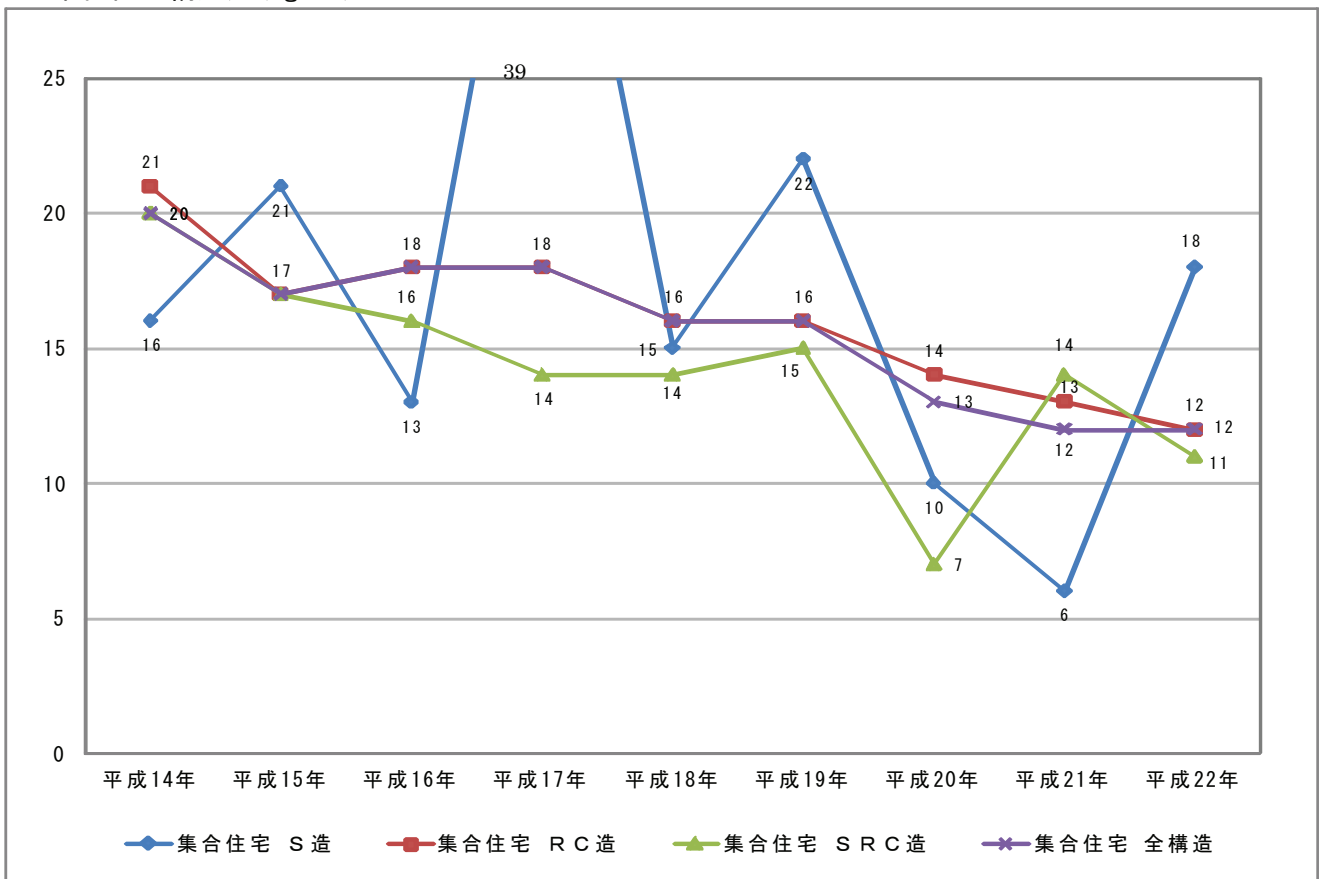


【参考資料 13】 混廃原単位の推移

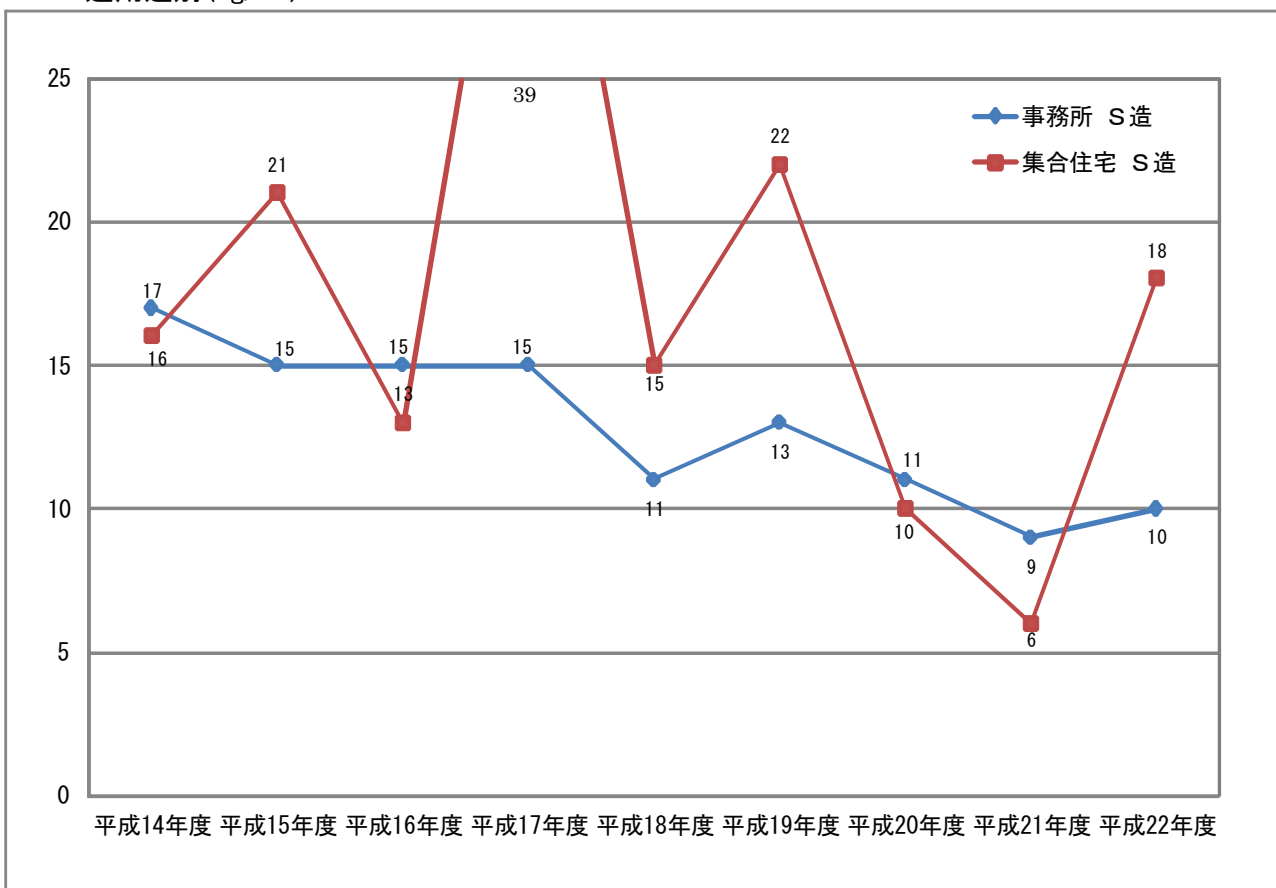
事務所構造別(kg/m<sup>2</sup>)



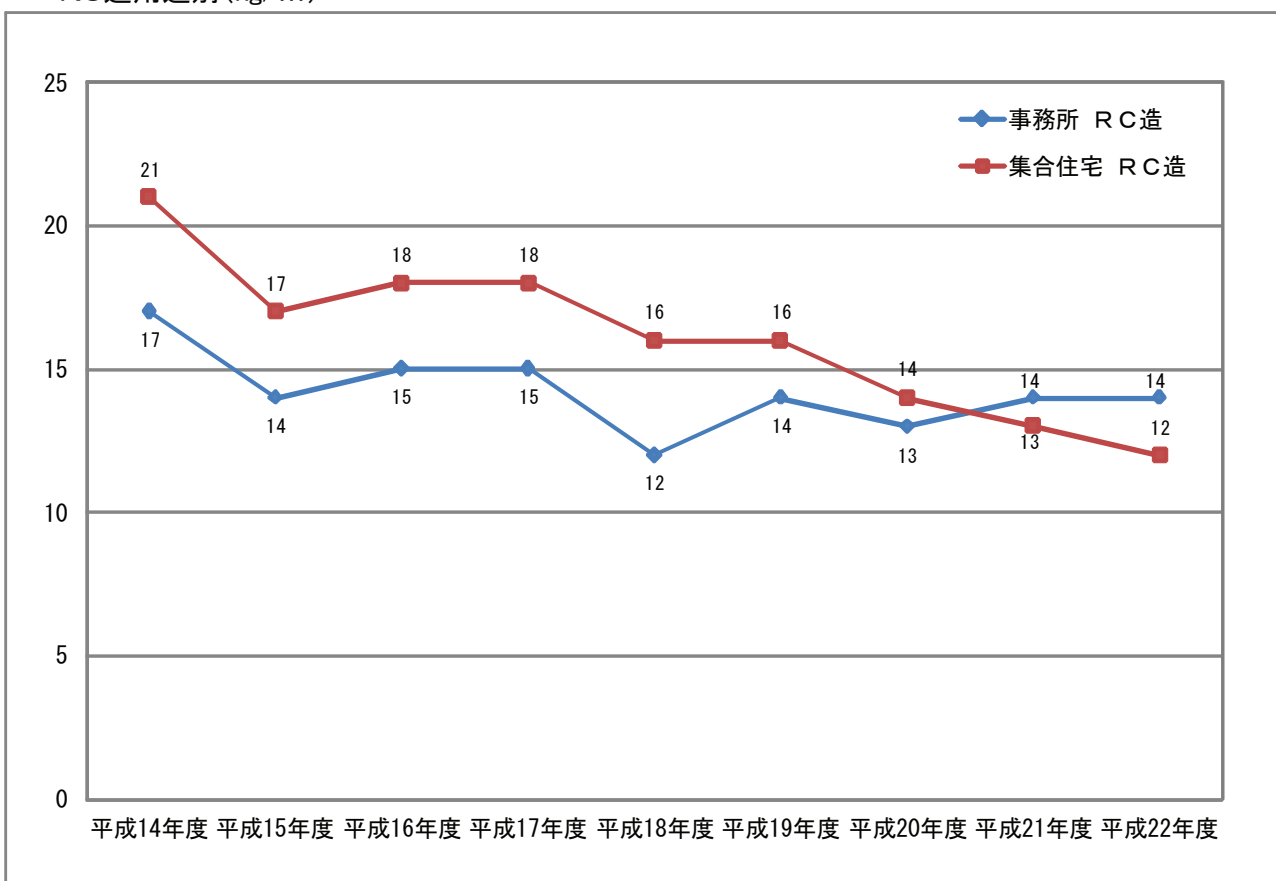
集合住宅構造別(kg/m<sup>2</sup>)



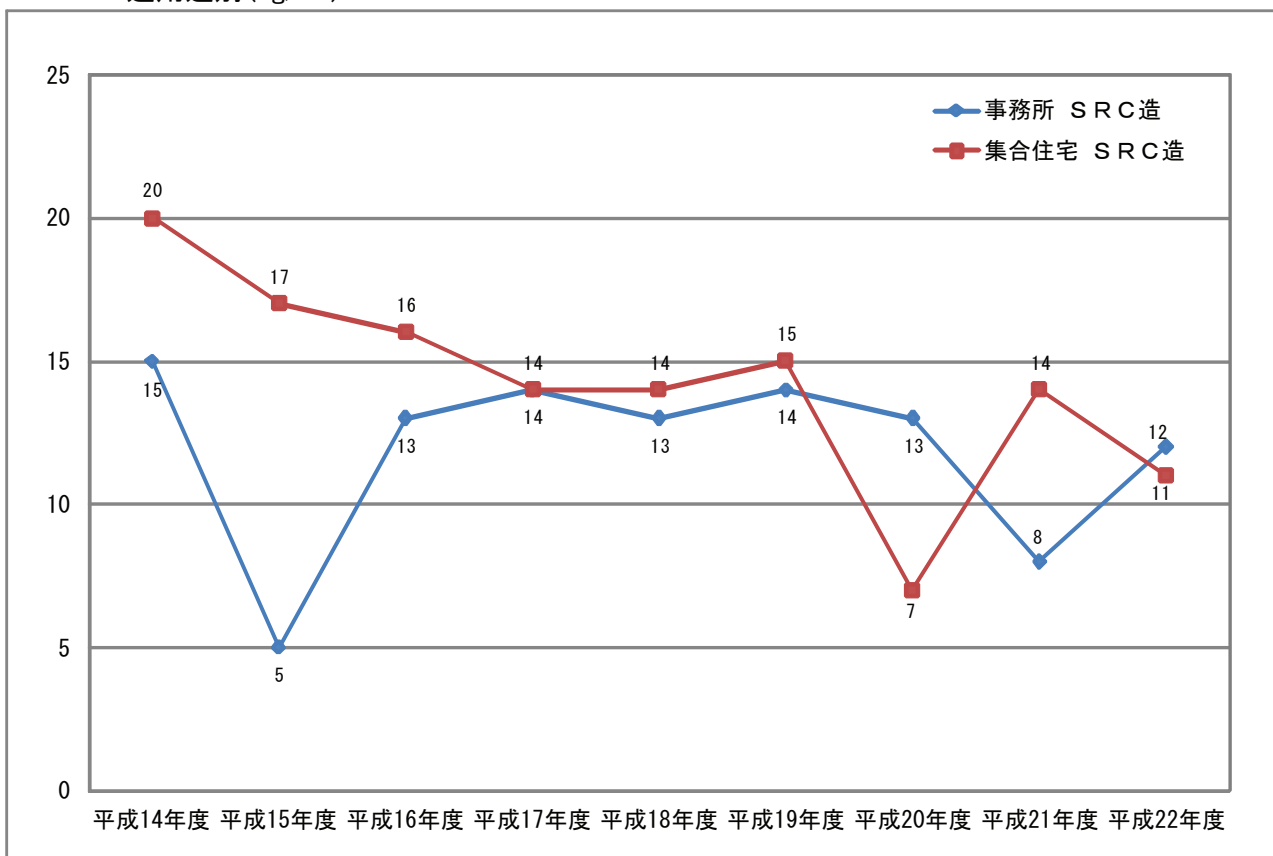
S造用途別(kg/m<sup>3</sup>)



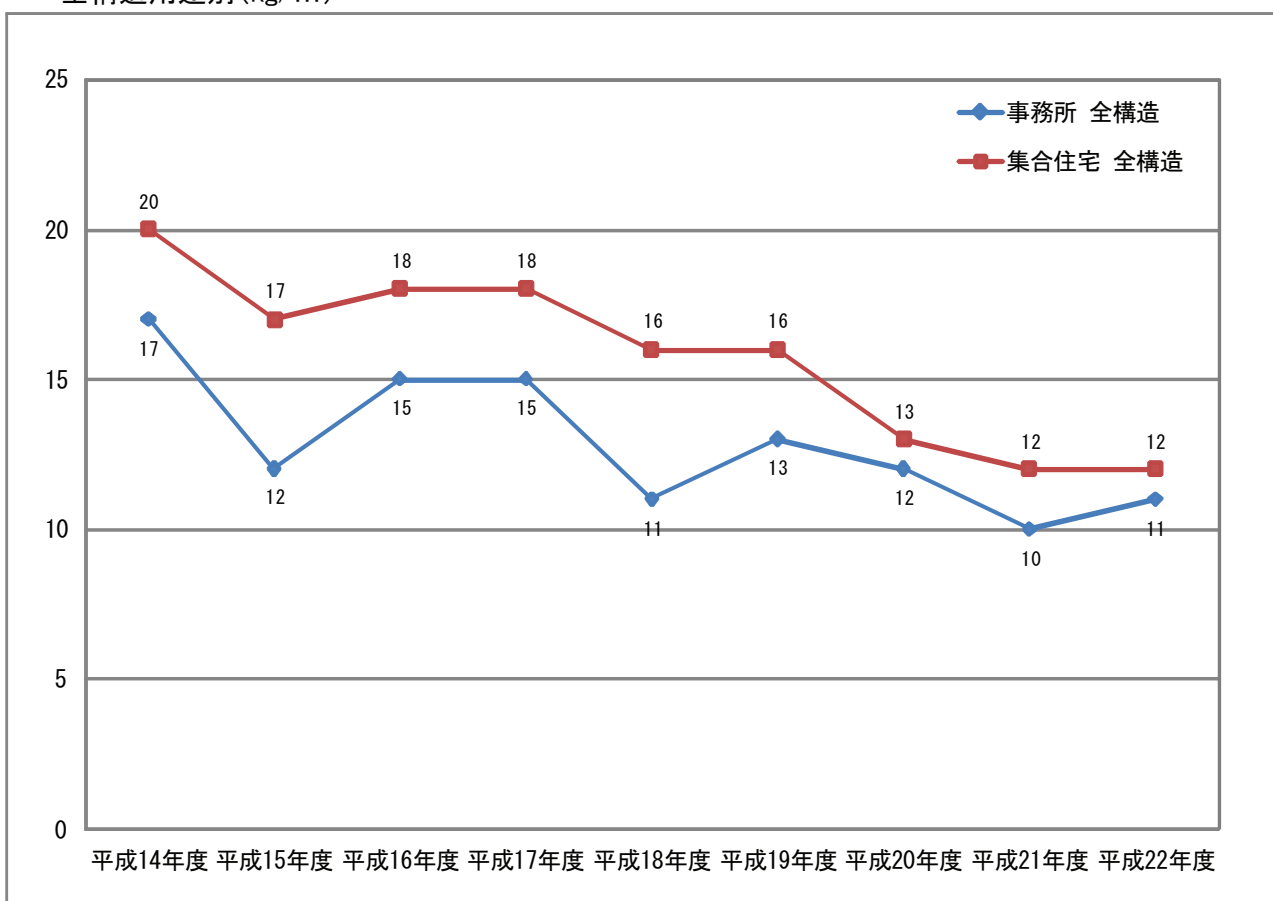
RC造用途別(kg/m<sup>3</sup>)



SRC造用途別(kg/m<sup>2</sup>)



全構造用途別(kg/m<sup>2</sup>)



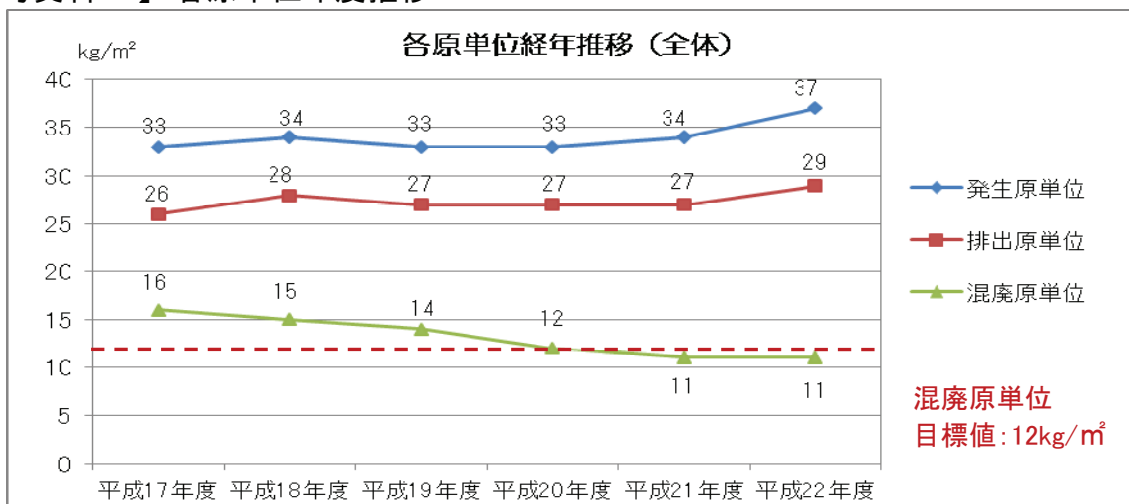
【参考資料 14】 発生原単位・排出原単位及び混合廃棄物原単位

(平成 20 年度～平成 22 年度通算)

発生原単位・排出原単位及び混合廃棄物原単位一覧表

構造	延床面積 (m <sup>2</sup> )	件数	発生原単位 (kg/m <sup>2</sup> )	総排出原単位 (kg/m <sup>2</sup> )	排出原単位 (kg/m <sup>2</sup> )	混廃原単位 (kg/m <sup>2</sup> )
S造	1,000m <sup>2</sup> 未満	62	38.4	37.9	35.4	16.0
	3,000m <sup>2</sup> 未満	155	35.2	34.3	28.3	12.1
	6,000m <sup>2</sup> 未満	91	33.9	33.2	28.0	9.7
	10,000m <sup>2</sup> 未満	94	29.9	28.7	22.5	7.1
	10,000m <sup>2</sup> 以上	187	26.0	24.8	18.9	4.8
	計	589	31.6	30.6	25.1	9.0
RC造	1,000m <sup>2</sup> 未満	82	45.6	44.5	41.0	21.3
	3,000m <sup>2</sup> 未満	271	41.6	40.7	35.9	15.9
	6,000m <sup>2</sup> 未満	248	39.8	38.0	32.4	13.4
	10,000m <sup>2</sup> 未満	149	36.3	34.2	27.8	10.7
	10,000m <sup>2</sup> 以上	330	29.6	27.2	19.5	6.7
	計	1,080	37.1	35.4	29.4	12.2
SRC造	1,000m <sup>2</sup> 未満	4	33.0	33.0	31.9	16.7
	3,000m <sup>2</sup> 未満	15	29.7	29.6	28.5	20.6
	6,000m <sup>2</sup> 未満	28	46.3	45.1	38.7	13.2
	10,000m <sup>2</sup> 未満	23	32.4	31.9	24.9	7.4
	10,000m <sup>2</sup> 以上	69	23.1	21.0	16.4	5.6
	計	139	30.3	28.9	24.0	9.4
全構造	1,000m <sup>2</sup> 未満	148	42.2	41.4	38.4	18.9
	3,000m <sup>2</sup> 未満	441	38.9	38.1	33.0	14.7
	6,000m <sup>2</sup> 未満	367	38.8	37.4	31.8	12.5
	10,000m <sup>2</sup> 未満	266	33.7	32.0	25.7	9.1
	10,000m <sup>2</sup> 以上	586	27.7	25.7	19.0	6.0
	計	1,808	34.8	33.3	27.6	11.0

【参考資料 15】 各原単位年度推移



【参考資料 16】用途別構造別規模別品目別一覧表(平成 20 年度～平成 22 年度通算)

※表の網掛け部分はサンプル数が5物件未満の場合

集合住宅

総件数	用途	構造	延床面積	件数	延床面積	発生量	発生原単位	コンガラ	アスコン	ガラス陶磁器	廃プラ	金属くず	木くず	紙くず	石膏ボード	その他	混合廃棄物
					m <sup>2</sup>	t	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>
692	集合住宅	S造	1,000m <sup>2</sup> 未満	3	1,867	93.2	48.8	0.9	0.0	0.0	1.9	4.4	3.2	3.3	10.3	1.7	23.2
			3,000m <sup>2</sup> 未満	3	6,192	96.3	15.2	1.5	0.9	0.0	0.3	0.0	0.2	0.5	0.2	1.2	10.4
			6,000m <sup>2</sup> 未満	3	13,054	202.9	15.1	0.7	0.0	0.6	1.1	0.3	0.7	1.8	2.1	0.2	7.4
			10,000m <sup>2</sup> 未満	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			10,000m <sup>2</sup> 以上	4	271,599	7,652.6	25.7	4.3	0.7	2.4	1.8	3.1	2.4	0.7	1.8	5.6	3.0
			全体	13	292,712	8,045.0	26.2	2.0	0.4	0.9	1.3	2.0	1.7	1.5	3.5	2.4	10.4
		RC造	1,000m <sup>2</sup> 未満	30	20,436	765.5	38.2	4.4	0.4	0.3	0.9	1.3	2.6	1.0	2.6	2.0	22.7
			3,000m <sup>2</sup> 未満	142	296,955	11,521.8	39.6	7.2	1.8	0.6	1.3	1.1	2.9	2.0	3.4	2.1	17.2
			6,000m <sup>2</sup> 未満	158	680,476	27,739.3	40.7	7.9	1.7	0.6	1.7	1.7	3.8	1.9	3.2	2.9	15.4
			10,000m <sup>2</sup> 未満	83	633,107	21,909.3	34.8	7.1	1.2	0.6	2.0	1.5	4.5	2.0	2.4	2.0	11.6
			10,000m <sup>2</sup> 以上	231	7,309,018	222,537.6	31.5	7.2	0.8	0.7	2.0	1.9	4.6	1.7	2.5	2.8	7.2
			全体	644	8,939,992	284,473.5	36.3	7.2	1.3	0.6	1.7	1.6	3.9	1.8	2.9	2.5	12.7
		SRC造	1,000m <sup>2</sup> 未満	1	491	6.9	14.1	0.0	0.0	0.0	1.0	0.6	1.6	1.2	2.4	0.0	7.1
			3,000m <sup>2</sup> 未満	4	6,723	273.4	35.1	3.7	0.0	2.7	1.1	0.9	1.5	0.9	1.9	0.4	22.1
			6,000m <sup>2</sup> 未満	8	34,359	1,358.2	39.1	8.7	0.0	0.1	1.9	4.3	3.5	1.2	1.9	4.5	12.5
			10,000m <sup>2</sup> 未満	4	32,572	784.1	24.7	2.9	0.0	0.8	1.3	1.0	2.0	1.4	2.0	1.3	11.9
			10,000m <sup>2</sup> 以上	18	809,311	21,553.9	27.1	3.8	2.7	0.7	1.6	2.1	3.3	1.5	2.1	2.7	6.5
			全体	35	883,456	23,976.5	30.1	4.7	1.4	0.8	1.6	2.4	3.0	1.4	2.0	2.6	10.3
		全構造	1,000m <sup>2</sup> 未満	34	22,794	865.5	38.4	4.0	0.3	0.3	0.9	1.5	2.6	1.2	3.3	1.9	22.3
			3,000m <sup>2</sup> 未満	149	309,870	11,891.4	39.0	7.0	1.7	0.6	1.2	1.1	2.8	1.9	3.3	2.1	17.2
			6,000m <sup>2</sup> 未満	169	727,889	29,300.4	40.1	7.8	1.6	0.5	1.7	1.8	3.8	1.9	3.1	2.9	15.1
			10,000m <sup>2</sup> 未満	87	658,536	22,693.4	34.4	6.9	1.1	0.6	2.0	1.5	4.4	2.0	2.4	2.0	11.6
			10,000m <sup>2</sup> 以上	253	8,360,375	251,744.1	31.1	6.9	1.0	0.8	1.9	2.0	4.5	1.7	2.4	2.8	7.1
			全体	692	10,079,464	316,494.8	35.8	7.0	1.3	0.6	1.7	1.7	3.8	1.8	2.8	2.5	12.5

事務所

総件数	用途	構造	延床面積	件数	延床面積	発生量	発生原単位	コンガラ	アスコン	ガラス陶磁器	廃プラ	金属くず	木くず	紙くず	石膏ボード	その他	混合廃棄物
					m <sup>2</sup>	t	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>
309	事務所	S造	1,000m <sup>2</sup> 未満	25	17,624	752.1	41.6	6.7	1.0	1.2	1.4	1.9	2.5	1.9	3.9	4.0	16.9
			3,000m <sup>2</sup> 未満	44	89,366	3,255.1	36.0	8.9	0.7	1.5	1.2	1.5	2.1	1.6	3.4	3.0	12.1
			6,000m <sup>2</sup> 未満	32	133,827	5,401.5	39.2	10.4	2.8	2.6	1.3	0.8	2.2	1.5	3.4	3.2	10.9
			10,000m <sup>2</sup> 未満	31	240,677	8,561.8	35.5	9.7	1.3	2.2	1.8	2.0	3.0	2.0	1.7	4.3	7.5
			10,000m <sup>2</sup> 以上	65	2,230,509	82,024.5	31.2	9.1	1.6	2.2	1.7	1.8	2.1	1.0	1.8	3.9	6.1
			全体	197	2,712,003	99,995.0	35.6	9.0	1.5	2.0	1.5	1.6	2.3	1.5	2.7	3.7	9.8
		RC造	1,000m <sup>2</sup> 未満	11	6,670	278.9	45.6	8.4	0.3	1.1	1.2	3.1	3.9	3.8	3.2	0.4	20.3
			3,000m <sup>2</sup> 未満	29	49,844	1,851.8	39.8	8.1	0.4	1.2	2.3	1.3	4.4	2.5	2.0	1.2	16.5
			6,000m <sup>2</sup> 未満	18	80,613	3,095.4	37.6	9.0	4.4	0.6	1.1	2.3	2.6	1.2	1.7	2.8	11.8
			10,000m <sup>2</sup> 未満	10	75,171	2,376.5	31.1	7.7	2.7	0.8	1.4	1.4	1.8	1.3	2.8	1.7	9.7
			10,000m <sup>2</sup> 以上	10	279,453	6,756.9	43.1	16.1	13.0	1.2	0.8	0.0	1.4	0.2	1.1	2.9	6.3
			全体	78	491,751	14,359.5	39.4	9.3	3.2	1.0	1.6	1.6	3.2	1.9	2.1	1.8	13.8
		SRC造	1,000m <sup>2</sup> 未満	3	2,336	83.8	39.3	3.9	0.0	3.5	0.8	0.5	1.7	0.8	3.9	4.4	19.9
			3,000m <sup>2</sup> 未満	8	11,401	319.1	26.3	1.8	0.1	0.3	0.3	0.3	0.7	1.1	1.2	0.2	20.4
			6,000m <sup>2</sup> 未満	7	23,389	1,560.6	60.5	15.2	0.3	1.0	1.9	2.2	3.4	1.1	4.4	20.6	10.3
			10,000m <sup>2</sup> 未満	4	31,963	1,301.2	38.4	8.0	2.8	0.5	2.1	0.0	4.4	0.0	3.1	15.6	1.9
			10,000m <sup>2</sup> 以上	12	280,912	9,269.1	32.1	8.7	1.8	1.1	1.3	2.7	2.2	0.6	2.2	6.1	5.4
			全体	34	350,001	12,533.8	38.0	7.9	1.1	1.0	1.2	1.5	2.3	0.8	2.7	8.7	10.8
		全構造	1,000m <sup>2</sup> 未満	39	26,630	1,114.8	42.5	7.0	0.8	1.3	1.3	2.1	2.9	2.4	3.7	3.0	18.1
			3,000m <sup>2</sup> 未満	81	150,610	5,426.0	36.4	7.9	0.5	1.3	1.5	1.3	2.8	1.9	2.7	2.1	14.5
			6,000m <sup>2</sup> 未満	57	237,829	10,057.5	41.3	10.5	3.0	1.8	1.3	1.4	2.5	1.4	3.0	5.2	11.1
			10,000m <sup>2</sup> 未満	45	347,811	12,239.4	34.8	9.1	1.8	1.8	1.7	1.7	2.8	1.6	2.1	4.7	7.5
			10,000m <sup>2</sup> 以上	87	2,790,874	98,050.5	32.7	9.8	2.9	1.9	1.5	1.8	2.0	0.8	1.8	4.1	6.0
			全体	309	3,553,754	126,888.2	36.8	9.0	1.9	1.6	1.5	1.6	2.5	1.5	2.5	3.7	10.9



教育施設

総件数	用途	構造	延床面積	件数	延床面積	発生量	発生原単位	コンガラ	アスコン	ガラス陶磁器	廃プラ	金属くず	木くず	紙くず	石膏ボード	その他	混合廃棄物
					m <sup>2</sup>	t	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>
171	教育施設	S造	1,000m <sup>2</sup> 未満	7	4,361	201.4	49.5	6.7	5.7	2.2	0.6	0.4	1.7	1.6	5.4	6.5	18.7
			3,000m <sup>2</sup> 未満	17	31,901	1,437.1	44.7	8.9	3.0	2.0	1.6	3.5	3.1	1.9	4.2	2.9	13.5
			6,000m <sup>2</sup> 未満	6	26,639	819.1	30.9	5.4	0.7	3.5	1.7	0.9	2.2	0.9	2.4	3.4	9.7
			10,000m <sup>2</sup> 未満	6	47,706	2,858.2	62.9	21.4	6.0	3.9	2.2	1.5	4.6	1.4	3.2	8.7	9.3
			10,000m <sup>2</sup> 以上	15	312,593	9,315.2	33.1	9.3	4.1	2.1	1.2	0.6	2.5	0.6	3.0	4.3	5.4
			全体	51	423,200	14,631.0	42.5	9.3	3.8	2.5	1.4	1.7	2.8	1.3	3.7	4.5	11.0
		RC造	1,000m <sup>2</sup> 未満	7	4,616	261.0	57.0	5.7	2.2	2.5	3.5	1.6	7.0	2.0	2.5	5.4	24.4
			3,000m <sup>2</sup> 未満	25	51,485	2,213.1	42.6	10.7	2.2	1.4	2.6	2.2	4.4	1.9	3.4	2.5	11.5
			6,000m <sup>2</sup> 未満	20	81,893	2,745.0	32.3	9.2	2.0	1.6	1.3	0.6	2.0	0.9	2.1	2.5	10.1
			10,000m <sup>2</sup> 未満	25	196,933	6,152.5	32.9	7.8	2.3	2.3	1.4	2.0	3.6	0.8	2.1	3.3	7.3
			10,000m <sup>2</sup> 以上	23	413,864	12,590.5	29.8	7.1	1.0	1.6	1.3	1.4	3.8	0.7	2.3	2.9	7.6
			全体	100	748,791	23,962.1	36.1	8.5	1.9	1.8	1.8	1.6	3.8	1.2	2.5	3.0	10.2
		SRC造	1,000m <sup>2</sup> 未満	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			3,000m <sup>2</sup> 未満	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			6,000m <sup>2</sup> 未満	5	22,324	1,093.8	48.3	14.0	2.8	5.6	2.3	2.2	3.2	0.7	2.7	3.6	11.3
			10,000m <sup>2</sup> 未満	5	43,154	1,103.3	26.4	9.1	0.1	1.0	1.2	0.9	1.6	1.2	2.2	2.4	6.7
			10,000m <sup>2</sup> 以上	10	250,658	5,705.1	25.0	7.1	0.4	1.4	0.9	1.5	2.6	0.6	1.5	2.9	6.1
			全体	20	316,136	7,902.2	31.2	9.4	0.9	2.3	1.3	1.5	2.5	0.8	2.0	2.9	7.6
		全構造	1,000m <sup>2</sup> 未満	14	8,977	462.4	53.3	6.2	4.0	2.4	2.1	1.0	4.3	1.8	3.9	5.9	21.6
			3,000m <sup>2</sup> 未満	42	83,386	3,650.1	43.4	10.0	2.5	1.7	2.2	2.7	3.9	1.9	3.7	2.6	12.3
			6,000m <sup>2</sup> 未満	31	130,856	4,657.9	34.6	9.2	1.9	2.6	1.5	0.9	2.2	0.9	2.3	2.9	10.2
			10,000m <sup>2</sup> 未満	36	287,793	10,114.0	37.0	10.2	2.6	2.4	1.5	1.8	3.5	1.0	2.3	4.1	7.6
			10,000m <sup>2</sup> 以上	48	977,115	27,610.7	29.8	7.8	1.8	1.7	1.2	1.2	3.1	0.7	2.3	3.3	6.6
		全体	171	1,488,127	46,495.1	37.5	9.0	2.4	2.1	1.6	1.6	3.3	1.2	2.8	3.5	10.1	

店舗

総件数	用途	構造	延床面積	件数	延床面積	発生量	発生原単位	コンガラ	アスコン	ガラス陶磁器	廃プラ	金属くず	木くず	紙くず	石膏ボード	その他	混合廃棄物
					m <sup>2</sup>	t	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>
141	店舗	S造	1,000m <sup>2</sup> 未満	12	7,301	207.8	31.8	5.0	1.5	2.4	0.5	1.6	1.1	1.0	0.8	4.9	13.2
			3,000m <sup>2</sup> 未満	34	62,451	2,411.4	38.9	9.9	1.2	2.5	1.6	1.2	2.5	1.4	2.8	2.3	13.6
			6,000m <sup>2</sup> 未満	12	48,832	1,767.8	36.8	10.8	0.4	1.2	1.9	2.0	1.4	1.7	0.9	2.3	12.2
			10,000m <sup>2</sup> 未満	16	140,100	3,628.0	27.1	4.6	3.2	2.0	1.1	1.4	1.6	0.5	1.5	2.9	8.3
			10,000m <sup>2</sup> 以上	35	1,111,024	28,744.0	25.3	6.0	5.0	2.6	0.9	1.4	1.2	0.6	1.5	2.6	4.0
			全体	109	1,369,708	36,759.0	31.9	7.4	2.7	2.3	1.2	1.4	1.7	1.0	1.8	2.8	9.5
		RC造	1,000m <sup>2</sup> 未満	8	4,563	222.7	47.7	11.1	2.6	0.4	1.1	1.5	6.9	2.6	1.7	1.6	18.3
			3,000m <sup>2</sup> 未満	6	9,741	447.2	39.0	3.8	0.4	1.0	0.1	1.6	1.1	0.4	1.8	4.9	23.8
			6,000m <sup>2</sup> 未満	2	8,326	206.8	26.4	10.8	0.0	1.0	0.9	0.1	1.6	0.5	2.4	2.0	7.1
			10,000m <sup>2</sup> 未満	2	13,859	663.5	47.8	17.5	0.0	2.2	0.4	2.2	0.9	0.6	1.5	3.9	18.6
			10,000m <sup>2</sup> 以上	6	450,817	7,047.4	34.6	15.8	1.4	0.9	1.4	0.9	2.0	0.8	3.2	7.5	1.5
			全体	24	487,306	8,587.6	40.5	11.0	1.3	0.9	0.8	1.1	3.3	1.3	2.1	4.1	14.6
		SRC造	1,000m <sup>2</sup> 未満	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			3,000m <sup>2</sup> 未満	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			6,000m <sup>2</sup> 未満	2	7,684	405.1	52.8	17.7	0.0	0.4	1.2	0.0	1.0	1.5	2.4	0.8	27.8
			10,000m <sup>2</sup> 未満	1	7,952	155.5	19.6	8.0	0.0	0.1	0.6	0.0	1.3	0.8	0.8	0.0	8.1
			10,000m <sup>2</sup> 以上	5	394,010	5,951.4	19.9	4.5	0.4	2.1	1.0	3.0	1.0	0.7	1.6	3.4	2.1
			全体	8	409,646	6,512.0	28.1	8.2	0.3	1.4	1.0	1.9	1.0	0.9	1.7	2.3	9.3
		全構造	1,000m <sup>2</sup> 未満	20	11,864	430.5	38.2	7.4	1.9	1.6	0.7	1.6	3.4	1.6	1.1	3.5	15.2
			3,000m <sup>2</sup> 未満	40	72,192	2,858.6	38.9	9.0	1.1	2.3	1.3	1.3	2.3	1.2	2.7	2.7	15.1
			6,000m <sup>2</sup> 未満	16	64,842	2,379.7	37.5	11.7	0.3	1.1	1.7	1.5	1.3	1.5	1.3	2.1	13.5
			10,000m <sup>2</sup> 未満	19	161,911	4,447.0	28.9	6.1	2.7	1.9	1.0	1.4	1.5	0.6	1.4	2.9	9.4
			10,000m <sup>2</sup> 以上	46	1,955,850	41,742.6	26.3	7.1	4.0	2.3	1.0	1.4	1.3	0.6	1.7	3.3	3.4
		全体	141	2,266,659	51,858.4	33.2	8.1	2.3	2.0	1.1	1.4	1.9	1.0	1.8	3.0	10.4	

## 工場

総件数	用途	構造	延床面積	件数	延床面積	発生量	発生原単位	コンガラ	アスコン	ガラス陶磁器	廃プラ	金属くず	木くず	紙くず	石膏ボード	その他	混合廃棄物	
					m <sup>2</sup>	t	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>
104	工場	S造	1,000m <sup>2</sup> 未満	3	2,545	66.5	27.8	0.3	0.0	1.3	0.7	0.1	0.9	0.1	3.9	1.9	18.7	
			3,000m <sup>2</sup> 未満	22	39,969	1,123.3	29.9	6.1	4.0	1.5	1.4	1.9	1.6	0.6	1.0	1.3	10.3	
			6,000m <sup>2</sup> 未満	15	62,955	1,221.2	20.6	3.7	2.2	2.5	0.9	0.5	1.3	0.4	1.1	0.7	7.3	
			10,000m <sup>2</sup> 未満	25	192,912	3,209.1	17.4	3.9	1.5	1.2	0.8	0.5	1.3	0.4	1.1	1.0	5.7	
			10,000m <sup>2</sup> 以上	19	699,399	9,185.2	13.5	4.7	0.2	0.5	0.9	0.3	1.0	0.2	0.4	2.9	2.3	
			全体	84	997,780	14,805.3	20.7	4.5	1.9	1.4	1.0	0.8	1.3	0.4	1.0	1.5	6.9	
		RC造	1,000m <sup>2</sup> 未満	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			3,000m <sup>2</sup> 未満	4	8,247	132.3	16.4	1.7	0.3	3.0	0.5	0.3	1.0	0.1	2.8	0.8	6.1	
			6,000m <sup>2</sup> 未満	1	4,989	60.3	12.1	2.3	0.0	1.1	0.5	1.3	1.2	0.5	0.0	0.0	5.1	
			10,000m <sup>2</sup> 未満	2	14,823	306.3	20.6	5.7	0.0	1.1	1.2	0.1	1.9	1.4	3.0	0.7	5.4	
			10,000m <sup>2</sup> 以上	8	236,777	2,831.6	16.0	4.7	1.1	1.0	0.9	0.3	2.1	0.2	0.5	3.4	1.8	
			全体	15	264,836	3,330.5	16.5	3.9	0.7	1.6	0.8	0.3	1.7	0.3	1.4	2.1	3.7	
		SRC造	1,000m <sup>2</sup> 未満	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			3,000m <sup>2</sup> 未満	1	1,198	17.5	14.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0	14.6	
			6,000m <sup>2</sup> 未満	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			10,000m <sup>2</sup> 未満	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			10,000m <sup>2</sup> 以上	4	77,627	2,169.8	18.3	2.4	0.8	1.4	0.7	1.0	0.7	0.2	0.4	1.2	9.7	
			全体	5	78,825	2,187.3	17.5	1.9	0.6	1.1	0.5	0.8	0.5	0.1	0.3	1.0	10.7	
		全構造	1,000m <sup>2</sup> 未満	3	2,545	66.5	27.8	0.3	0.0	1.3	0.7	0.1	0.9	0.1	3.9	1.9	18.7	
			3,000m <sup>2</sup> 未満	27	49,413	1,273.2	27.3	5.3	3.3	1.6	1.3	1.6	1.5	0.5	1.2	1.2	9.9	
			6,000m <sup>2</sup> 未満	16	67,944	1,281.5	20.0	3.6	2.0	2.5	0.9	0.6	1.3	0.4	1.0	0.6	7.1	
			10,000m <sup>2</sup> 未満	27	207,735	3,515.4	17.6	4.1	1.4	1.2	0.8	0.5	1.3	0.5	1.3	1.0	5.6	
			10,000m <sup>2</sup> 以上	31	1,013,803	14,186.7	14.7	4.4	0.5	0.7	0.9	0.4	1.2	0.2	0.4	2.8	3.2	
			全体	104	1,341,440	20,323.3	19.9	4.3	1.7	1.4	1.0	0.7	1.3	0.4	1.1	1.6	6.6	

## 倉庫

総件数	用途	構造	延床面積	件数	延床面積	発生量	発生原単位	コンガラ	アスコン	ガラス陶磁器	廃プラ	金属くず	木くず	紙くず	石膏ボード	その他	混合廃棄物
					m <sup>2</sup>	t	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>
85	倉庫	S造	1,000m <sup>2</sup> 未満	4	1,911	30.3	16.3	2.0	0.0	1.1	0.3	0.4	0.6	0.6	0.4	0.0	11.0
			3,000m <sup>2</sup> 未満	10	17,075	232.4	14.1	2.9	0.9	0.8	0.5	0.8	0.5	0.2	0.4	0.4	6.5
			6,000m <sup>2</sup> 未満	7	31,457	1,036.1	36.1	7.5	6.5	3.0	1.4	0.3	1.2	0.3	0.6	12.5	2.7
			10,000m <sup>2</sup> 未満	8	62,481	1,486.8	24.4	7.7	3.8	1.7	1.4	1.8	1.3	0.7	0.4	0.2	5.2
			10,000m <sup>2</sup> 以上	21	435,333	6,362.3	17.9	5.5	2.9	0.7	1.0	0.3	1.3	0.2	0.5	1.3	4.2
			全体	50	548,257	9,147.9	20.6	5.4	2.9	1.2	1.0	0.6	1.1	0.3	0.5	2.4	5.2
		RC造	1,000m <sup>2</sup> 未満	2	1,212	41.5	35.1	0.0	5.8	0.0	1.9	3.2	4.1	2.0	1.5	3.2	13.3
			3,000m <sup>2</sup> 未満	2	4,355	159.3	40.2	14.4	4.7	0.0	2.6	0.9	4.9	0.0	0.0	10.3	2.3
			6,000m <sup>2</sup> 未満	1	5,952	181.4	30.5	10.3	1.2	0.0	7.1	0.0	3.9	0.4	0.1	1.0	6.4
			10,000m <sup>2</sup> 未満	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			10,000m <sup>2</sup> 以上	20	1,013,950	12,434.0	13.3	5.7	0.8	1.1	0.4	0.4	0.6	0.2	0.2	1.0	2.9
			全体	25	1,025,469	12,816.2	17.8	6.1	1.5	0.9	1.0	0.6	1.4	0.3	0.2	1.9	3.8
		SRC造	1,000m <sup>2</sup> 未満	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			3,000m <sup>2</sup> 未満	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			6,000m <sup>2</sup> 未満	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			10,000m <sup>2</sup> 未満	2	17,214	264.9	16.1	5.6	0.0	0.4	0.2	0.9	0.2	0.2	1.2	0.4	7.1
			10,000m <sup>2</sup> 以上	8	374,545	2,075.9	4.9	1.0	0.0	0.5	0.2	0.2	0.3	0.1	0.2	0.3	2.1
			全体	10	391,759	2,340.8	7.1	1.9	0.0	0.5	0.2	0.3	0.3	0.1	0.4	0.3	3.1
		全構造	1,000m <sup>2</sup> 未満	6	3,123	71.8	22.5	1.4	1.9	0.7	0.8	1.3	1.7	1.0	0.8	1.1	11.8
			3,000m <sup>2</sup> 未満	12	21,430	391.7	18.4	4.8	1.5	0.7	0.9	0.8	1.3	0.2	0.3	2.1	5.8
			6,000m <sup>2</sup> 未満	8	37,409	1,217.5	35.4	7.9	5.9	2.6	2.1	0.3	1.6	0.3	0.5	11.1	3.2
			10,000m <sup>2</sup> 未満	10	79,695	1,751.7	22.7	7.2	3.0	1.5	1.2	1.6	1.1	0.6	0.6	0.2	5.6
			10,000m <sup>2</sup> 以上	49	1,823,828	20,872.1	13.9	4.9	1.6	0.8	0.6	0.3	0.8	0.2	0.3	1.0	3.3
			全体	85	1,965,485	24,304.8	18.2	5.2	2.2	1.0	0.9	0.6	1.1	0.3	0.4	2.0	4.5

病院

総件数	用途	構造	延床面積	件数	延床面積	発生量	発生原単位	コンガラ	アスコン	ガラス陶磁器	廃プラ	金属くず	木くず	紙くず	石膏ボード	その他	混合廃棄物
					m <sup>2</sup>	t	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>
66	病院	S造	1,000m <sup>2</sup> 未満	2	783	42.7	59.1	0.0	5.5	5.8	1.6	3.4	13.0	1.5	7.5	0.0	20.9
			3,000m <sup>2</sup> 未満	2	2,616	69.7	27.9	1.7	0.0	1.0	1.5	0.9	1.2	2.0	4.9	0.6	14.1
			6,000m <sup>2</sup> 未満	1	5,052	138.5	27.4	9.2	0.0	0.0	1.1	0.2	2.5	0.6	4.6	0.7	8.4
			10,000m <sup>2</sup> 未満	1	7,524	91.5	12.2	2.6	0.0	1.7	0.9	0.0	0.8	0.3	0.7	0.2	5.0
			10,000m <sup>2</sup> 以上	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			全体	6	15,975	342.4	35.6	2.5	1.8	2.5	1.4	1.5	5.3	1.3	5.0	0.4	13.9
		RC造	1,000m <sup>2</sup> 未満	1	736	12.1	16.4	3.3	0.0	2.9	2.6	0.0	1.6	1.5	1.2	0.0	3.4
			3,000m <sup>2</sup> 未満	18	33,187	1,364.1	40.3	5.6	3.3	1.5	2.0	1.7	2.8	1.1	4.1	1.6	16.7
			6,000m <sup>2</sup> 未満	12	51,463	2,366.1	49.5	14.0	3.0	0.3	1.2	0.5	5.5	0.3	2.6	12.6	9.5
			10,000m <sup>2</sup> 未満	8	59,781	2,770.6	44.7	14.3	1.3	0.6	2.1	0.0	4.6	0.3	2.2	12.0	7.3
			10,000m <sup>2</sup> 以上	13	493,553	11,330.7	21.9	5.1	0.2	1.6	1.5	1.2	1.8	0.9	3.1	0.5	5.9
			全体	52	638,720	17,843.6	38.1	8.7	2.1	1.1	1.7	1.0	3.4	0.8	3.2	5.4	10.7
		SRC造	1,000m <sup>2</sup> 未満	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			3,000m <sup>2</sup> 未満	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			6,000m <sup>2</sup> 未満	1	5,996	88.2	14.7	0.0	0.0	0.3	0.6	0.0	0.5	0.9	3.3	0.0	9.0
			10,000m <sup>2</sup> 未満	2	16,484	691.7	41.9	10.8	1.8	3.2	3.9	0.1	4.3	0.8	5.4	5.3	6.3
			10,000m <sup>2</sup> 以上	5	256,821	6,181.7	20.1	5.0	0.0	1.3	0.5	1.4	1.3	0.6	1.4	3.2	5.4
			全体	8	279,301	6,961.6	24.9	5.8	0.5	1.6	1.4	0.9	2.0	0.7	2.6	3.3	6.1
		全構造	1,000m <sup>2</sup> 未満	3	1,519	54.8	44.9	1.1	3.6	4.8	1.9	2.3	9.2	1.5	5.4	0.0	15.1
			3,000m <sup>2</sup> 未満	20	35,803	1,433.8	39.1	5.2	2.9	1.4	2.0	1.6	2.6	1.2	4.2	1.5	16.5
			6,000m <sup>2</sup> 未満	14	62,511	2,592.8	45.4	12.7	2.5	0.2	1.2	0.5	4.9	0.4	2.8	10.9	9.4
			10,000m <sup>2</sup> 未満	11	83,789	3,553.8	41.2	12.6	1.3	1.1	2.3	0.0	4.2	0.4	2.6	9.7	6.9
			10,000m <sup>2</sup> 以上	18	750,374	17,512.4	21.4	5.0	0.1	1.5	1.2	1.3	1.7	0.8	2.6	1.2	5.8
			全体	66	933,996	25,147.6	36.2	7.8	1.8	1.3	1.7	1.0	3.4	0.8	3.3	4.7	10.4

福祉施設

総件数	用途	構造	延床面積	件数	延床面積	発生量	発生原単位	コンガラ	アスコン	ガラス陶磁器	廃プラ	金属くず	木くず	紙くず	石膏ボード	その他	混合廃棄物
					m <sup>2</sup>	t	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>	kg/m <sup>2</sup>
55	福祉施設	S造	1,000m <sup>2</sup> 未満	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			3,000m <sup>2</sup> 未満	3	8,240	237.2	29.1	6.8	0.0	1.3	1.3	0.1	1.2	0.8	4.7	2.8	9.9
			6,000m <sup>2</sup> 未満	1	5,520	120.0	21.7	7.3	0.0	1.0	1.8	0.0	1.9	0.2	0.5	0.1	8.8
			10,000m <sup>2</sup> 未満	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			10,000m <sup>2</sup> 以上	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			全体	4	13,760	357.2	27.3	6.9	0.0	1.2	1.4	0.1	1.4	0.7	3.7	2.1	9.7
		RC造	1,000m <sup>2</sup> 未満	3	2,338	120.8	51.3	19.9	0.0	0.6	2.3	1.9	2.4	2.2	5.1	2.7	14.2
			3,000m <sup>2</sup> 未満	13	30,075	1,153.3	38.0	13.0	1.3	0.9	1.7	1.1	3.0	0.9	4.2	2.3	9.7
			6,000m <sup>2</sup> 未満	22	93,744	3,766.3	40.2	14.6	1.6	1.2	1.4	1.1	1.7	0.9	3.3	4.3	10.0
			10,000m <sup>2</sup> 未満	4	35,390	1,850.4	50.9	10.6	2.7	2.3	2.3	2.1	3.3	2.3	3.0	4.2	18.2
			10,000m <sup>2</sup> 以上	7	103,884	3,145.6	28.5	11.3	0.6	1.0	0.9	0.9	1.2	0.9	1.7	0.8	9.2
			全体	49	265,431	10,036.4	39.5	13.7	1.4	1.2	1.5	1.2	2.2	1.1	3.4	3.2	10.7
		SRC造	1,000m <sup>2</sup> 未満	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			3,000m <sup>2</sup> 未満	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			6,000m <sup>2</sup> 未満	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			10,000m <sup>2</sup> 未満	1	7,320	256.0	35.0	12.2	0.0	1.8	2.2	0.0	1.6	0.8	2.0	9.4	4.9
			10,000m <sup>2</sup> 以上	1	28,132	500.0	17.8	0.0	0.2	0.0	1.8	0.0	2.2	0.0	3.6	0.0	10.0
			全体	2	35,452	756.0	26.4	6.1	0.1	0.9	2.0	0.0	1.9	0.4	2.8	4.7	7.5
		全構造	1,000m <sup>2</sup> 未満	3	2,338	120.8	51.3	19.9	0.0	0.6	2.3	1.9	2.4	2.2	5.1	2.7	14.2
			3,000m <sup>2</sup> 未満	16	38,315	1,390.5	36.4	11.8	1.0	1.0	1.6	0.9	2.7	0.9	4.3	2.4	9.7
			6,000m <sup>2</sup> 未満	23	99,264	3,886.2	39.4	14.3	1.5	1.2	1.4	1.1	1.7	0.9	3.2	4.1	9.9
			10,000m <sup>2</sup> 未満	5	42,710	2,106.4	47.8	10.9	2.2	2.2	2.3	1.7	3.0	2.0	2.8	5.2	15.5
			10,000m <sup>2</sup> 以上	8	132,016	3,645.6	27.2	9.8	0.5	0.9	1.1	0.8	1.4	0.8	1.9	0.7	9.3
			全体	55	314,643	11,149.5	38.2	12.9	1.2	1.2	1.5	1.1	2.1	1.1	3.4	3.2	10.5

ホテル

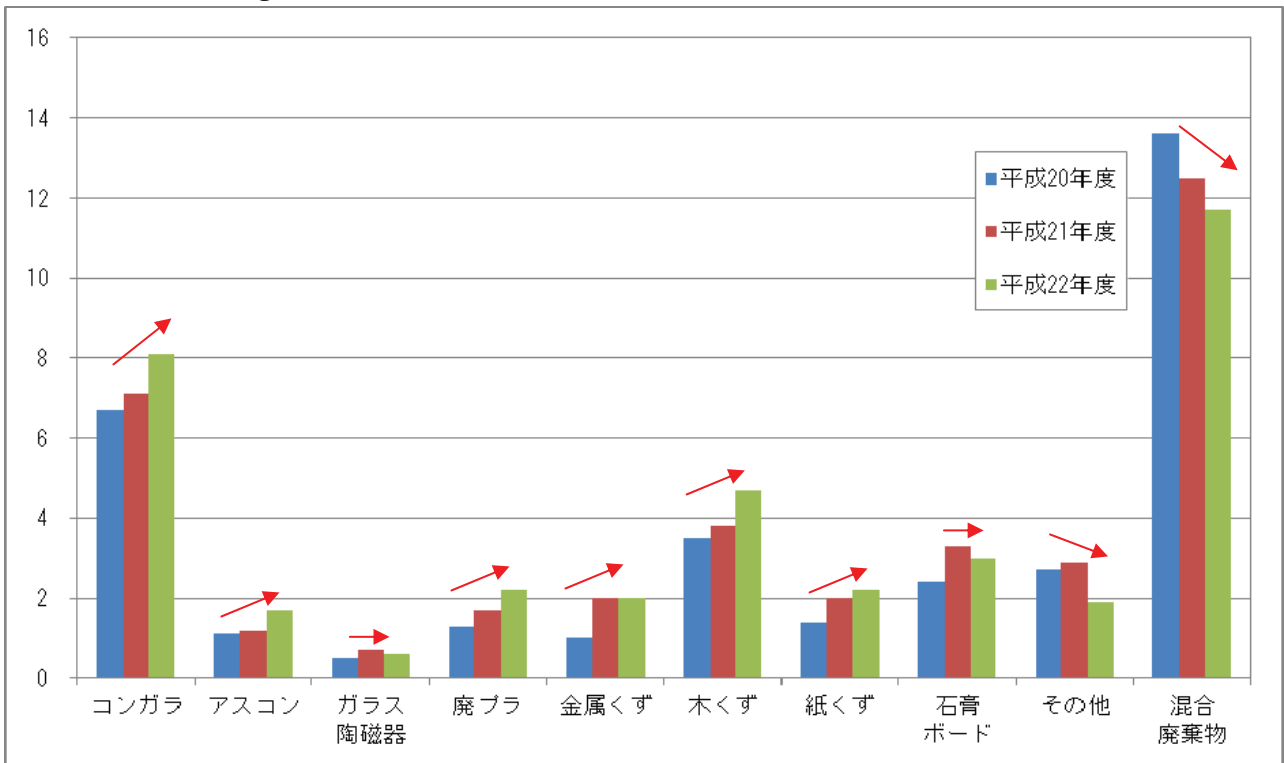
総 件 数	用途	構造	延床面積	件 数	延床	発生量	発生 原単位	コンガラ	アスコン	ガラス 陶磁器	廃プラ	金属くず	木くず	紙くず	石膏 ボード	その他	混合 廃棄物	
					面積													㎡
38	ホテル	S造	1,000㎡未満	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			3,000㎡未満	3	7,105	285.9	39.3	10.9	0.0	0.7	0.6	0.0	1.1	0.8	5.1	2.1	17.9	
			6,000㎡未満	3	14,382	421.6	31.0	2.8	0.1	0.4	1.4	0.6	1.4	0.3	4.0	5.2	14.8	
			10,000㎡未満	4	35,781	1,456.4	40.7	10.7	0.0	2.3	3.0	0.9	2.2	2.6	6.0	3.5	9.5	
			10,000㎡以上	7	169,433	3,853.6	30.9	10.4	1.6	1.8	1.5	0.9	1.2	1.4	4.2	1.9	6.2	
			全体	17	226,701	6,017.5	34.7	9.2	0.7	1.5	1.7	0.7	1.4	1.4	4.8	2.9	10.6	
		RC造	1,000㎡未満	2	1,596	81.6	51.7	3.0	1.7	1.6	1.4	2.5	2.0	0.2	6.7	0.0	32.7	
			3,000㎡未満	5	10,419	526.6	54.8	14.3	2.5	0.2	2.5	0.6	3.4	3.9	6.5	1.9	19.1	
			6,000㎡未満	5	25,494	910.6	36.4	10.4	0.8	0.4	1.4	0.0	2.4	1.2	4.9	4.9	9.9	
			10,000㎡未満	4	27,038	1,506.8	55.2	11.5	2.5	0.5	1.6	2.6	3.2	2.3	3.4	8.7	18.8	
			10,000㎡以上	2	86,018	3,401.3	39.9	9.6	2.9	0.8	1.4	10.7	2.1	0.7	1.8	2.3	7.6	
			全体	18	150,565	6,426.9	47.8	10.8	2.0	0.6	1.8	2.2	2.8	2.0	4.9	4.1	16.7	
		SRC造	1,000㎡未満	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			3,000㎡未満	1	1,698	79.9	47.1	5.1	0.0	0.0	0.1	0.2	0.2	2.3	0.0	0.0	39.1	
			6,000㎡未満	1	5,867	107.9	18.4	4.3	0.0	0.7	1.2	0.8	1.9	0.3	0.8	0.0	8.2	
			10,000㎡未満	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
			10,000㎡以上	1	23,527	890.2	37.8	0.2	0.2	4.9	2.9	4.3	2.3	0.8	4.2	3.6	14.3	
			全体	3	31,092	1,078.0	34.4	3.2	0.1	1.9	1.4	1.8	1.5	1.1	1.7	1.2	20.6	
		全構造	1,000㎡未満	2	1,596	81.6	51.7	3.0	1.7	1.6	1.4	2.5	2.0	0.2	6.7	0.0	32.7	
			3,000㎡未満	9	19,222	892.4	48.8	12.1	1.4	0.3	1.6	0.3	2.3	2.6	5.3	1.8	20.9	
			6,000㎡未満	9	45,744	1,440.1	32.6	7.2	0.5	0.5	1.4	0.3	2.0	0.8	4.2	4.4	11.4	
			10,000㎡未満	8	62,819	2,963.2	48.0	11.1	1.3	1.4	2.3	1.8	2.7	2.4	4.7	6.1	14.2	
			10,000㎡以上	10	278,978	8,145.1	33.4	9.2	1.7	1.9	1.6	3.2	1.5	1.2	3.7	2.1	7.3	
			全体	38	408,359	13,522.4	40.9	9.5	1.3	1.1	1.7	1.5	2.1	1.6	4.6	3.3	14.3	

その他

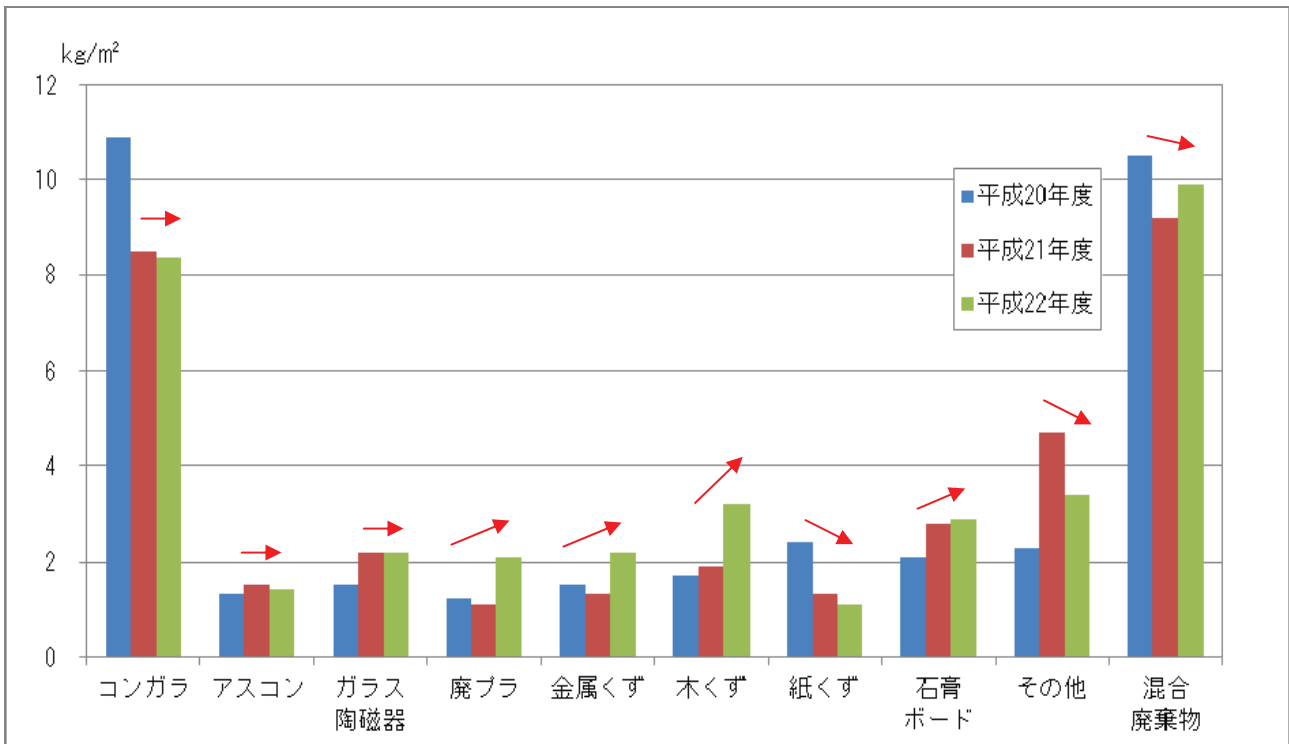
総 件 数	用途	構造	延床面積	件 数	延床	発生量	発生 原単位	コンガラ	アスコン	ガラス 陶磁器	廃プラ	金属くず	木くず	紙くず	石膏 ボード	その他	混合 廃棄物
					面積												
147	その他	S造	1,000㎡未満	6	3,707	109.4	32.9	8.3	0.6	1.8	1.5	1.8	2.1	0.6	2.3	3.2	10.9
			3,000㎡未満	17	30,172	1,185.4	40.0	7.2	0.7	3.1	3.0	0.3	3.4	0.7	3.4	5.0	13.2
			6,000㎡未満	11	47,745	1,940.1	41.5	8.3	1.4	3.0	4.2	0.3	7.6	0.6	2.9	2.6	10.5
			10,000㎡未満	3	23,656	731.6	30.5	13.6	4.2	1.2	0.7	0.6	1.3	0.5	1.0	0.7	6.7
			10,000㎡以上	21	955,237	32,657.6	23.5	5.7	1.8	2.9	1.5	0.7	1.8	0.0	1.6	1.6	5.0
			全体	58	1,060,517	36,624.1	33.1	7.3	1.4	2.8	2.4	0.6	3.4	0.7	2.4	2.9	9.1
		RC造	1,000㎡未満	18	8,838	469.2	52.7	10.1	0.6	0.4	3.3	3.3	5.1	1.4	5.8	2.2	21.5
			3,000㎡未満	27	54,148	2,964.6	56.9	9.7	1.4	0.8	1.4	2.0	10.8	1.6	2.6	11.8	14.9
			6,000㎡未満	9	40,133	1,575.4	40.1	11.5	1.6	1.7	2.0	5.9	2.8	1.1	3.4	0.7	9.4
			10,000㎡未満	11	89,639	3,536.2	41.8	10.3	6.1	1.7	1.6	0.5	2.2	0.6	2.6	7.2	8.9
			10,000㎡以上	10	327,432	6,446.1	21.6	6.2	0.2	2.2	1.0	0.6	1.6	0.7	1.6	1.6	5.8
			全体	75	520,190	14,991.5	47.2	9.6	1.7	1.1	1.9	2.4	6.0	1.2	3.3	6.1	13.7
		SRC造	1,000㎡未満	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			3,000㎡未満	1	2,746	89.5	32.6	20.3	0.0	2.6	1.3	0.0	1.6	1.7	0.7	0.8	3.6
			6,000㎡未満	4	16,568	739.9	44.8	6.0	0.2	1.7	1.3	4.3	4.7	1.8	4.9	2.7	17.2
			10,000㎡未満	4	30,557	1,439.1	47.7	14.8	2.1	1.9	2.8	0.8	5.0	0.6	1.7	7.8	10.2
			10,000㎡以上	5	192,721	2,287.2	20.4	5.0	1.3	1.8	1.5	0.2	2.0	1.4	1.2	0.4	5.6
			全体	14	242,592	4,555.7	36.0	9.2	1.1	1.9	1.8	1.5	3.6	1.3	2.3	3.2	10.1
		全構造	1,000㎡未満	24	12,545	578.6	48.5	9.6	0.6	0.8	2.8	2.9	4.3	1.2	4.9	2.4	18.9
			3,000㎡未満	45	87,066	4,239.5	50.0	9.0	1.1	1.7	2.0	1.3	7.8	1.3	2.8	9.0	14.0
			6,000㎡未満	24	104,446	4,255.4	41.5	9.1	1.3	2.3	2.9	3.1	5.3	1.0	3.4	1.9	11.2
			10,000㎡未満	18	143,853	5,706.9	41.2	11.8	4.9	1.7	1.7	0.6	2.6	0.6	2.2	6.3	8.8
			10,000㎡以上	36	1,475,390	41,391.0	22.5	5.7	1.3	2.6	1.4	0.6	1.8	0.8	1.5	1.4	5.3
			全体	147	1,823,300	56,171.4	40.6	8.7	1.6	1.9	2.1	1.6	4.7	1.0	2.9	4.6	11.6

【参考資料 17】 品目別年度推移(平成 20 年度～平成 22 年度通算)

集合住宅:RC造(kg/m<sup>2</sup>)



事務所:S造(kg/m<sup>2</sup>)



### 【参考資料 18】 品目別原単位(混合廃棄物組成割合調整)

混合廃棄物を、混合廃棄物組成割合に基づいて各品目に按分することで品目別の原単位が求められる。今までは旧BCSで作成した「平成 18 年度建築系混合廃棄物の組成及び原単位調査報告書」の組成割合を用いていた。今回より新しい組成分析調査として建設廃棄物協同組合が調査した「建設混合廃棄物の組成調査業務報告書」の組織割合を用いて数値も参考資料として以下に掲載する。

品目別原単位 (混合廃棄物組成割合調整)

(単位 : kg/m<sup>2</sup>)

種類	コンガラ	アスコン	ガラス 陶磁器	廃プラ	金属く ず	木 くず	紙 くず	石膏 ボード	その他	混合 廃棄物
原単位	8.8	2.2	1.5	2.1	1.6	3.7	1.6	2.7	2.3	10.8
混 廃 組 成 割 合 (※)	0.7%	0.0%	8.8%	10.4%	3.9%	7.9%	4.9%	3.0%	60.4%	
混 廃 内 原 単 位 (kg/m <sup>2</sup> )	0.1	0.0	1.0	1.1	0.4	0.9	0.5	0.3	6.5	
	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	
<b>合計</b>	<b>8.9</b>	<b>2.2</b>	<b>2.5</b>	<b>3.2</b>	<b>2.0</b>	<b>4.6</b>	<b>2.1</b>	<b>3.0</b>	<b>8.8</b>	

※混廃組成割合は『「建設混合廃棄物の組成調査業務」報告書(平成 23 年 3 月\_建設廃棄物協同組合作成)』



## 2. 調査データ

2-1 調査シート

2-2 実績データ





首都圏(東京、埼玉、千葉、神奈川)

会社名  
リストから選択

品目ごとの重量・容積換算値 (t/m<sup>3</sup>)  
ガラスくず及び陶磁器くず 0.64 廃プラスチック類 0.09 金属くず 0.25  
紙くず 0.09 廃紙類 0.25 繊維くず 0.20 木くず 0.15 紙くず 0.09  
コンクリート 2.4 砕石 1.6 砂 1.4 土 1.3 混合廃棄物 0.25

No.	工事名称 粗集材 リストから選択	用途 リスト から選 択	構造 リスト から選 択	法定埋込面積	場内外利 用 (ト ン) (a)	専ら物の売却等 (トン)				分別による単品排出								混合廃棄物として排出										
						金属くず	紙くず	その他	小計 (b) 自動計算	コンクリート	石膏ボード	金属くず	紙くず	その他 (広域衛生 倉)	小計 (c) 自動計算	コンガラ	アスコン	廃プラ	ガラス	陶磁器	木くず	石膏ボード	金属くず	紙くず	その他	小計 (d) 自動計算	最終処分 場 (ト ン) (e)	中間処理 量 (ト ン) (f)
1					m				0															0				
2					m				0															0				
3					m				0															0				
4					m				0															0				
5					m				0															0				
6					m				0															0				
7					m				0															0				
8					m				0															0				
9					m				0															0				
10					m				0															0				
11					m				0															0				
12					m				0															0				
13					m				0															0				
14					m				0															0				
15					m				0															0				
16					m				0															0				
17					m				0															0				
18					m				0															0				
19					m				0															0				
20					m				0															0				
21					m				0															0				
22					m				0															0				
23					m				0															0				
24					m				0															0				
25					m				0															0				
26					m				0															0				
27					m				0															0				
28					m				0															0				
29					m				0															0				
30					m				0															0				
31					m				0															0				
32					m				0															0				
33					m				0															0				
34					m				0															0				
35					m				0															0				
36					m				0															0				
37					m				0															0				
38					m				0															0				
39					m				0															0				
40					m				0															0				

















NO	用途	構造	法定延床面積 【㎡】	発生量の内訳									中間処理施設 への排出量		混合廃棄物として 排出した量	
				発生量		場内外 利用 (a)	専ら物の 売却等 (無償引取含) (b)	分別による単品排出			混合排出		(d+f)	排出 原単位 (d+f) 【kg/㎡】	(f)	混廃 原単位 (f) 【kg/㎡】
				(a~g) 【t】	発生 原単位 【kg/㎡】			再資源 化施設 (c) 【t】	中間処理 施設 (d) 【t】	最終 処分場 (e) 【t】	中間処理 施設 (f) 【t】	最終 処分場 (g) 【t】				
559	他	RC	314	1.3	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	1.3	4.1	1.3	4.1
560	他	RC	1,729	43.3	25.0	0.0	0.0	0.0	33.2	0.0	10.1	0.0	43.3	25.0	10.1	5.8
561	他	RC	7,922	434.9	54.9	0.0	0.0	54.4	306.2	0.0	74.3	0.0	380.5	48.0	74.3	9.4
562	他	RC	144,248	2,432.9	16.9	0.0	0.0	0.0	1,731.0	0.0	701.9	0.0	2,432.9	16.9	701.9	4.9
563	他	RC	7,039	671.4	95.4	0.0	0.0	0.0	504.3	0.0	167.1	0.0	671.4	95.4	167.1	23.7
564	他	RC	2,707	139.9	51.7	0.0	0.0	12.0	86.8	0.0	41.1	0.0	127.9	47.2	41.1	15.2
565	他	RC	2,486	207.2	83.3	0.0	0.0	125.9	41.6	0.0	39.7	0.0	81.3	32.7	39.7	16.0
566	他	RC	9,107	434.3	47.7	0.0	0.0	15.8	325.2	0.0	93.3	0.0	418.5	46.0	93.3	10.2
567	他	RC	2,635	107.7	40.9	0.0	0.0	0.0	78.4	0.0	29.3	0.0	107.7	40.9	29.3	11.1
568	他	RC	4,019	104.0	25.9	0.0	0.0	0.0	60.1	0.0	43.9	0.0	104.0	25.9	43.9	10.9
569	他	RC	310	26.1	84.1	0.0	0.0	0.0	15.9	0.0	10.1	0.0	26.1	84.1	10.1	32.7
570	他	RC	20,162	197.8	9.8	0.0	0.0	34.2	133.2	0.0	30.4	0.0	163.6	8.1	30.4	1.5
571	他	RC	1,669	77.7	46.5	0.0	0.0	0.0	65.0	0.0	12.6	0.0	77.7	46.5	12.6	7.6
572	他	RC	972	18.6	19.1	0.0	0.0	7.8	4.3	0.0	6.5	0.0	10.8	11.1	6.5	6.7
573	他	SRC	2,746	89.5	32.6	0.0	3.0	0.0	76.6	0.0	9.9	0.0	86.5	31.5	9.9	3.6
574	他	SRC	7,163	577.6	80.6	0.0	0.0	10.8	491.2	0.0	75.5	0.0	566.8	79.1	75.5	10.5
575	他	SRC	46,236	237.5	5.1	0.0	5.9	59.1	90.8	0.0	81.7	0.0	172.5	3.7	81.7	1.8
576	他	SRC	12,533	362.7	28.9	0.0	0.0	0.0	344.7	0.0	18.0	0.0	362.7	28.9	18.0	1.4

**社団法人 日本建設業連合会**  
**環境委員会 建築副産物専門部会**

部 会 長	米 谷 秀 子	鹿 島 建 設 (株)
副 部 会 長	田 邊 貞 幸	五 洋 建 設 (株)
副 部 会 長	○ 笠 井 賢 一	(株) 竹 中 工 務 店
	皆 川 功	(株) 淺 沼 組
	風 戸 聡	安 藤 建 設 (株)
	山 田 努	大 木 建 設 (株)
	○ 斎 藤 正 人	(株) 大 林 組
	野 添 道 広	(株) 熊 谷 組
	山 下 俊 介	佐 藤 工 業 (株)
	石 井 良 和	清 水 建 設 (株)
	○ 富 田 祐 二	(株) 錢 高 組
	○ 佐 久 間 裕 子	大 成 建 設 (株)
	根 来 悦 子	東 急 建 設 (株)
	高 橋 昌 宏	戸 田 建 設 (株)
	○ 吉 田 浩 一	西 松 建 設 (株)
	三 原 田 裕 一	(株) 間 組
	○ 島 内 康 介	(株)長谷工コーポレーション
	○ 小 林 芳 治	(株) 藤 木 工 務 店
	上 坪 勝	(株) フ ジ タ
	若 杉 俊 史	前 田 建 設 工 業 (株)
	陣 内 久 之	三 井 住 友 建 設 (株)
	○ 小 柴 和 彦	りんかい日産建設(株)

平成 24 年 11 月現在

○：編集担当

建築系混合廃棄物の原単位調査報告書

© 平成24年11月発行  
発行 社団法人 日本建設業連合会  
環境委員会  
建築副産物専門部会  
〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-5-1  
TEL 03-3553-0701(代)

印刷 富士リプロ株式会社

禁無断転載